

第5回中標津町地域公共交通活性化協議会 議案

日時：令和4年12月15日（木） 13：30～

場所：中標津町総合文化会館 1階 コミュニティホール

中標津町地域公共交通活性化協議会事務局
（中標津町町民生活部生活課）

報告事項 今年度実施した各種調査結果の報告

資料① アンケート調査結果

資料② 乗降調査結果

資料③ 講演会及び意見交換会結果

議 題 1 中標津町地域公共交通計画策定に向けた整理

資料④

別冊資料

議 題 2 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価

資料⑤



資料①

中標津町地域公共交通に関する アンケート調査結果

第5回 中標津町地域公共交通活性化協議会 資料

令和4年12月15日



1. 調査概要		2
(1) 調査目的		2
(2) 調査実施期間及び配布・回収方法		2
(3) 調査対象		2
(4) 調査内容		2
2. 調査結果		3
(1) 現在の移動手段及び将来における運転困難時の想定移動手段について		3
(2) 町民の生活圏について		4
(3) 外出時に交通手段がなく困ることについて		5
(4) 市内循環線の利用で困っていることについて		6
(5) 町営バスの利用で困っていることについて		7
(6) 路線バスの利用で困っていることについて		8
(7) バス路線全般について		10
3. 調査結果(詳細)		11
(1) あなたご自身のことについて教えてください(個人属性)		11
(2) あなたの日常的な生活状況について教えてください(日常の生活行動)		16
(3) 地域公共交通に対するニーズについて教えてください(町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ)		29
(4) その他記入欄(中標津町の公共交通に関するご意見などがありましたら、ご記入ください)		42



(1) 調査目的

本調査は、中標津町民の日常的な生活移動(通勤・通学、買い物、通院、私用等)に関する行動の把握に加え、現在、町内を運行している各種地域公共交通の利用状況・地域公共交通へのニーズ把握を目的に実施

(2) 調査実施期間及び配布・回収方法

1) 調査実施期間

令和4年9月8日(木)～10月11日(火)

2) 配布・回収方法

配布・回収ともに郵送にて実施しており、各世帯2票を配布し、高校生以上の自動車を運転しない方や公共交通(バス、タクシーなど)を利用したいと思っている方が優先的に回答

なお、本調査ではインターネットによる回答も実施

(3) 調査対象

当町に居住する1,970世帯を無作為で抽出し、配布

回収数:646世帯/1,970世帯=32.8% ※909票回収(うち、インターネットを通じた回答は186票)

(4) 調査内容

本調査の調査内容は以下の通り

分類	内容	備考
個人属性	性別、職業、住所、免許・自動車の保有状況、自動車の運転意向、運転困難時の代替移動手段、免許返納で困ること	個人属性として、基礎的な情報整理に加え、他項目とのクロス集計などで活用
日常の生活行動	通勤・通学、買い物、通院、私用等における行動の頻度、行先、交通手段、行動する曜日、行動時間	各目的の行動の実態把握で活用
町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ	市内循環線、町営バス、阿寒バス・根室交通における利用状況、利用する際に困っていること、困っていることが改善された場合の外出機会の変化・回数、利用しない理由	各種地域公共交通の利用状況や利用する際に困っていること(改善点)、利用しない理由の把握で活用

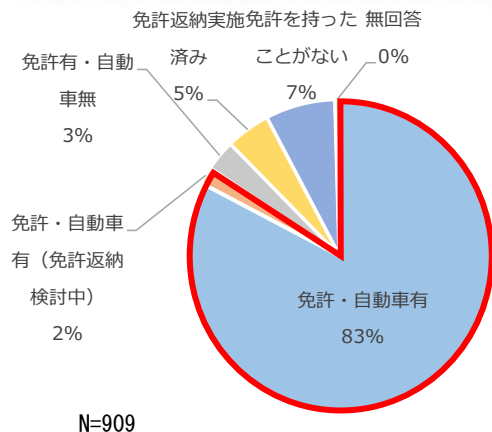
2. 調査結果



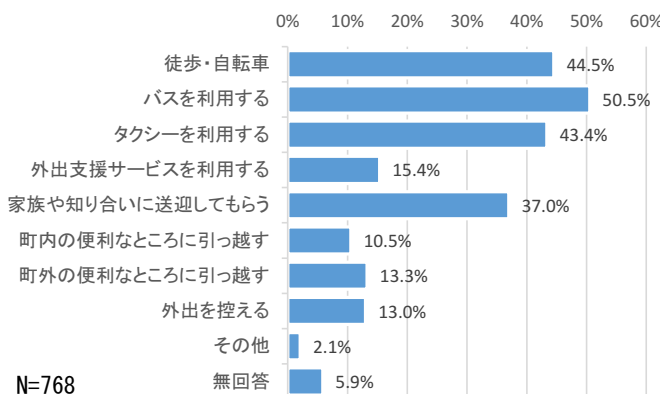
(1)現在の移動手段及び将来における運転困難時の想定移動手段について

- ・アンケート回答者の8割以上は、普段から自動車(自分の運転)を利用
- ・公共交通を利用した移動は10%に満たない回答割合
- ※通院時は、自動車利用が低下し、公共交通利用が増加する傾向
- ・将来的に運転が困難となった場合は、バスやタクシーといった公共交通を利用する回答が高い
- ・運転が困難(免許返納等)となった場合、買い物や通院ができなくなることが困る、とする回答が高い

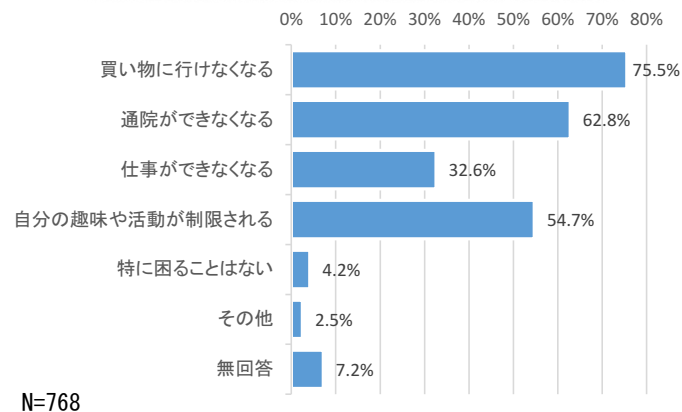
問4 免許・自動車の保有状況【1つだけ】



問6 運転困難時の移動手段【いくつでも】

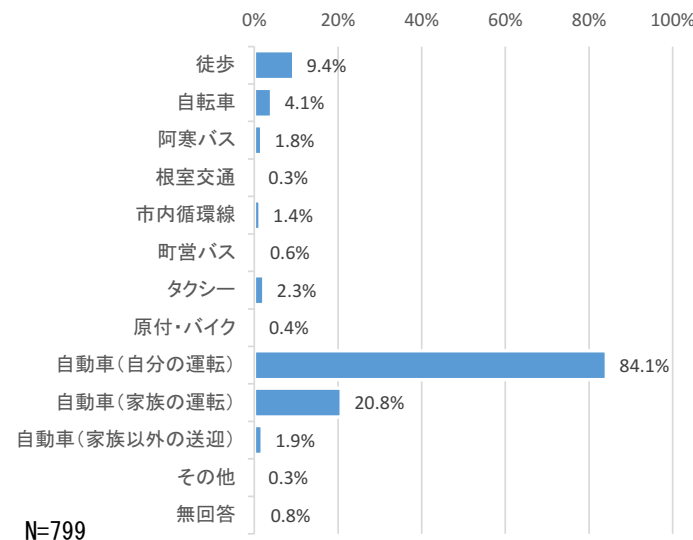


問7 免許返納で困ること【いくつでも】

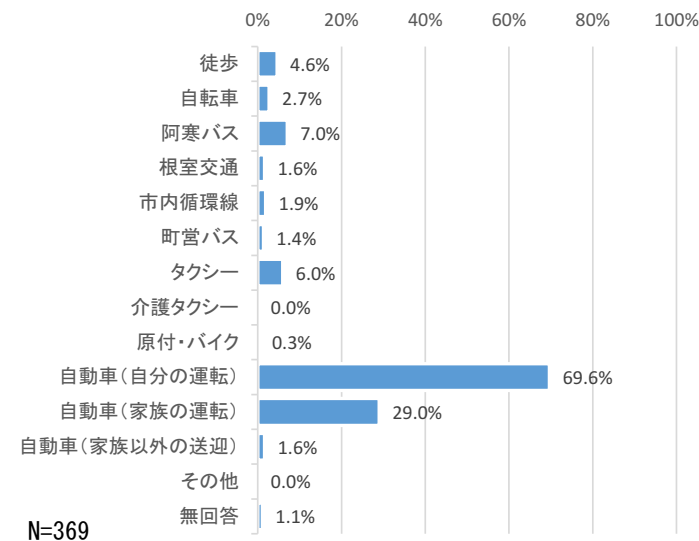


「1. 免許・自動車有」及び
「2. 免許・自動車有(免許返納検討中)」
の方が回答

問9-③ 買い物時の移動手段【いくつでも】



問10-③ 通院時の移動手段【いくつでも】

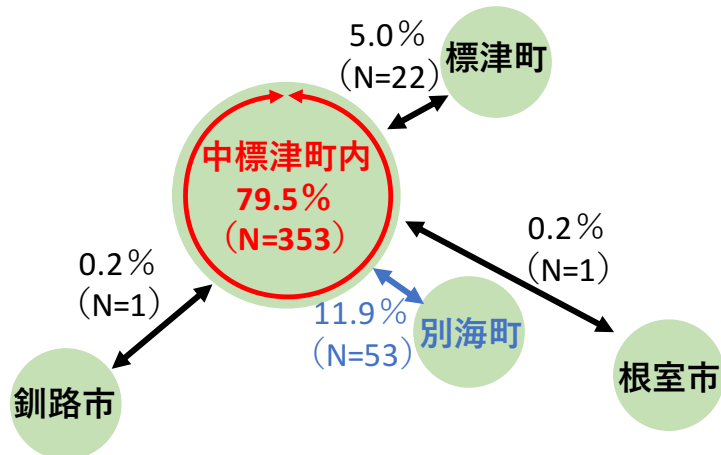




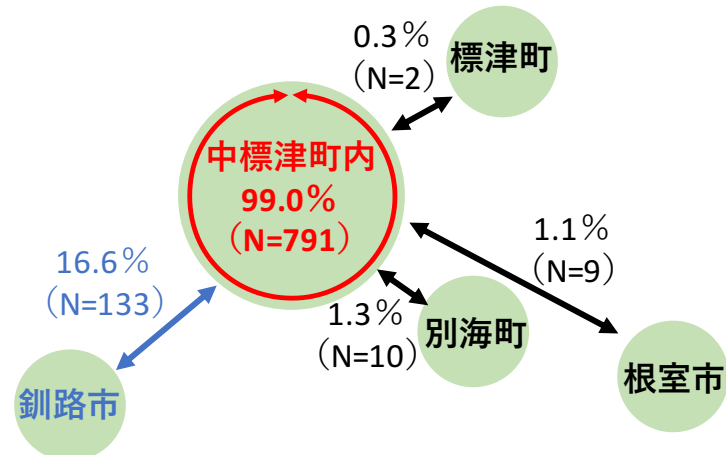
(2) 町民の生活圏について

- ・アンケート回答者の生活圏(通勤・通学圏、買い物圏、通院圏、私用圏)は、8割以上が当町内で完結している動き
- ・一方で、買い物や通院、私用については、管内の中心市である釧路市までの移動が見られる

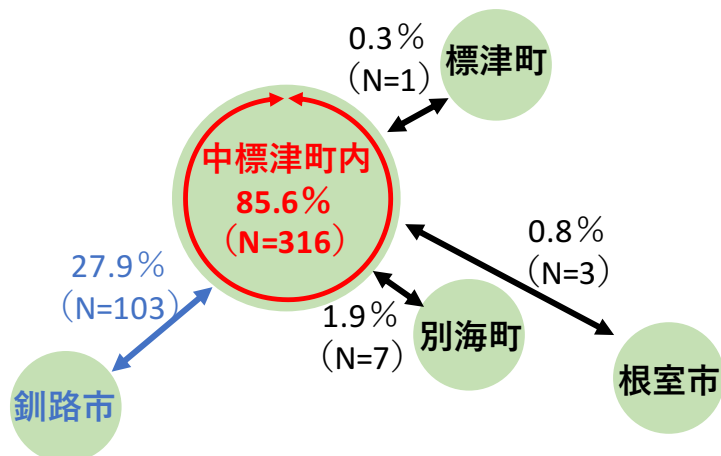
問8-② 通勤・通学圏



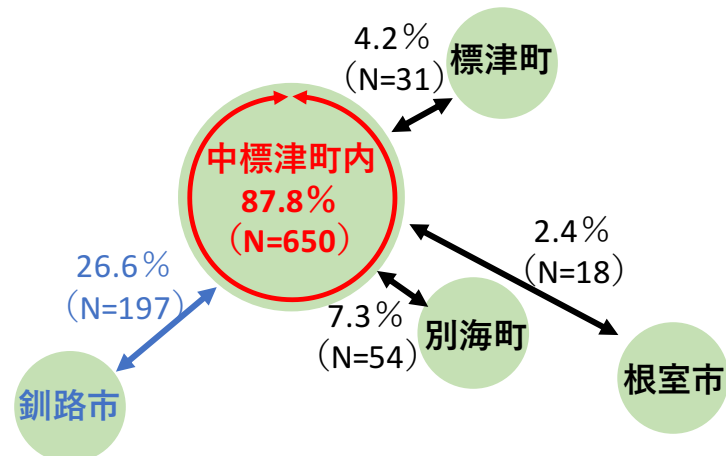
問9-② 買い物圏



問10-② 通院圏



問11-② 私用圏

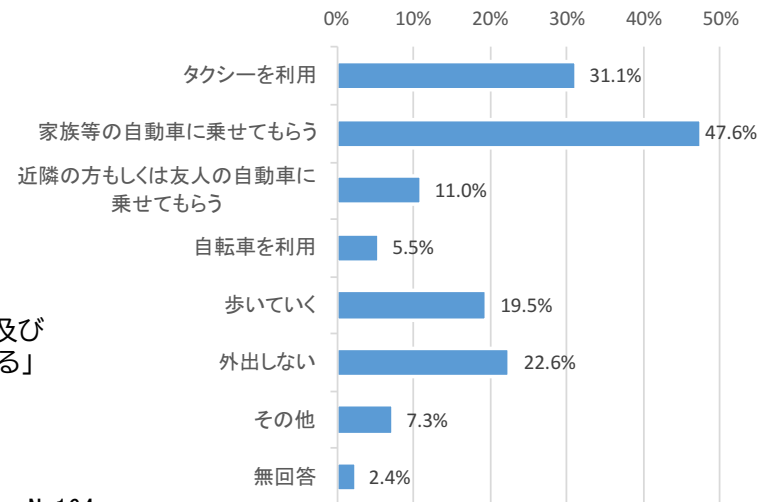




(3)外出時に交通手段がなく困ることについて

- ・アンケート回答者のうち、約2割が「外出時に交通手段がなく困る（困ることがよくある(8%)、困ることがたまにある(10%))」と回答
- ・困った際の移動手段は、「家族等の自動車に乗せてもらう」の回答が最も多く、次いで「タクシーを利用」が多い
- ・一方で、交通手段がないことで、「外出を我慢する(いつもある(2%)、そこそこある(3%))」とした回答は約1割

問14 困ったときはどのように移動していますか【いくつでも】

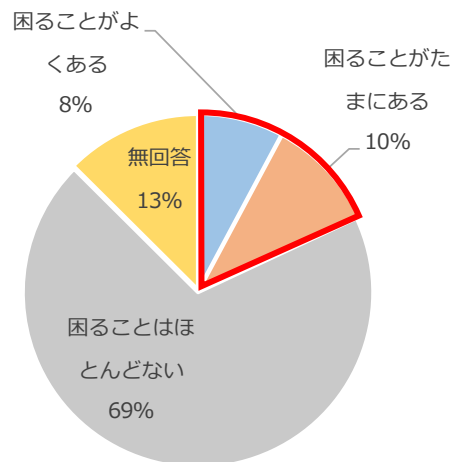


N=164

「1. 困ることがよくある」及び
「2. 困ることがたまにある」
の方が回答

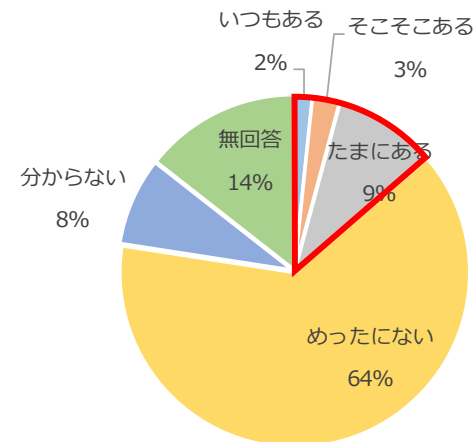


問12 外出時に交通手段がなく困る頻度【1つだけ】



N=909

問15 外出時に交通手段がなく、外出を我慢しますか【1つだけ】



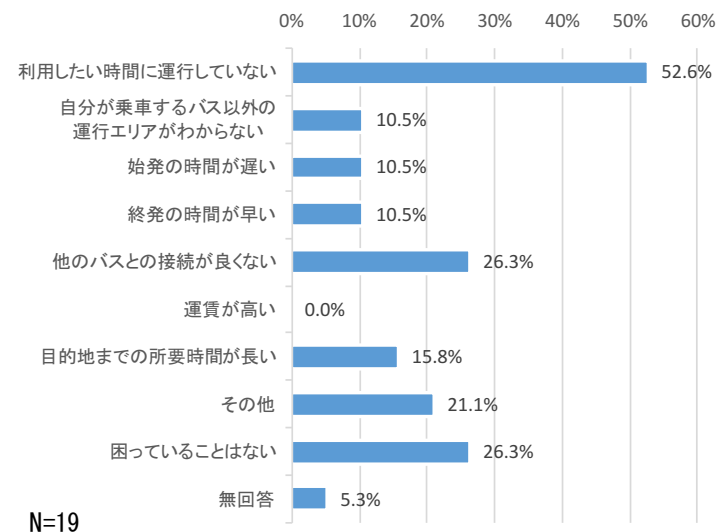
N=909



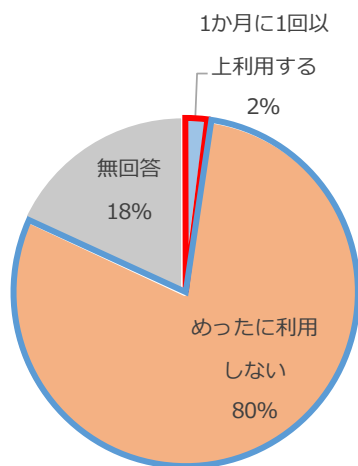
(4) 市内循環線の利用で困っていることについて

- アンケート回答者のうち、市内循環線を「1か月に1回以上利用する」と回答した方は2%
- 利用する際に困っていることの最頻値は「利用したい時間に運行していない」が5割以上であり、その他、「他のバスとの接続が良くない」とする回答が約3割
- 一方で、「めったに利用しない(80%)」と回答した方については、その理由として、運行サービス水準(「自宅からバス停までが遠い」や「使いたい時間に運行していない」、「行先が合わない」など)に関する回答が5割程度となっており、このほか、「運行していることを知らない」とする、周知不足に関する意見も挙がっている

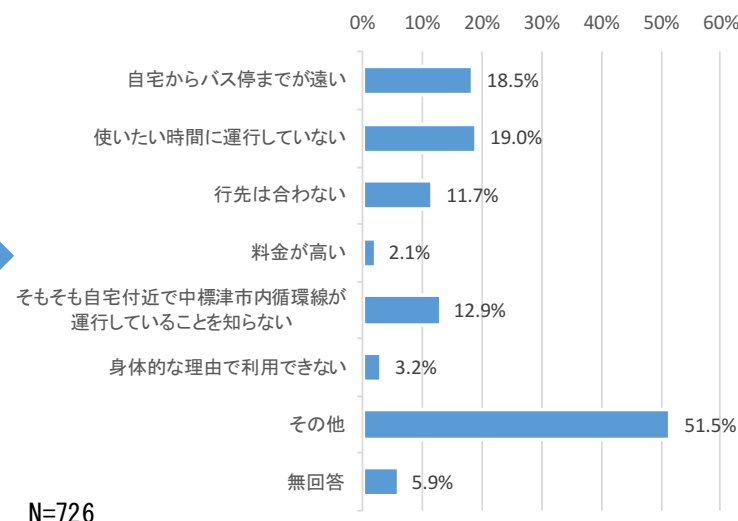
問17 現在の市内循環線を利用する際に困っていること【いくつでも】



問16-① 現在の市内循環線の利用頻度【1つだけ】



問21 市内循環線をめったに利用しない理由【いくつでも】



「1. 1か月に1回以上利用する」と回答された方

「2. めったに利用しない」と回答された方

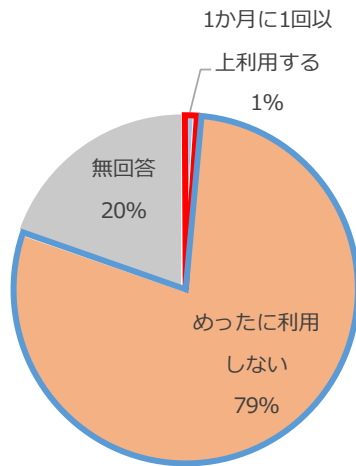


(5) 町営バスの利用で困っていることについて

- アンケート回答者のうち、町営バスを「1か月に1回以上利用する」と回答した方は1%
- 利用する際に困っていることの最頻値は「利用したい時間に運行していない」が4割以上であり、その他、運行サービス水準（「始発の時間が早い」や「目的地までの所要時間が長い」）に関する回答も挙がっている
- 一方で、「めったに利用しない（79%）」と回答した方については、その理由として、市内循環線同様に、運行サービス水準（「自宅からバス停までが遠い」や「使いたい時間に運行していない」、「行先が合わない」など）に関する回答が5割程度となっており、このほか、「運行していることを知らない」とする、周知不足に関する意見も挙がっている

「1. 1か月に1回以上利用する」と回答された方

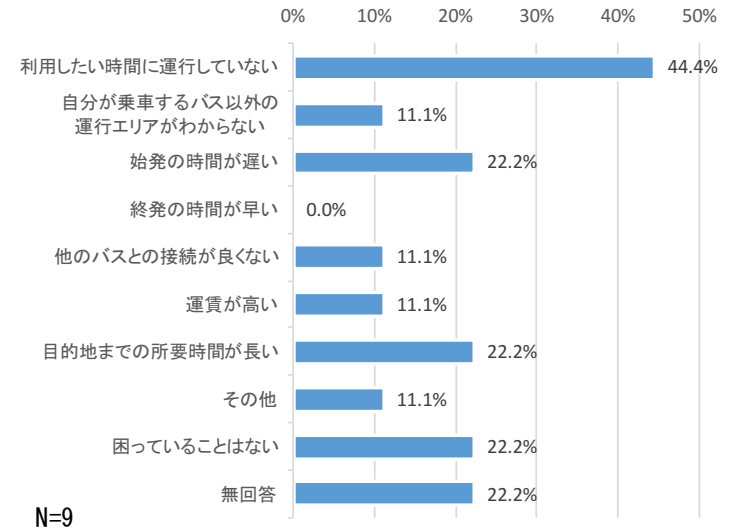
問22-① 現在の町営バスの利用頻度【1つだけ】



N=909

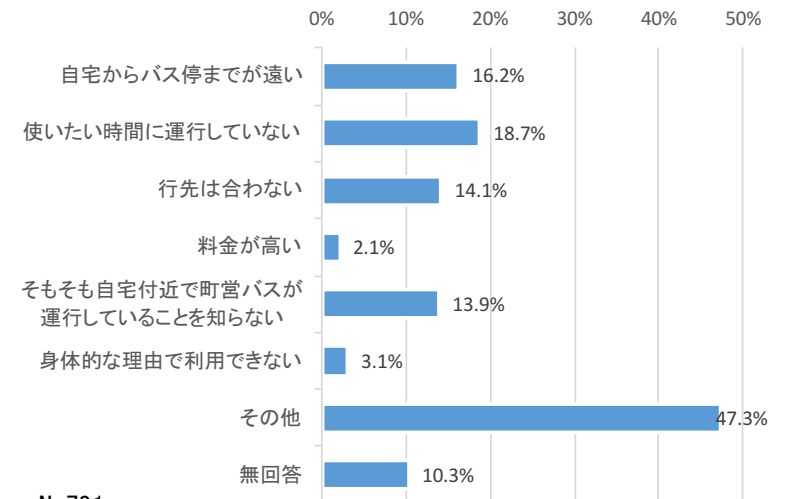
「2. めったに利用しない」と回答された方

問23 現在の町営バスを利用する際に困っていること【いくつでも】



N=9

問27 町営バスをめったに利用しない理由【いくつでも】



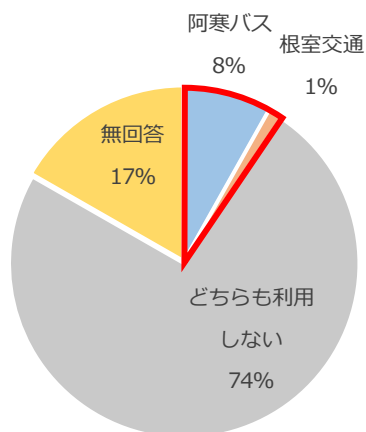
N=721



(6)路線バスの利用で困っていることについて

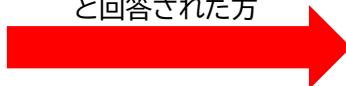
- ・アンケート回答者のうち、当町内を運行する民間バス路線を利用している方は9%(阿寒バス(8%)、根室交通(1%))
- ・民間バス路線を利用していると回答した方のうち、「1か月に1回以上利用する」と回答した方は、約3割
- ※民間バス路線のうち、「阿寒バス」は中標津農業高校(計根別)への通学者の利用が多いなど、比較的町民に利用されている傾向

問28 現在、主に利用するバス路線【1つだけ】

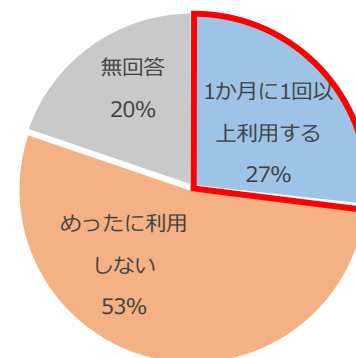


N=909

「1.阿寒バス」もしくは
「2.根室交通」
と回答された方



問29-① 選択したバス路線の利用頻度【1つだけ】



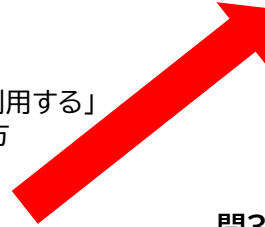
N=86



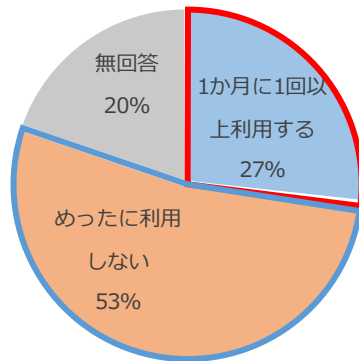
(6) 路線バスの利用で困っていることについて

- アンケート回答者のうち、選択したバス路線を「1か月に1回以上利用する」と回答した方は27%
- 利用する際に困っていることの最頻値は「利用したい時間に運行していない」が約2割である一方で、他路線と比較し、「困っていることはない」とする回答が最も多い
- また、「めったに利用しない(53%)」と回答した方については、その理由として、「使いたい時間に運行していない」とする回答が約5割と最も多い
- 一方で、「運行していることを知らない」と回答した方は、0%であり、運行自体は認知されている

「1. 1か月に1回以上利用する」と回答された方



問29-① 選択したバス路線の利用頻度【1つだけ】

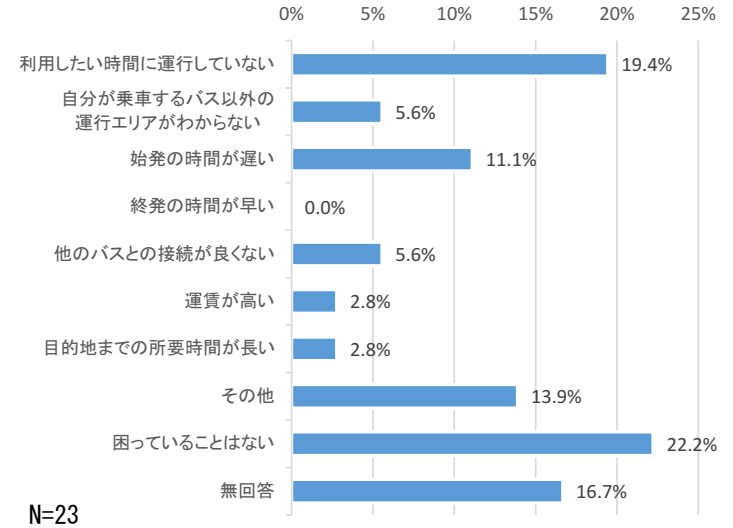


N=86

「2. めったに利用しない」と回答された方

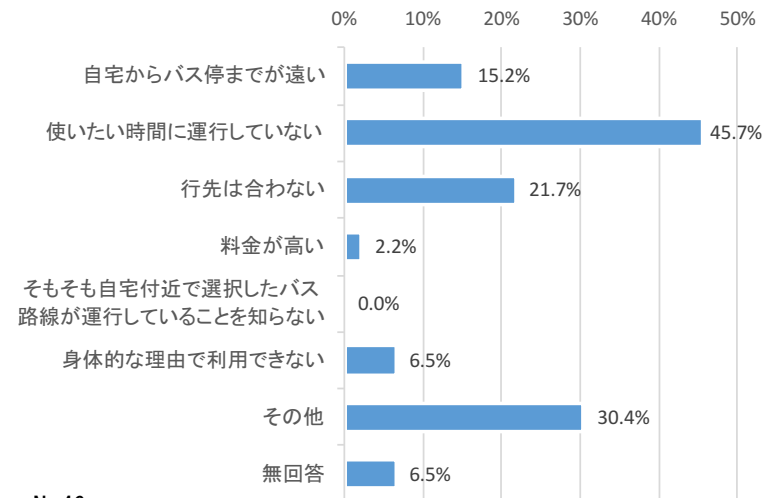


問30 選択したバス路線を利用する際に困っていること【いくつでも】



N=23

問34 選択したバス路線をめったに利用しない理由【いくつでも】



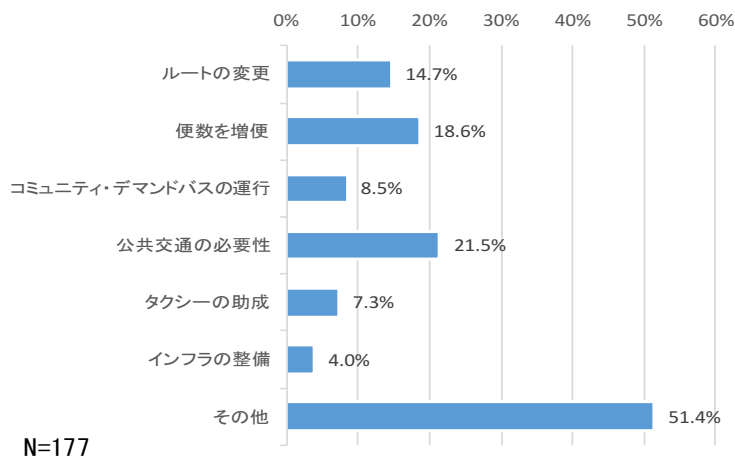
N=46



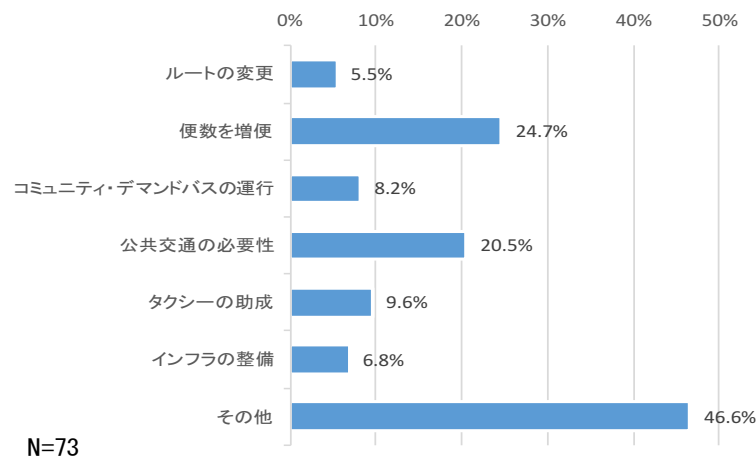
(7) バス路線全般について

- ・アンケート回答者のうち、全地区統一で「公共交通の必要性」に関する回答割合は高くなっている
- ・一方で、地区別に整理すると、市街地及び計根別地区については、「便数の増便」に関するご意見が多くなっており、市街地と計根別地区・釧路方面とを結ぶ民間バス路線において、利用者の乗りこぼしなども発生していることが要因として考えられる
- ・また、郊外部については、「ルートの変更」に関するご意見が多くなっており、現在の町営バス路線が定時定路線であることで、利用したいと考える町民のご自宅からバス停までの距離が遠いことが要因として考えられる

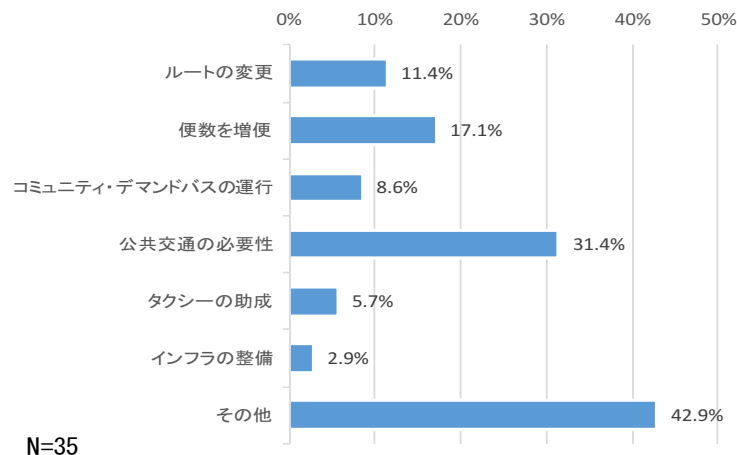
(全体傾向)



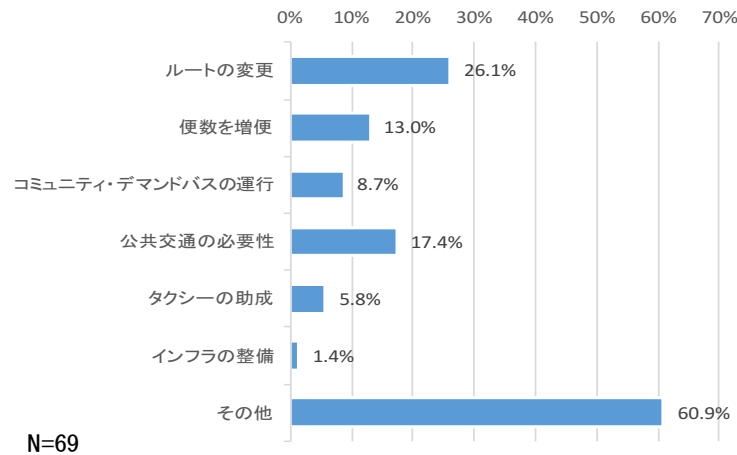
(市街地居住者の回答)



(計根別地区居住者の回答)



(郊外部居住者の回答)

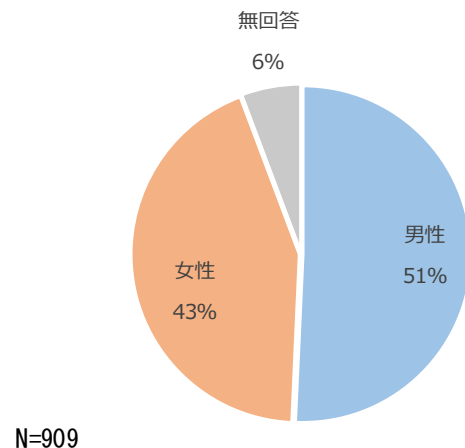


3. 調査結果(詳細)

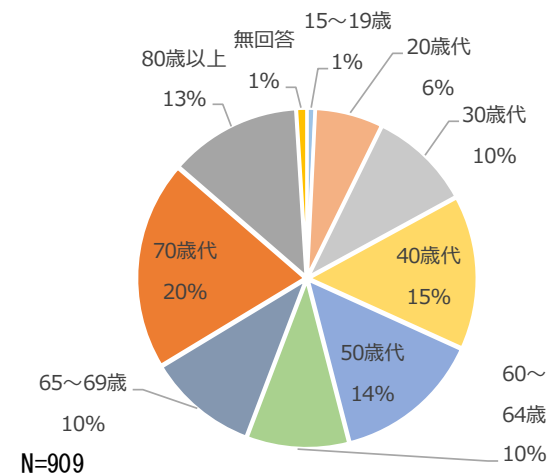


(1)あなたご自身のことについて教えてください(個人属性)

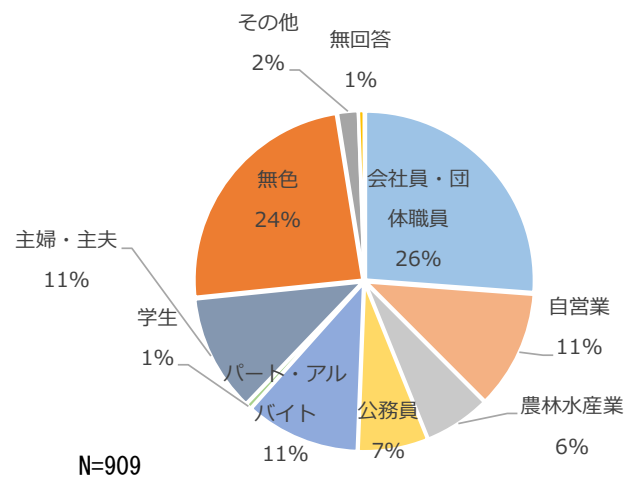
問1-① 性別【1つだけ】



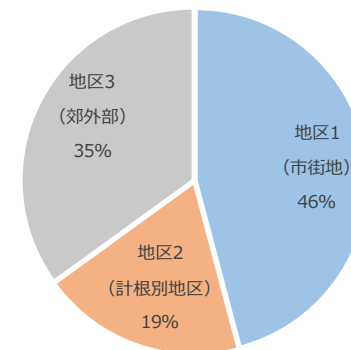
問1-② 年齢【1つだけ】



問2 あなたの職業【1つだけ】



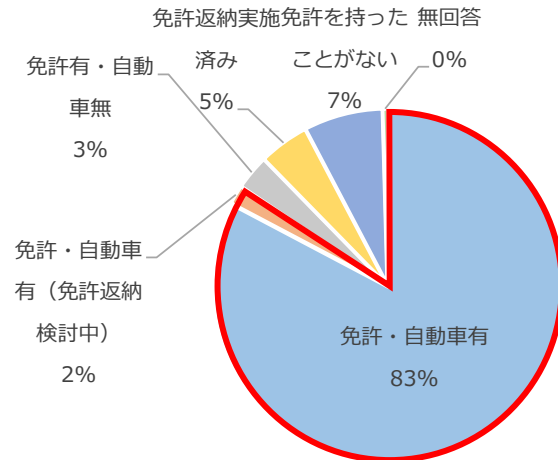
問3 あなたの住所【1つだけ】





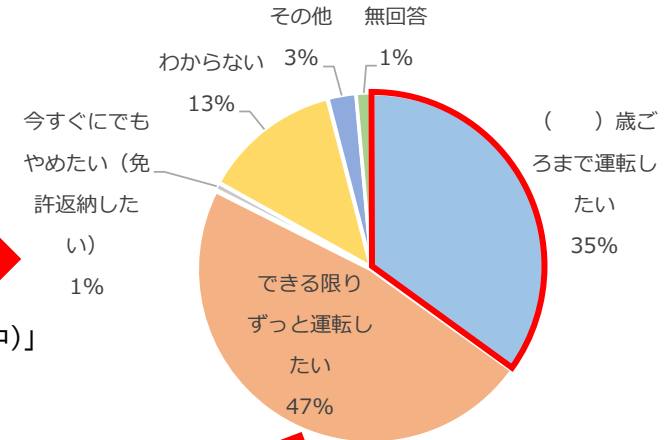
(1)あなたご自身のことについて教えてください(個人属性)

問4 免許・自動車の保有状況【1つだけ】



N=909

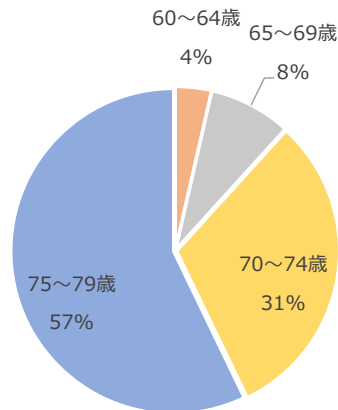
問5 自動車の運転意向【1つだけ】



N=768

「1. 免許・自動車有」及び
「2. 免許・自動車有(免許返納検討中)」
の方が回答

③運転したい年齢【1つだけ】



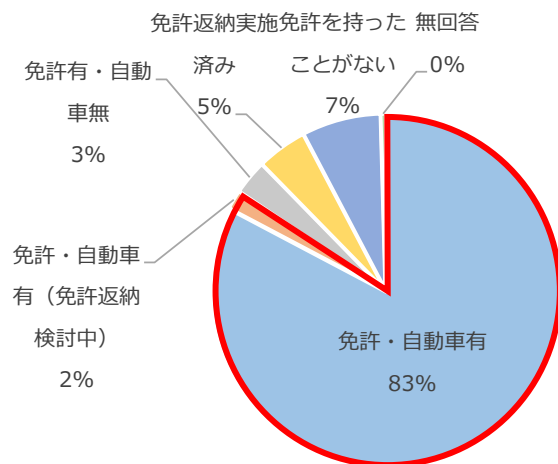
N=268

「1. ()歳ごろまで運転したい」
の方の回答内容



(1)あなたご自身のことについて教えてください(個人属性)

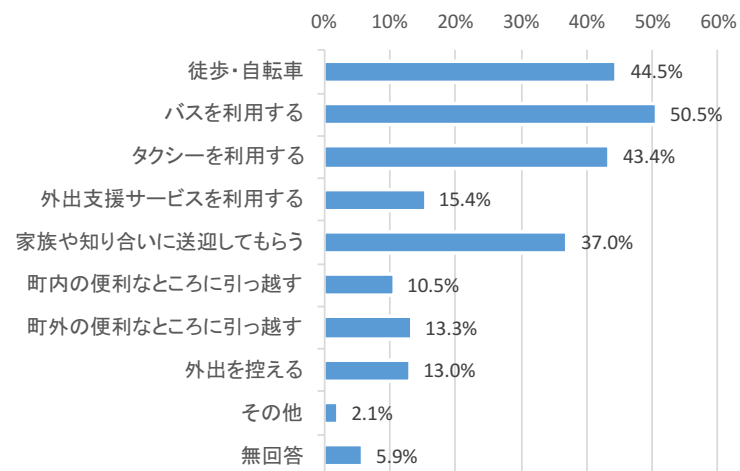
問4 免許・自動車の保有状況【1つだけ】



N=909

「1. 免許・自動車有」及び
「2. 免許・自動車有(免許返納検討中)」
の方が回答

問6 将来、運転が困難になった場合の交通手段【いくつでも】



N=768

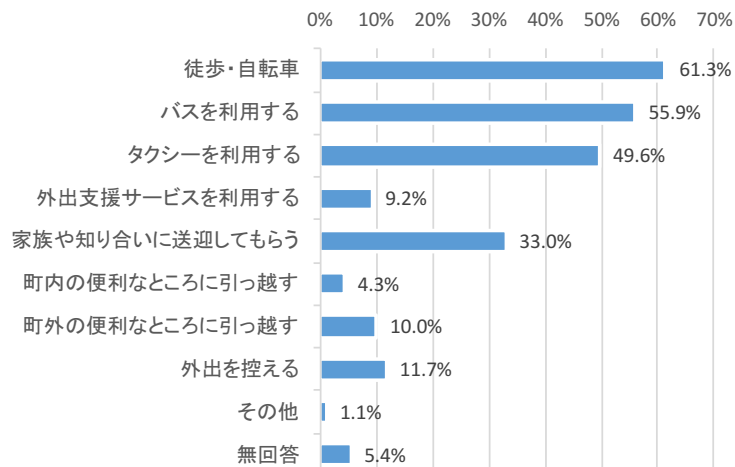
3. 調査結果(詳細)



(1)あなたご自身のことについて教えてください(個人属性)

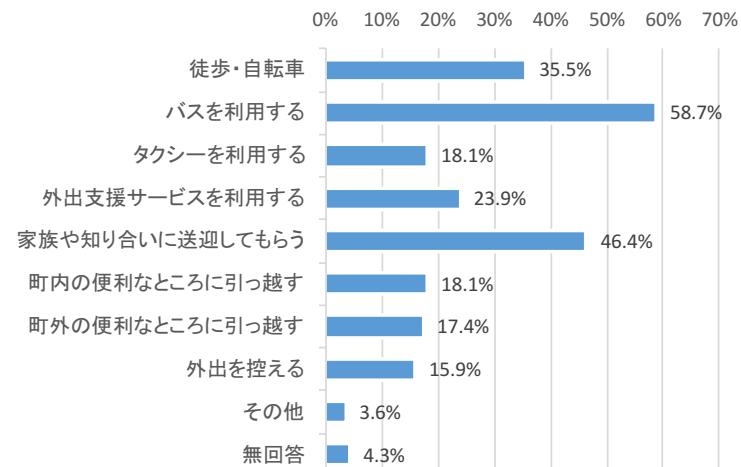
問6 将来、運転が困難になった場合の交通手段【いくつでも】

(市街地居住者の回答)



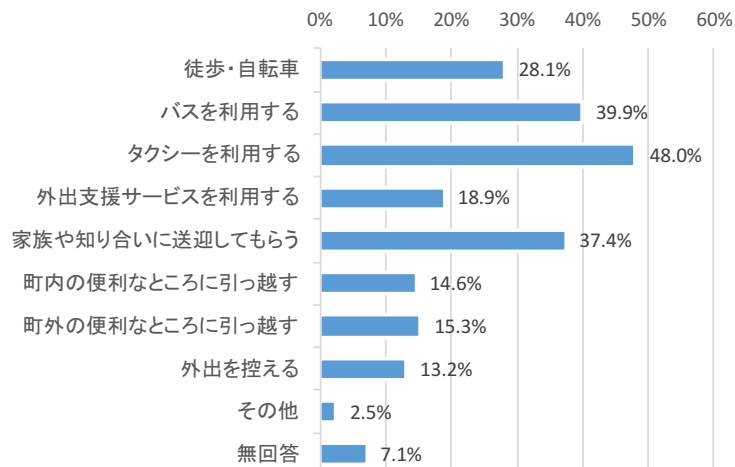
N=349

(計根別地区居住者の回答)



N=138

(郊外部居住者の回答)

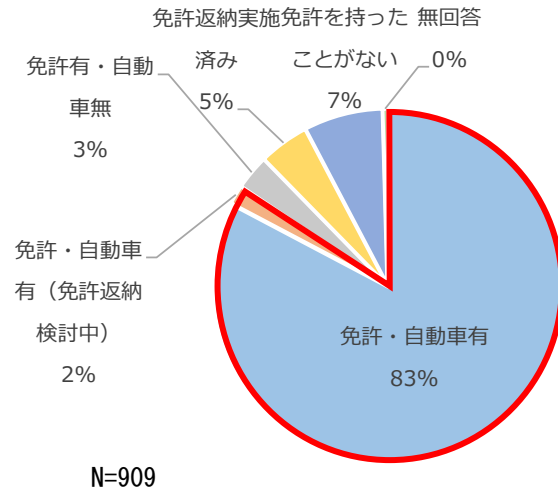


N=281



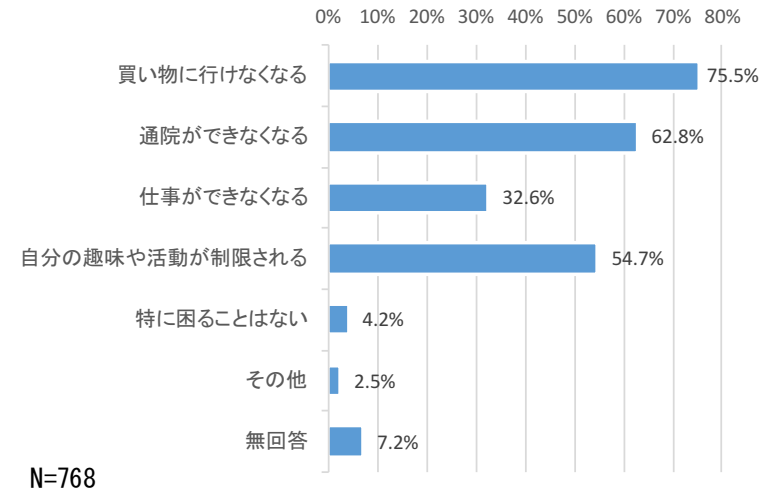
(1)あなたご自身のことについて教えてください(個人属性)

問4 免許・自動車の保有状況【1つだけ】



「1. 免許・自動車有」及び
「2. 免許・自動車有(免許返納検討中)」
の方が回答

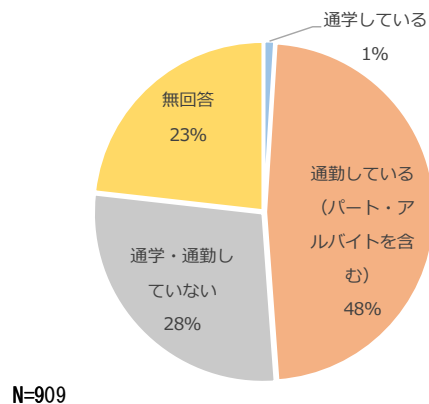
問7 免許返納による困ること【いくつでも】



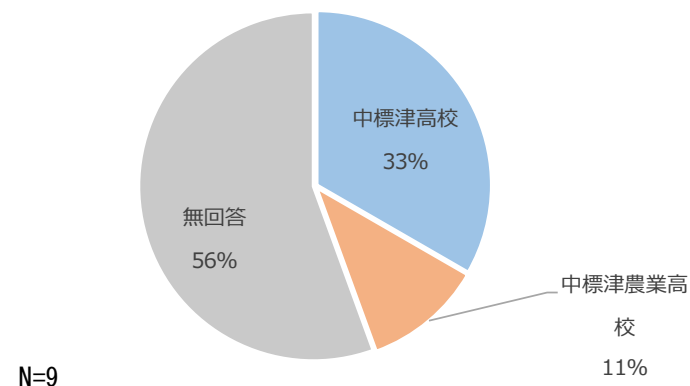


(2)あなたの日常的な生活状況について教えてください(日常の生活行動)

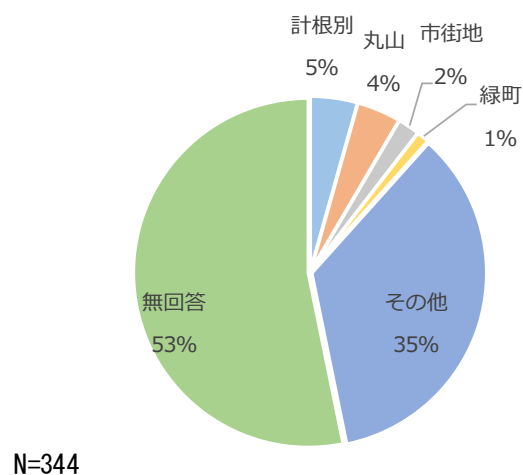
問8-① 通学・通勤の状況【1つだけ】



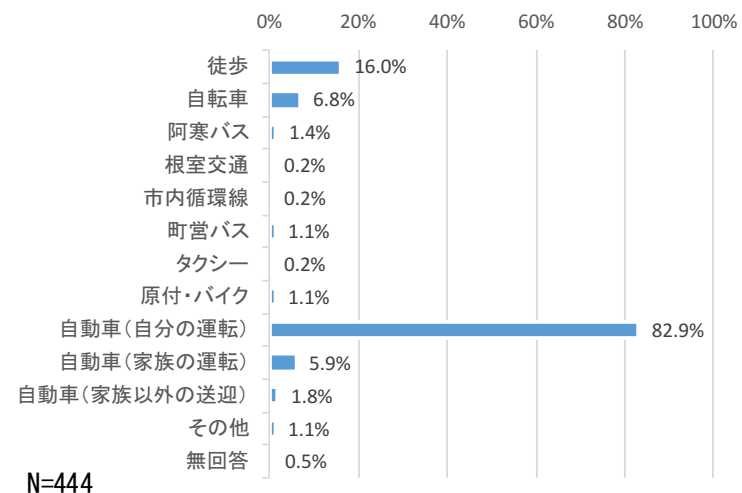
問8-② 高校生の通学先



問8-② 中標津町内の通勤先



問8-③ 通学・通勤する際の交通手段【いくつでも】

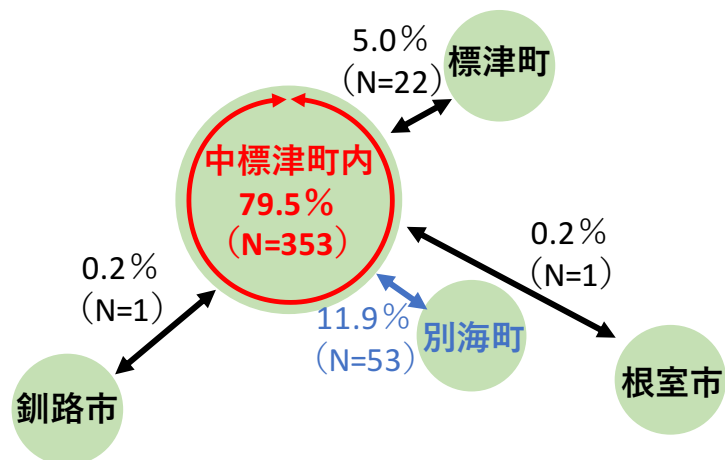




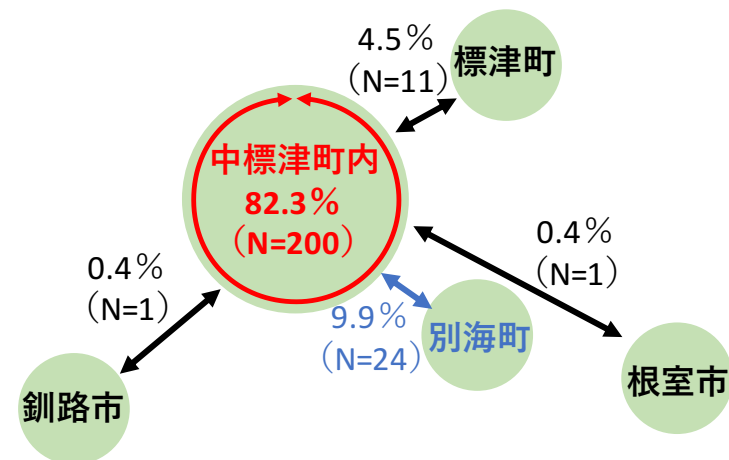
(2)あなたの日常的な生活状況について教えてください(日常の生活行動)

問8-② 通勤・通学先【いくつでも】

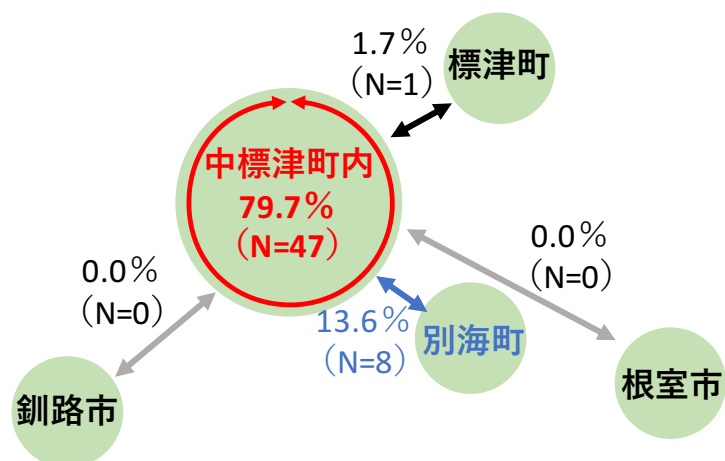
(全体傾向)



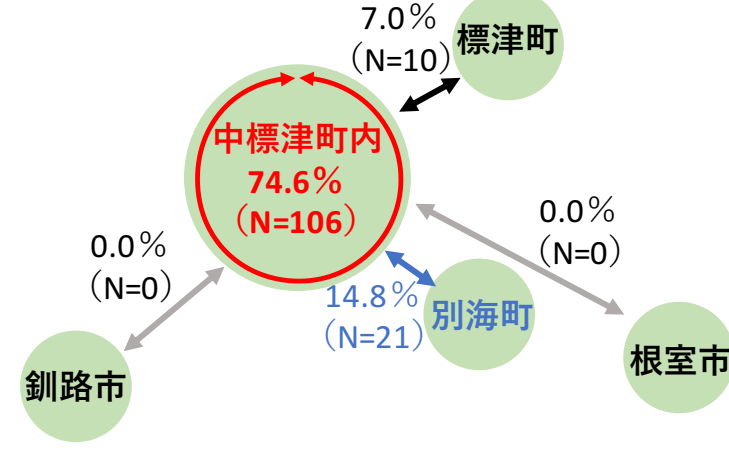
(市街地居住者の回答)



(計根別地区居住者の回答)



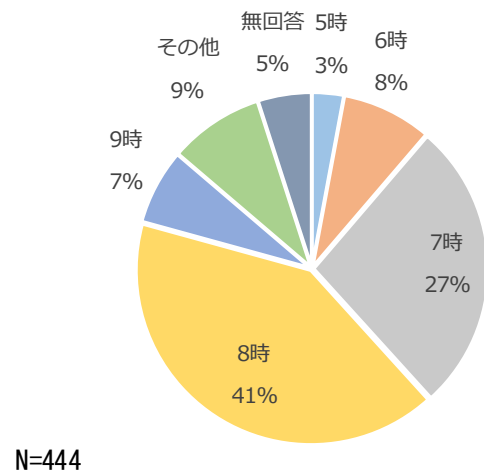
(郊外部居住者の回答)



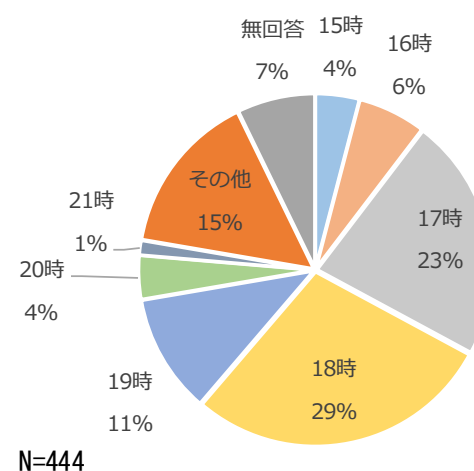


(2)あなたの日常的な生活状況について教えてください(日常の生活行動)

問8-④ 通学・通勤先に到着する時間帯【いくつでも】



問8-⑤ 通学・通勤先から帰宅する時間帯【いくつでも】

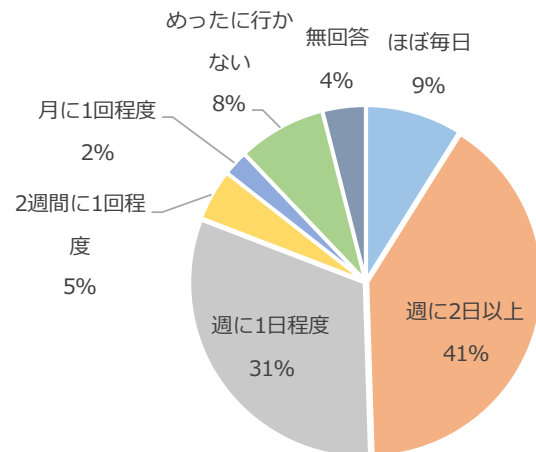


3. 調査結果(詳細)



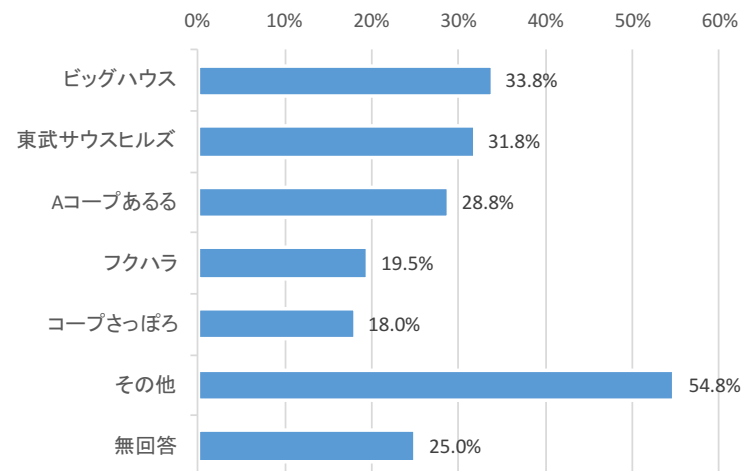
(2)あなたの日常的な生活状況について教えてください(日常の生活行動)

問9-① 買い物に行く頻度【1つだけ】



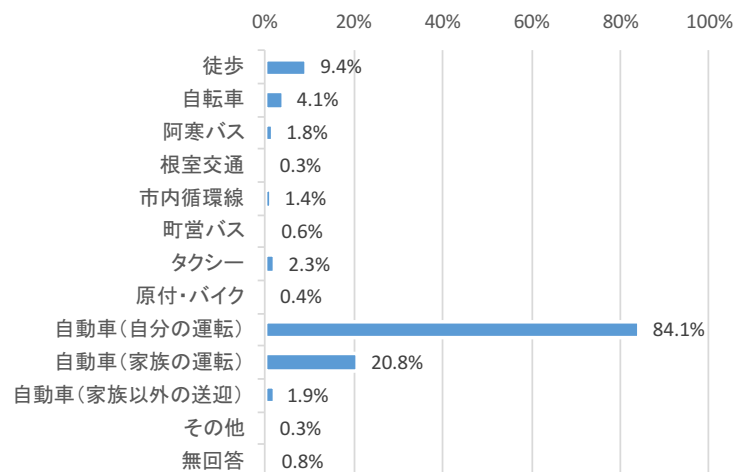
N=909

問9-② 買い物の具体的な店舗名



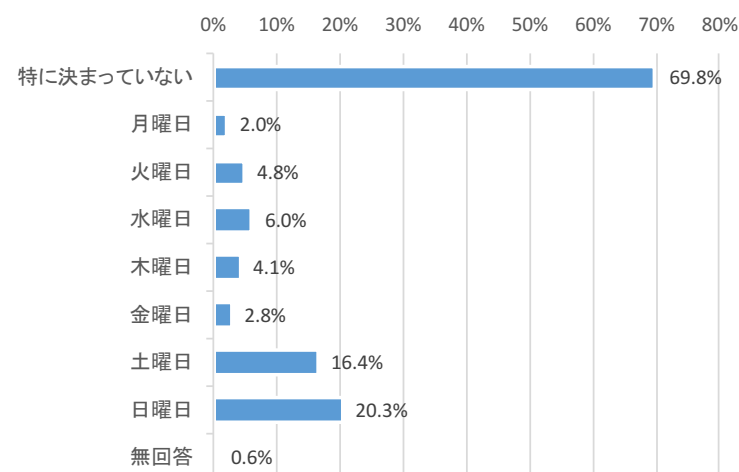
N=799

問9-③ 買い物際の交通手段【いくつでも】



N=799

問9-④ よく買い物に行く曜日【いくつでも】



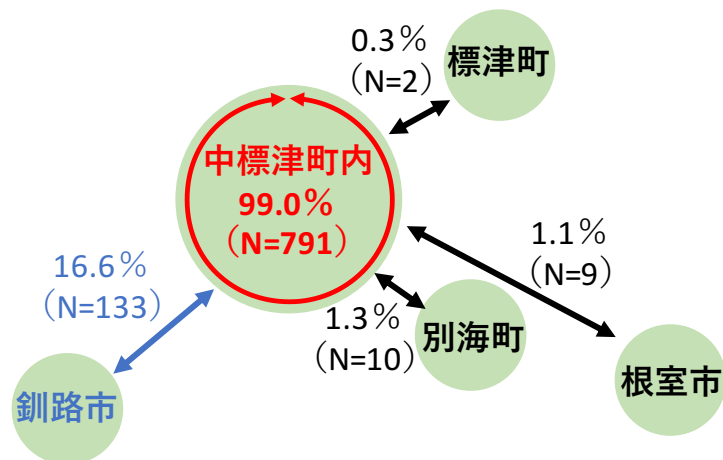
N=799



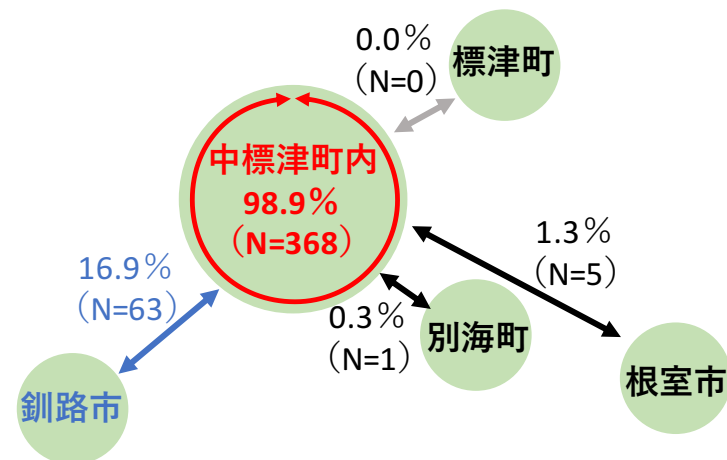
(2)あなたの日常的な生活状況について教えてください(日常の生活行動)

問9-② 買い物の行先【いくつでも】

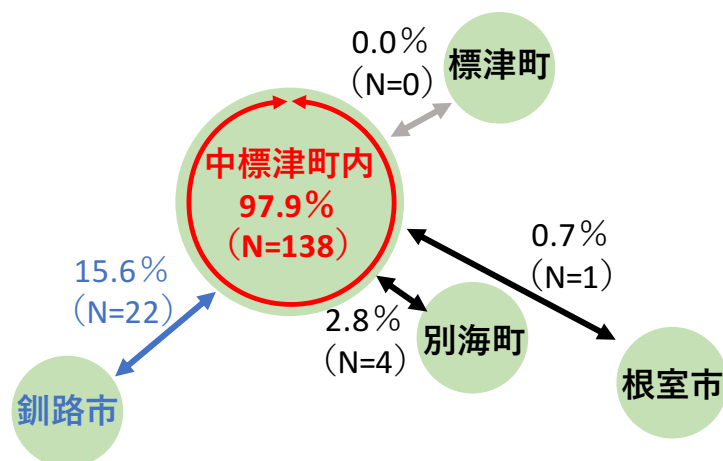
(全体傾向)



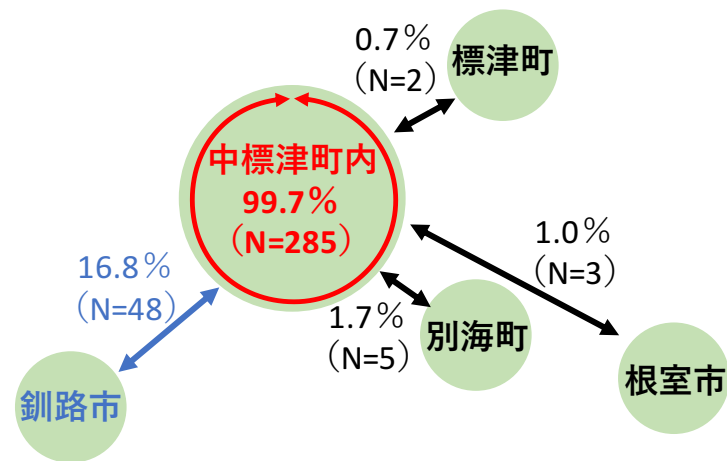
(市街地居住者の回答)



(計根別地区居住者の回答)



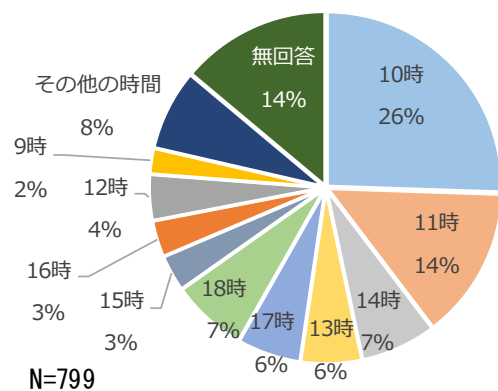
(郊外部居住者の回答)



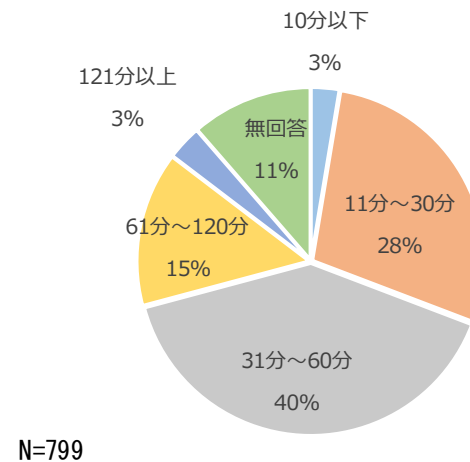


(2)あなたの日常的な生活状況について教えてください(日常の生活行動)

問9-⑤ 買い物先に到着する時間帯【いくつでも】



問9-⑥ 買い物先での滞在時間【いくつでも】

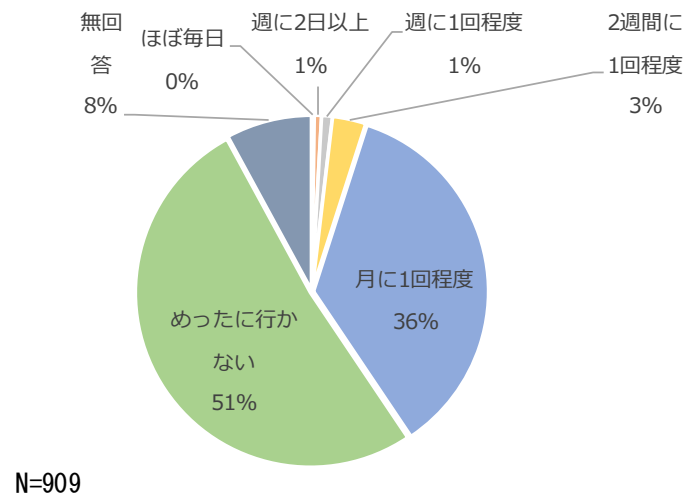


3. 調査結果(詳細)

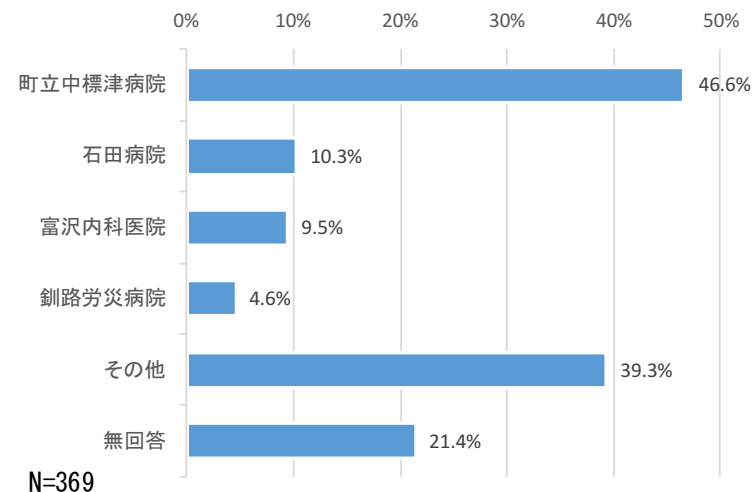


(2)あなたの日常的な生活状況について教えてください(日常の生活行動)

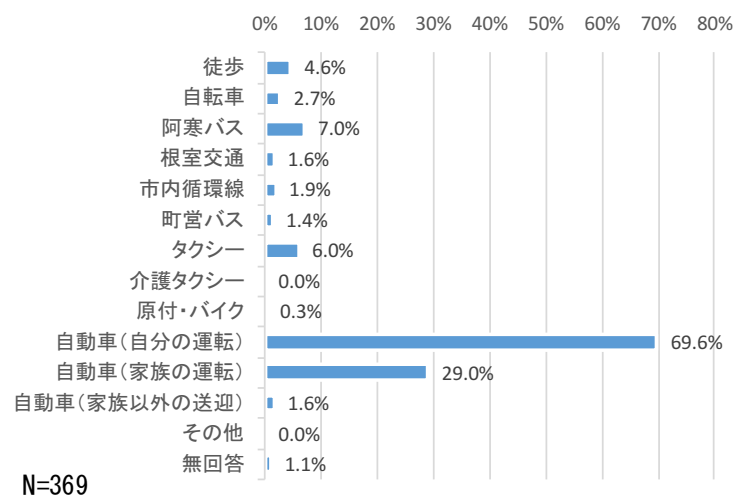
問10-① 通院に行く頻度【1つだけ】



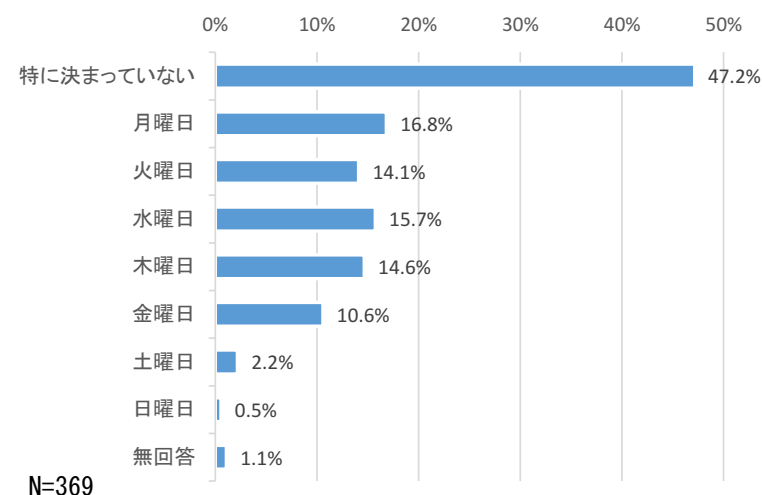
問10-② 通院の具体的な病院名



問10-③ 通院時の交通手段【いくつでも】



問10-④ よく通院する曜日【いくつでも】

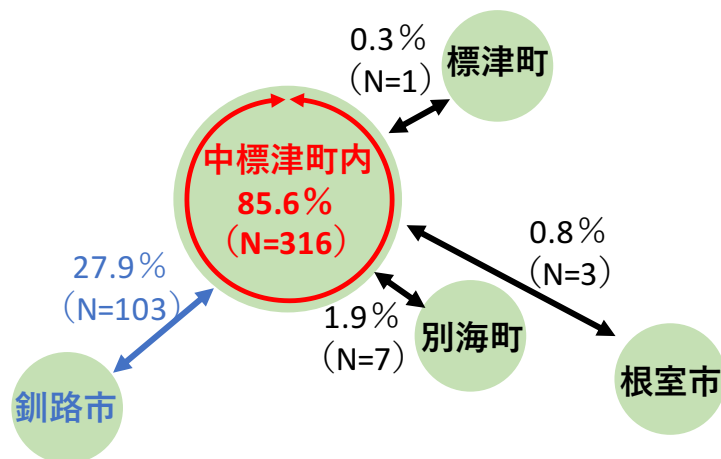




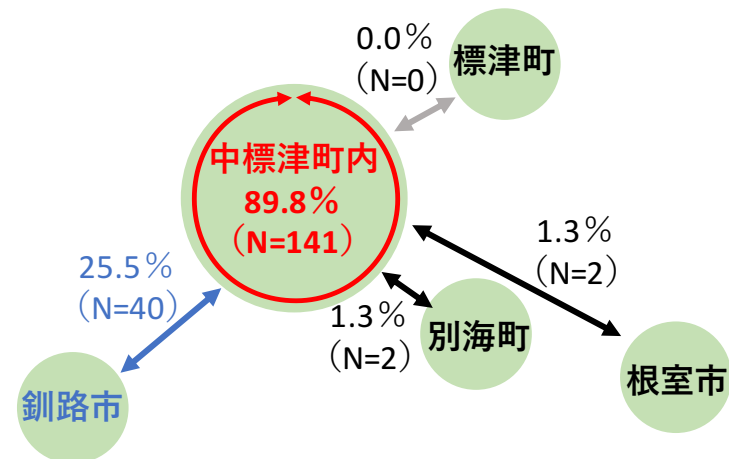
(2)あなたの日常的な生活状況について教えてください(日常の生活行動)

問10-② 通院の行先【いくつでも】

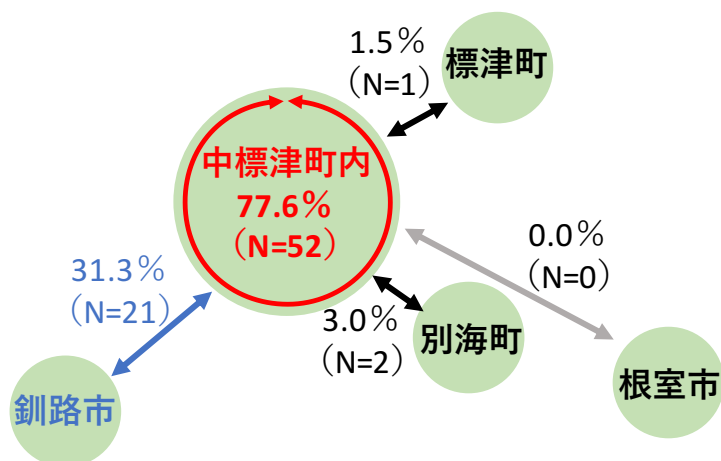
(全体傾向)



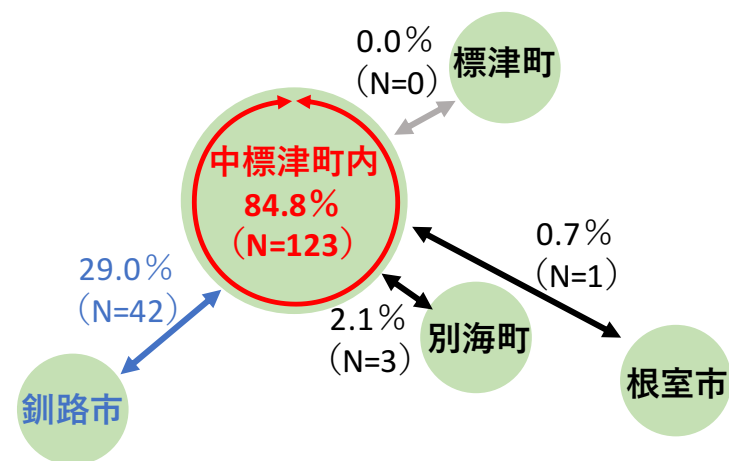
(市街地居住者の回答)



(計根別地区居住者の回答)



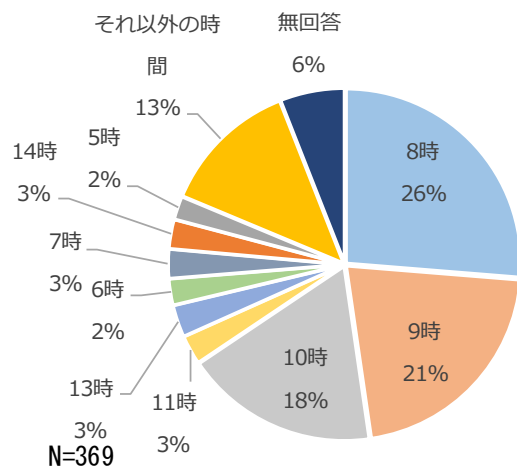
(郊外部居住者の回答)



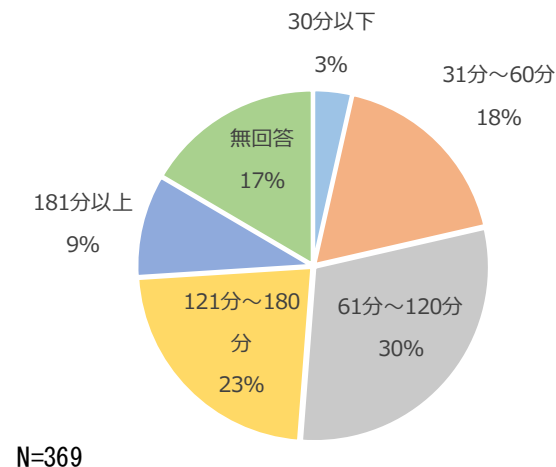


(2)あなたの日常的な生活状況について教えてください(日常の生活行動)

問10-⑤ 通院先に到着する時間帯【いくつでも】



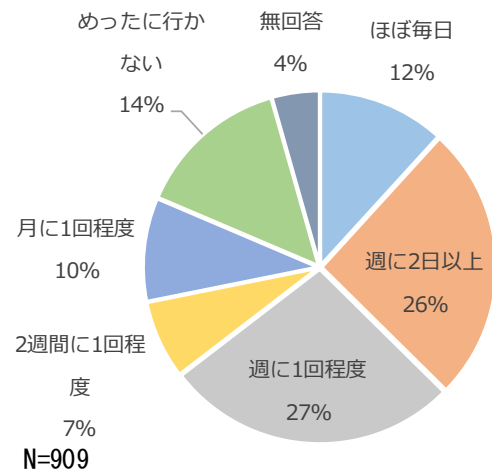
問10-⑥ 通院先での滞在時間【いくつでも】



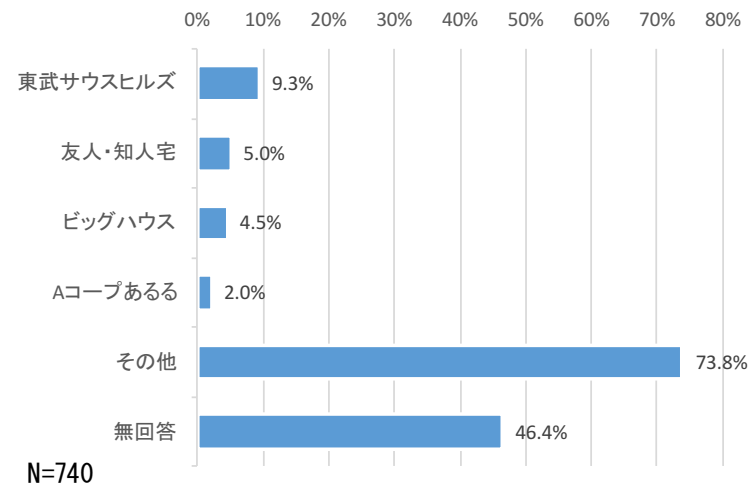


(2)あなたの日常的な生活状況について教えてください(日常の生活行動)

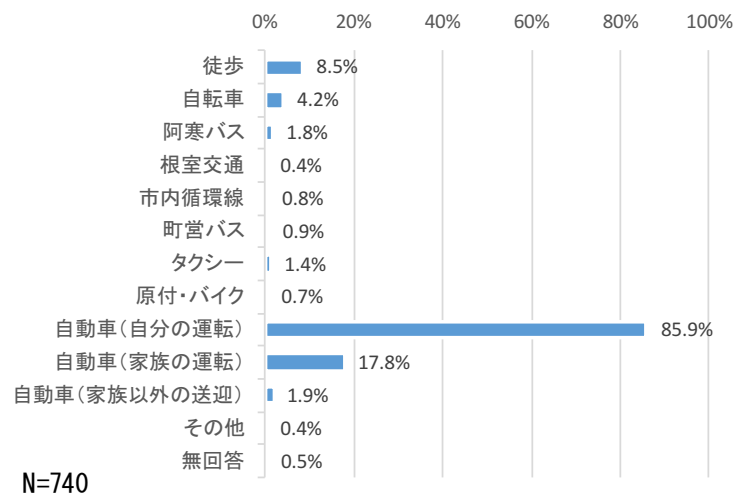
問11-① 私用などで出かける頻度【1つだけ】



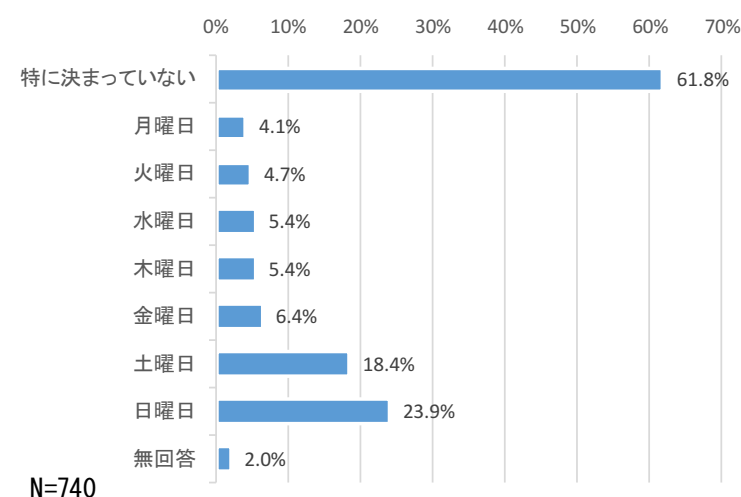
問11-② 中標津町内の具体的なお出かけ先



問11-③ お出かけの際の交通手段【いくつでも】



問11-④ よくお出かけする曜日【いくつでも】

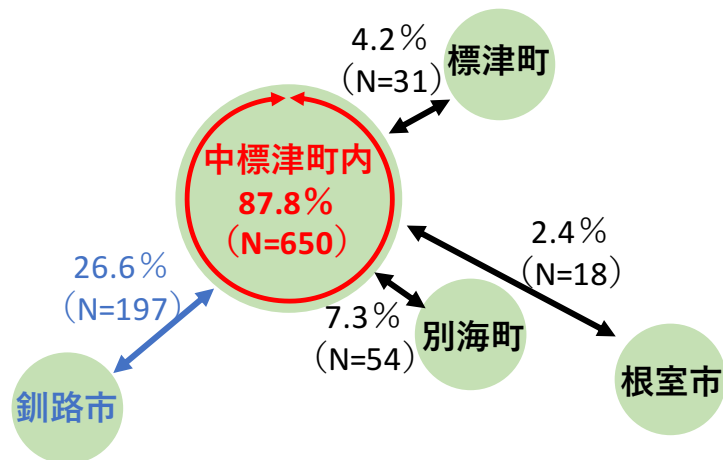




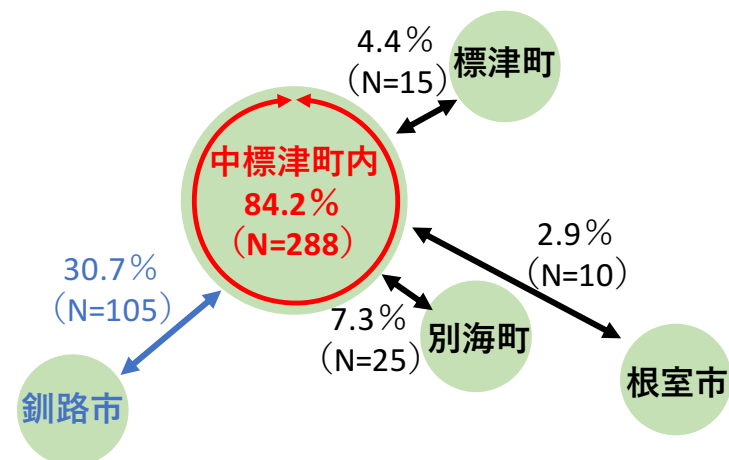
(2)あなたの日常的な生活状況について教えてください(日常の生活行動)

問11-② よく行くお出かけ先【いくつでも】

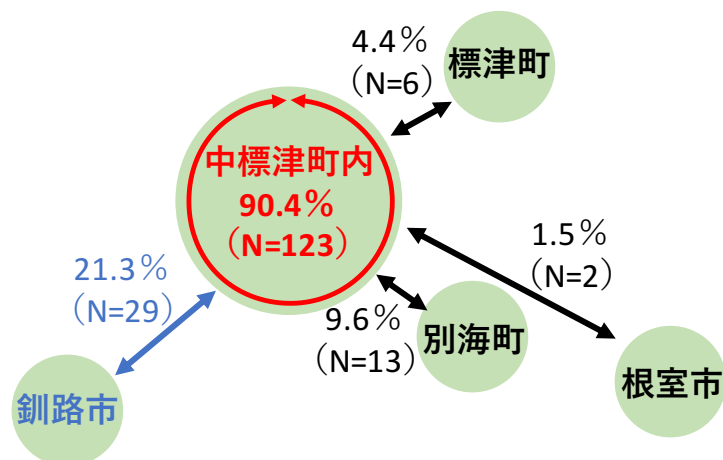
(全体傾向)



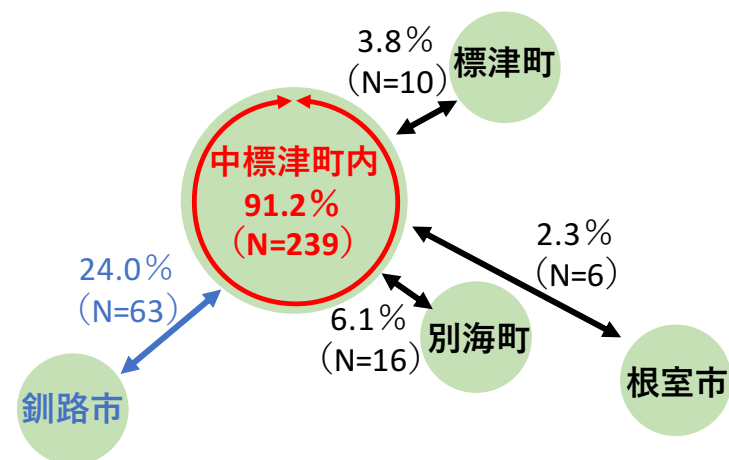
(市街地居住者の回答)



(計根別地区居住者の回答)



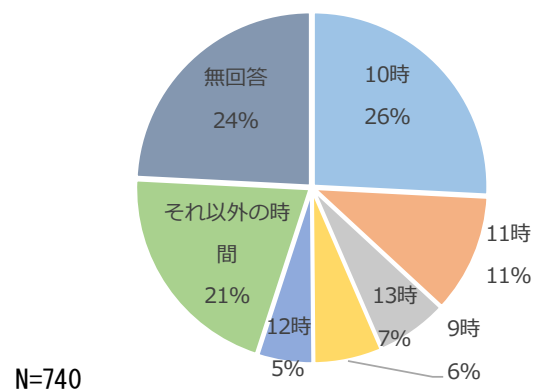
(郊外部居住者の回答)



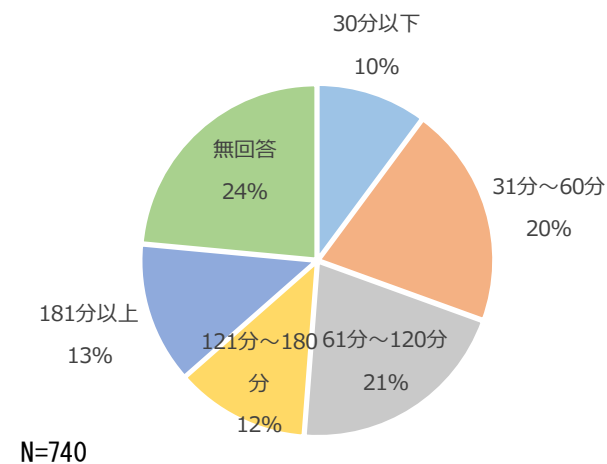


(2)あなたの日常的な生活状況について教えてください(日常の生活行動)

問11-⑤ お出かけ先に到着する時間帯【いくつでも】



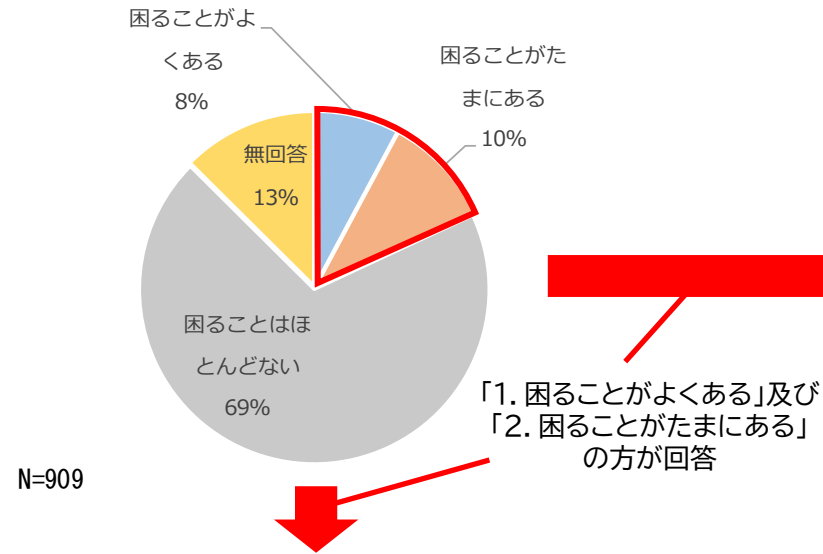
問11-⑥ お出かけ先での滞在時間【いくつでも】



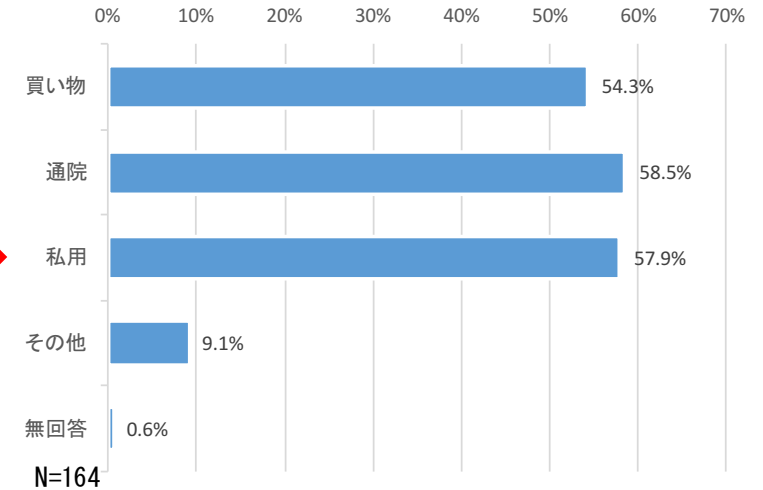


(2)あなたの日常生活状況について教えてください(日常の生活行動)

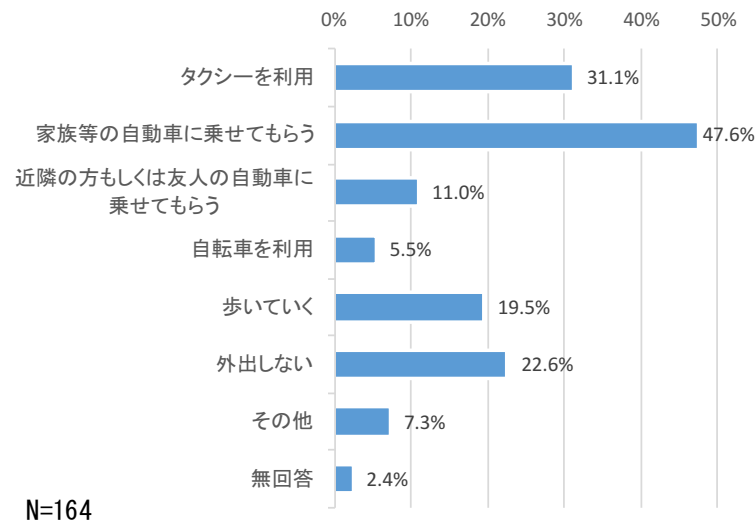
問12 外出時に交通手段がなくて困る頻度【1つだけ】



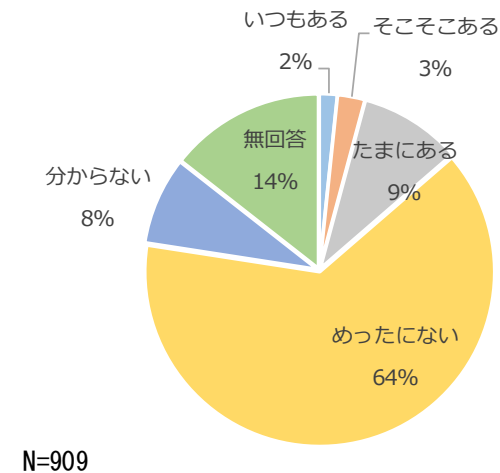
問13 どのような目的の時に困りますか【いくつでも】



問14 困ったときはどのように移動していますか【いくつでも】



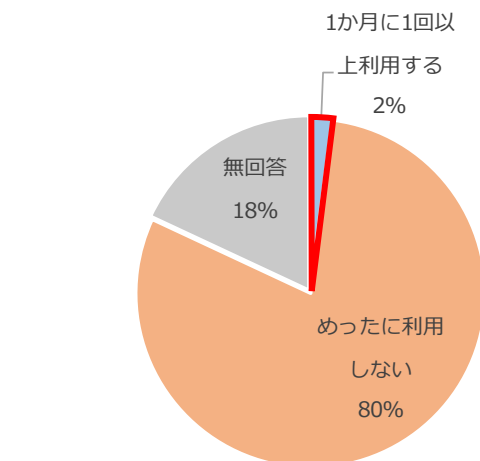
問15 外出時に交通手段がなく、外出を我慢しますか【1つだけ】





(3)地域公共交通に対するニーズについて教えてください(町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ)

問16-① 現在の市内循環線の利用頻度【1つだけ】

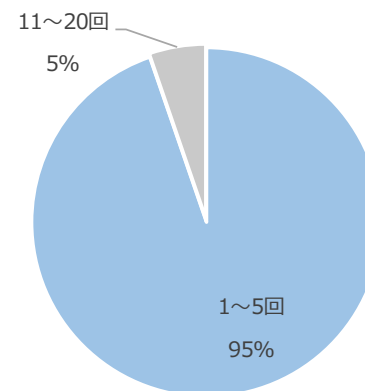


N=909

1か月当たりの利用回数

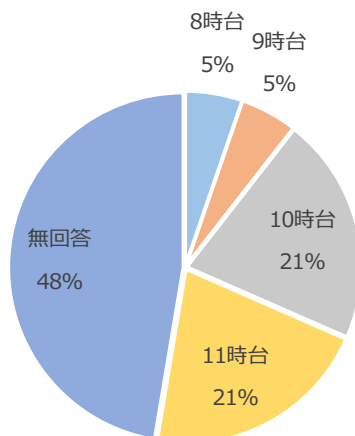


問16-① 利用回数



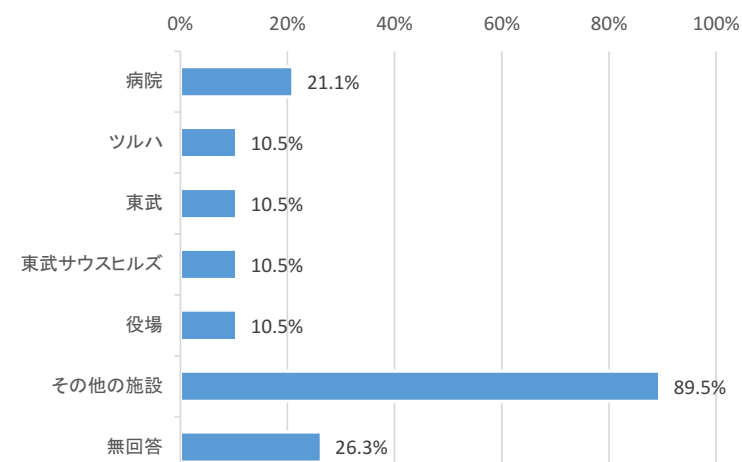
N=19

問16-② 実際に利用している時間帯



N=19

問16-③ 市内循環線を利用してよく行く町内施設(いくつでも)

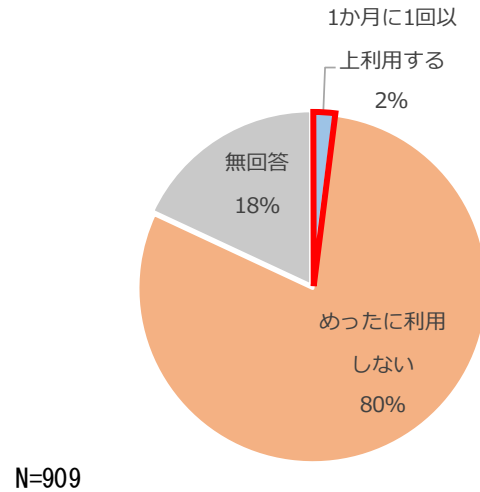


N=19



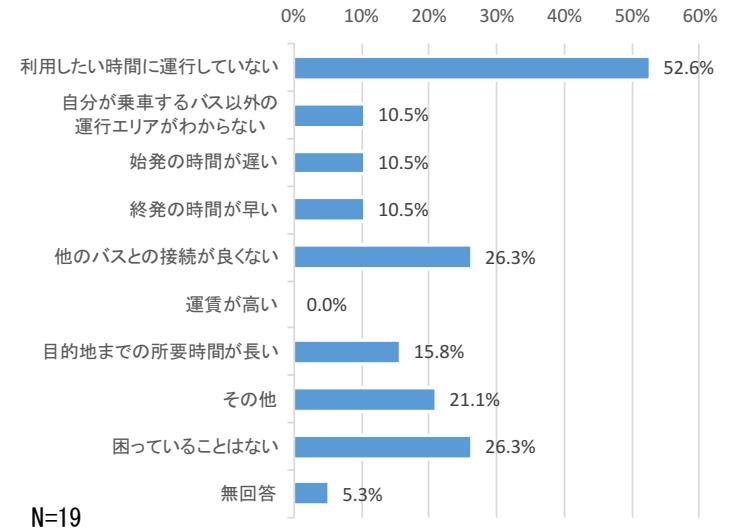
(3)地域公共交通に対するニーズについて教えてください(町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ)

問16-① 現在の市内循環線の利用頻度【1つだけ】



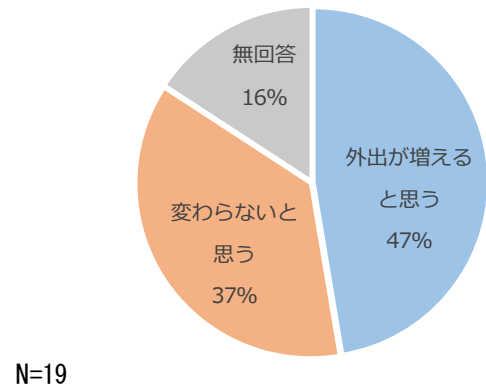
「1. 1か月に1回以上利用する」と回答された方

問17 現在の市内循環線を利用する際に困っていること【いくつでも】



問18 改善された場合の公共交通を利用した外出機会の変化【1つだけ】

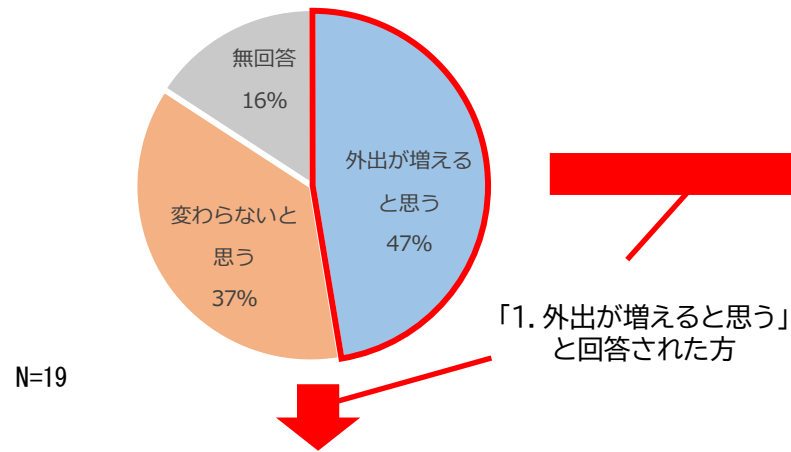
困っていることを回答した方



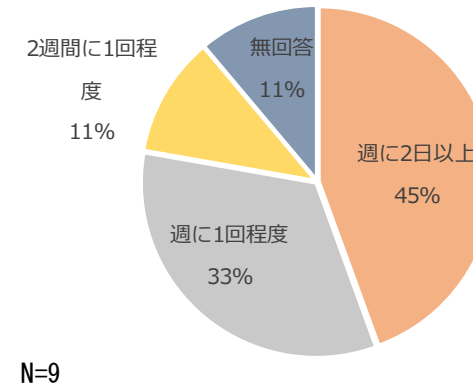


(3)地域公共交通に対するニーズについて教えてください(町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ)

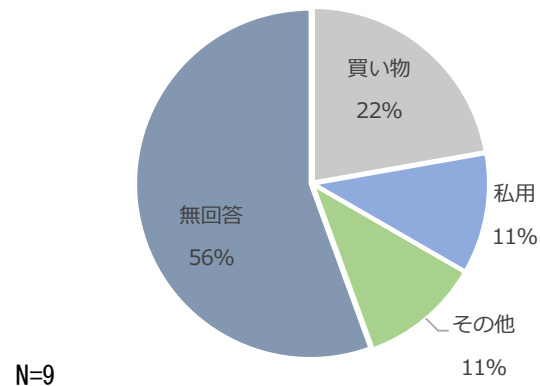
問18 改善された場合の公共交通を利用した外出機会の変化【1つだけ】



問19 想定される外出回数【1つだけ】



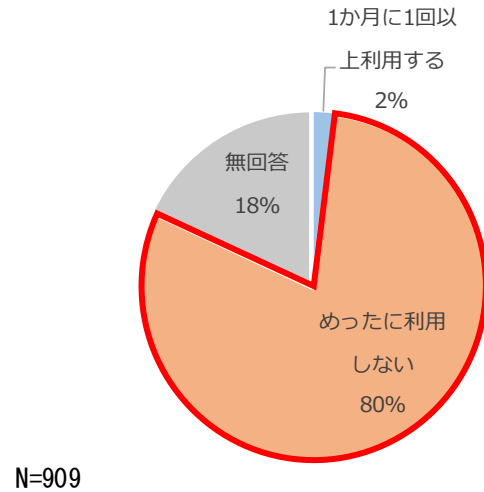
問20 想定される利用目的【1つだけ】





(3)地域公共交通に対するニーズについて教えてください(町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ)

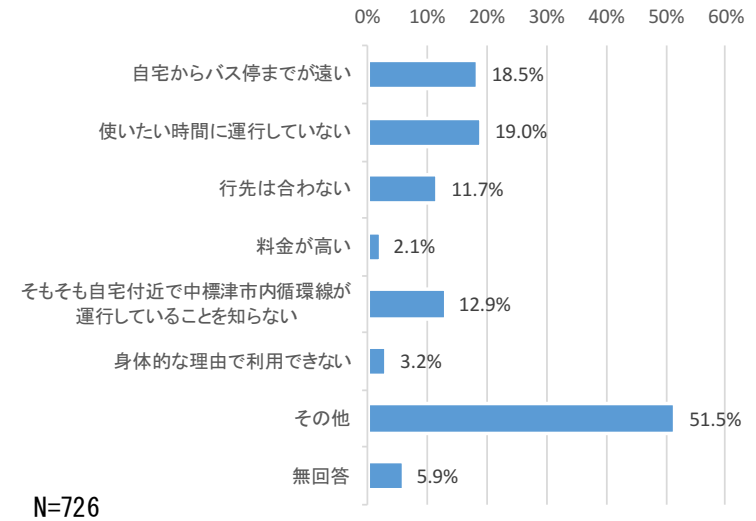
問16-① 現在の市内循環線の利用頻度【1つだけ】



「2. めったに利用しない」と回答された方



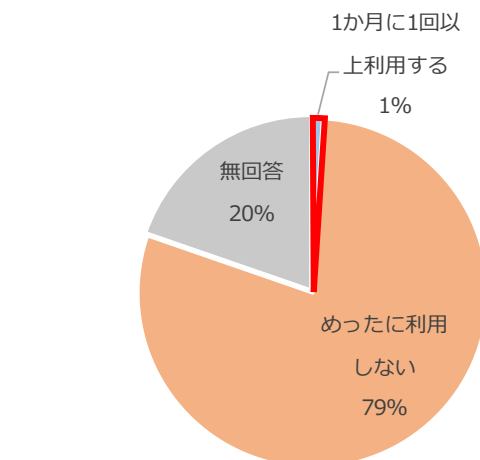
問21 市内循環線をめったに利用しない理由【いくつでも】





(3)地域公共交通に対するニーズについて教えてください(町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ)

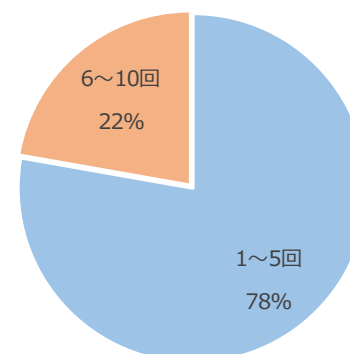
問22-① 現在の町営バスの利用頻度【1つだけ】



N=909

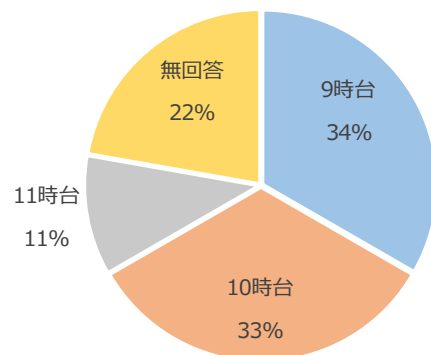
1か月当たりの利用回数

問22-① 利用回数



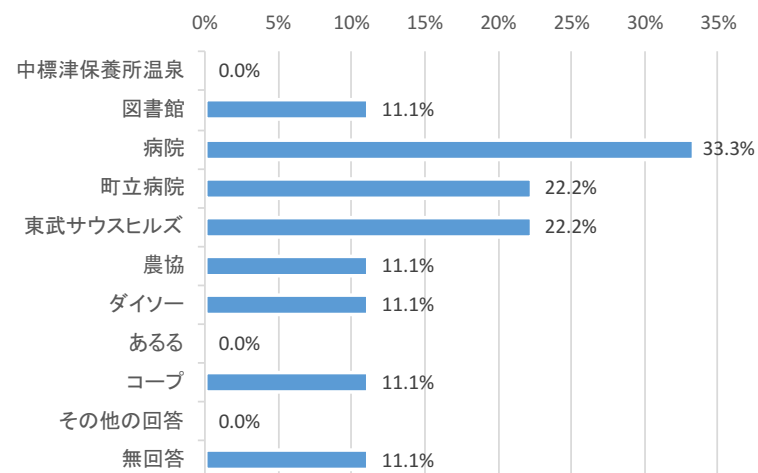
N=9

問22-② 実際に利用している時間帯



N=9

問22-③ 町営バスを利用してよく行く町内施設(いくつでも)

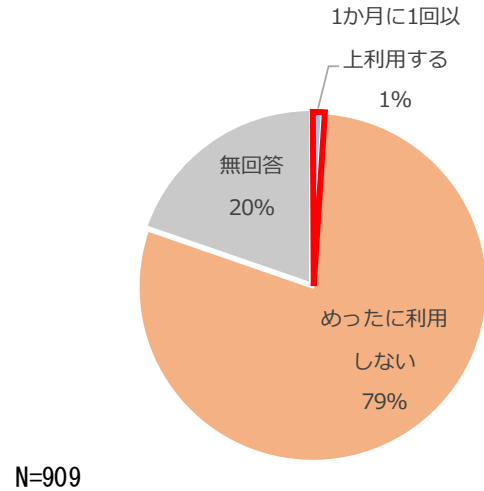


N=9



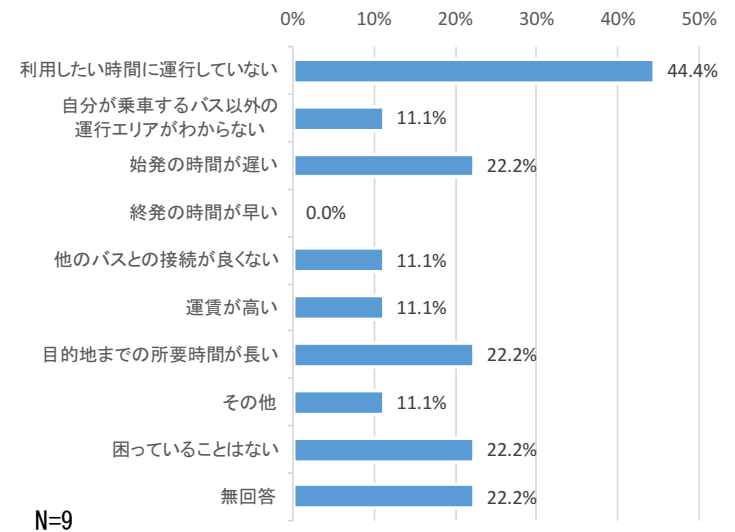
(3)地域公共交通に対するニーズについて教えてください(町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ)

問22-① 現在の町営バスの利用頻度【1つだけ】

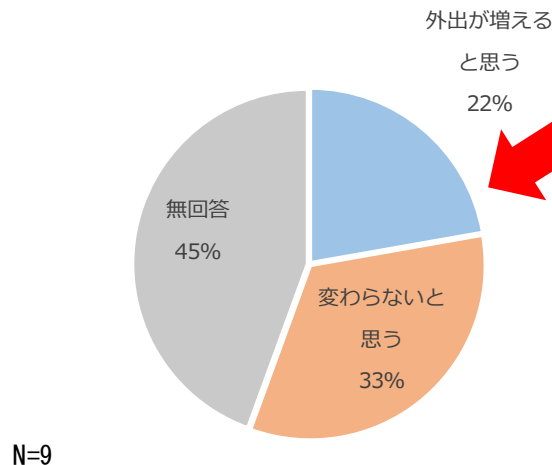


「1. 1か月に1回以上利用する」と回答された方

問23 現在の町営バスを利用する際に困っていること【いくつでも】



問24 改善された場合の公共交通を利用した外出機会の変化【1つだけ】

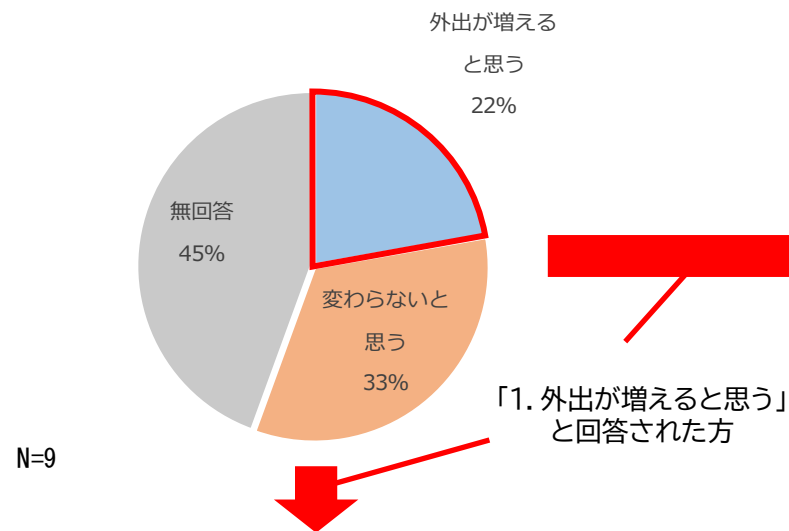


困っていることを回答した方

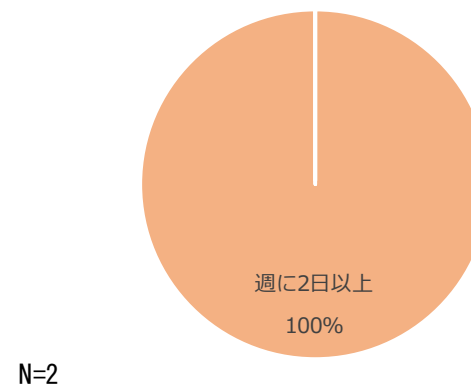


(3)地域公共交通に対するニーズについて教えてください(町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ)

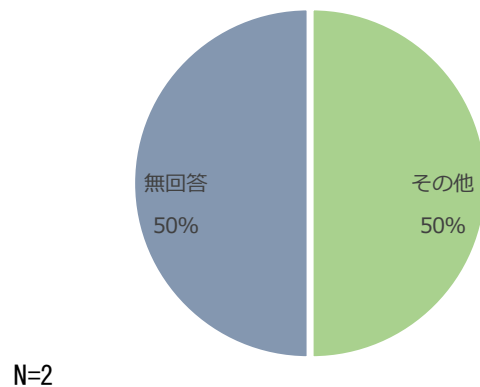
問24 改善された場合の公共交通を利用した外出機会の変化【1つだけ】



問25 想定される外出回数【1つだけ】



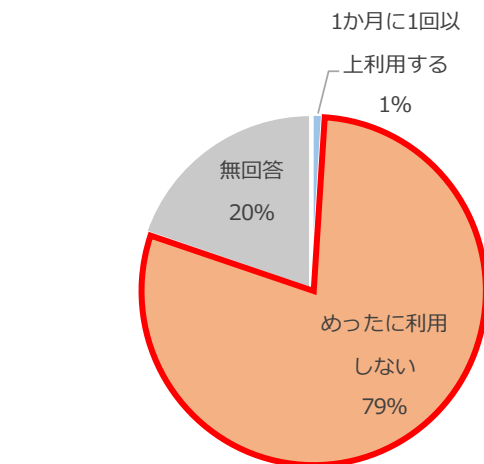
問26 想定される利用目的【1つだけ】





(3)地域公共交通に対するニーズについて教えてください(町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ)

問22-① 現在の町営バスの利用頻度【1つだけ】

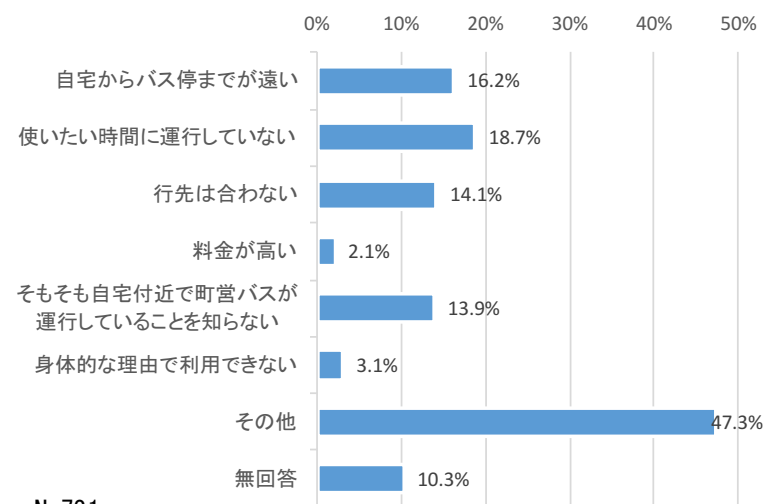


N=909

「2. めったに利用しない」と回答された方



問27 町営バスをめったに利用しない理由【いくつでも】



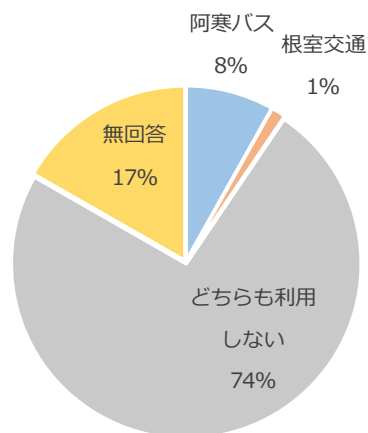
N=721



(3)地域公共交通に対するニーズについて教えてください(町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ)

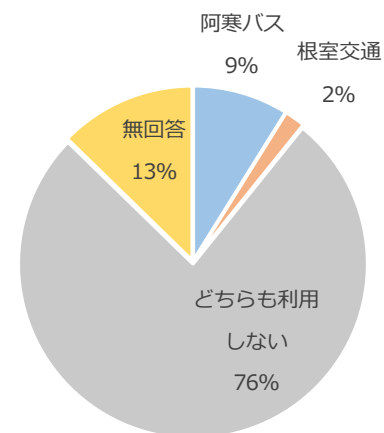
問28 現在、移動で主に利用するバス路線【1つだけ】

(全体傾向)



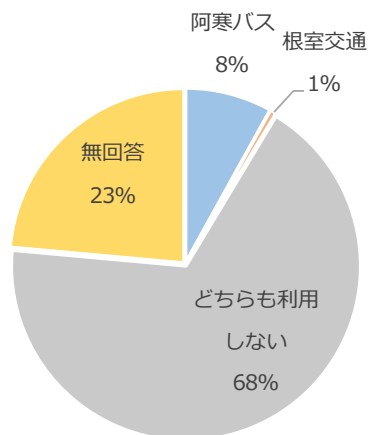
N=909

(市街地居住者の回答)



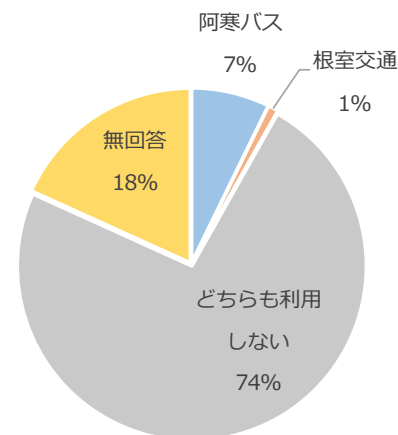
N=417

(計根別地区居住者の回答)



N=174

(郊外部居住者の回答)

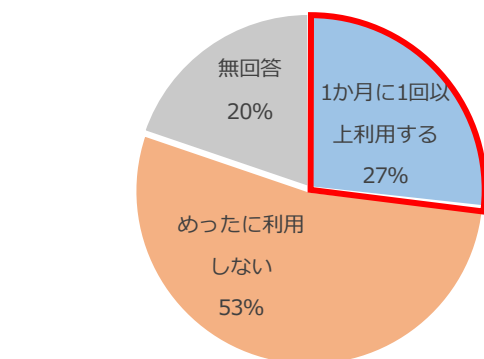


N=318



(3)地域公共交通に対するニーズについて教えてください(町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ)

問29-① 選択したバス路線の利用頻度【1つだけ】

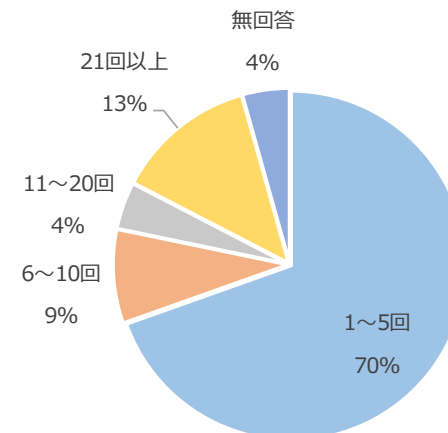


N=86

1か月当たりの利用回数

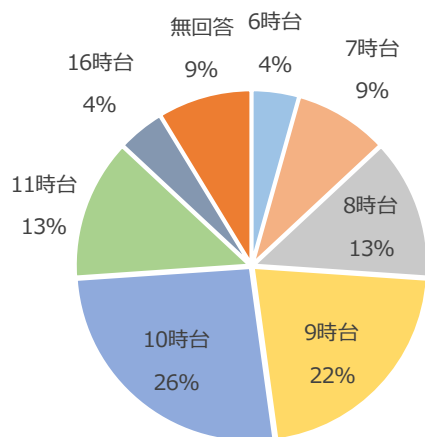


問29-① 利用回数



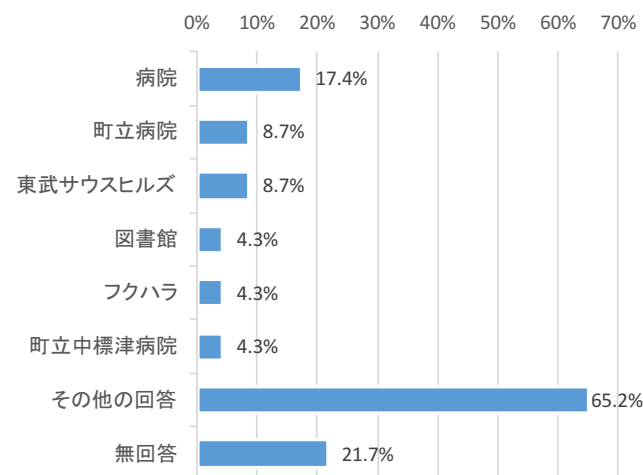
N=23

問29-② 実際に利用している時間帯



N=23

問29-③ 選択したバス路線を利用してよく行く町内施設(いくつでも)

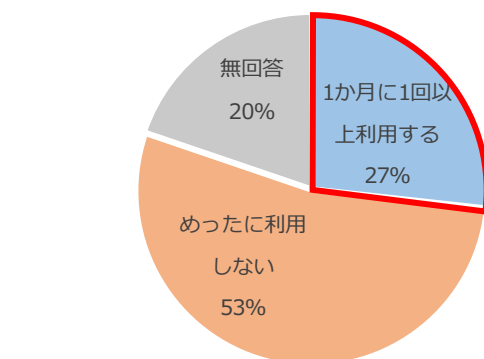


N=23



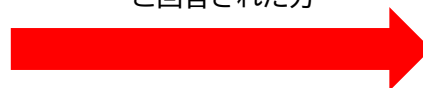
(3)地域公共交通に対するニーズについて教えてください(町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ)

問29-① 現在の選択したバス路線の利用頻度【1つだけ】

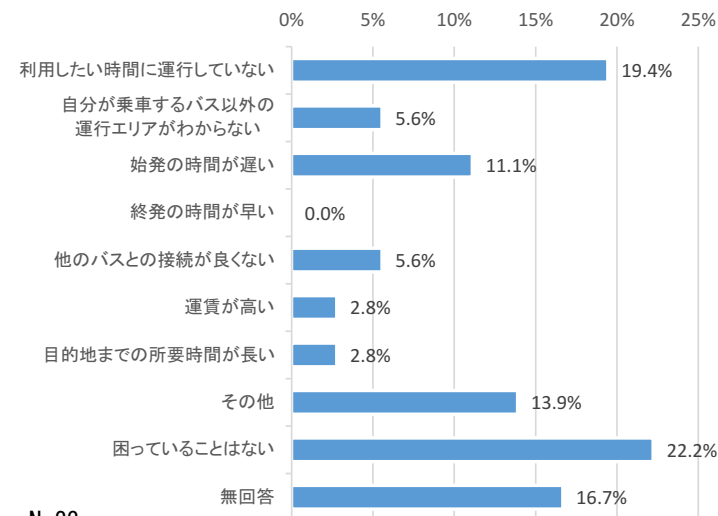


N=86

「1. 1か月に1回以上利用する」と回答された方

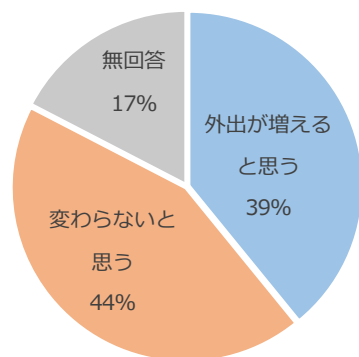


問30 現在の選択したバス路線を利用する際に困っていること【いくつでも】



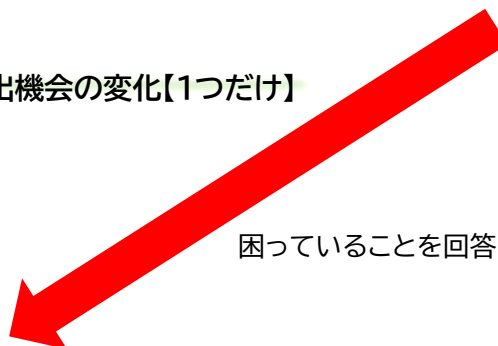
N=23

問31 改善された場合の公共交通を利用した外出機会の変化【1つだけ】



N=23

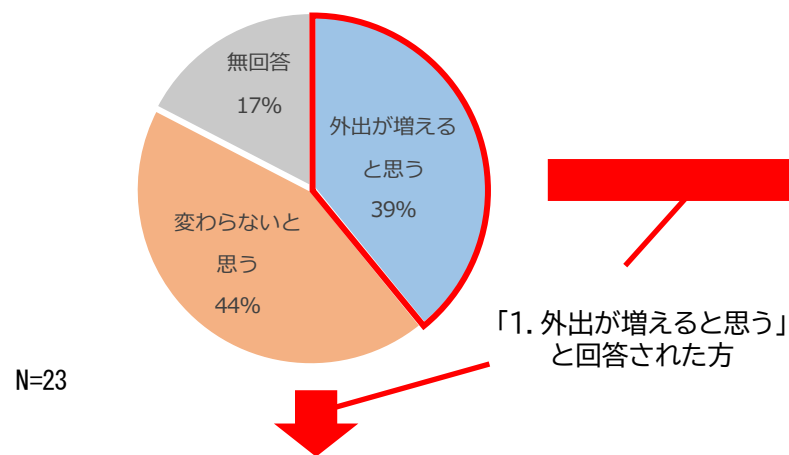
困っていることを回答した方



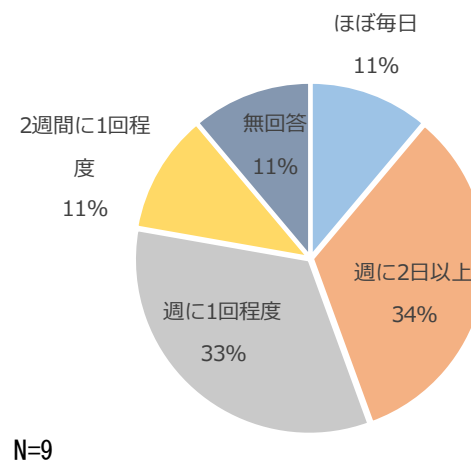


(3)地域公共交通に対するニーズについて教えてください(町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ)

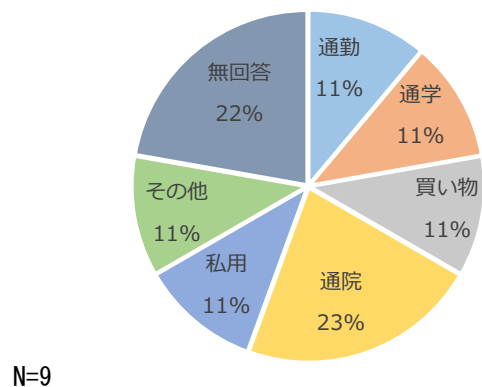
問31 改善された場合の公共交通を利用した外出機会の変化【1つだけ】



問32 想定される外出回数【1つだけ】



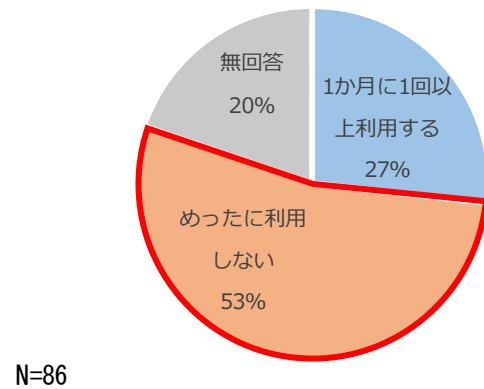
問33 想定される利用目的【1つだけ】





(3)地域公共交通に対するニーズについて教えてください(町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ)

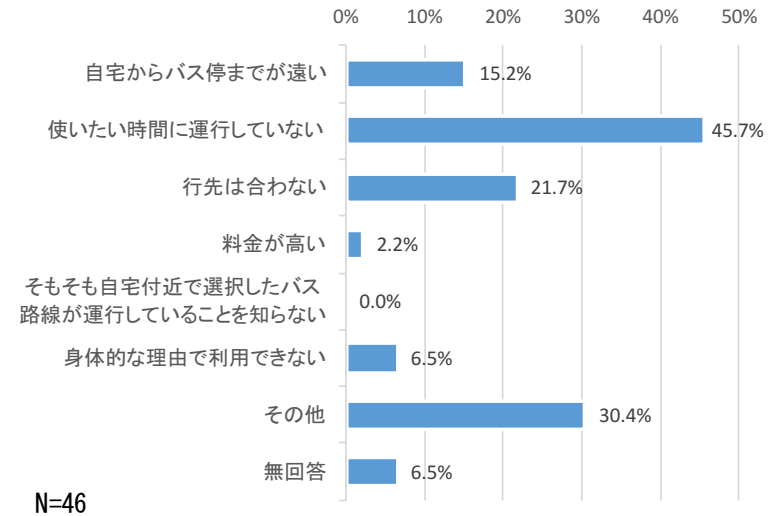
問29-① 現在の選択したバス路線の利用頻度【1つだけ】



「2. めったに利用しない」と回答された方



問34 選択したバス路線をめったに利用しない理由【いくつでも】



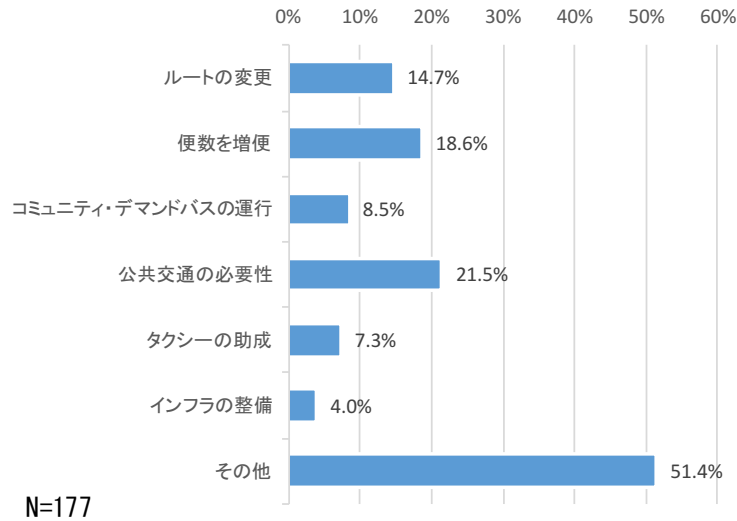
3. 調査結果(詳細)



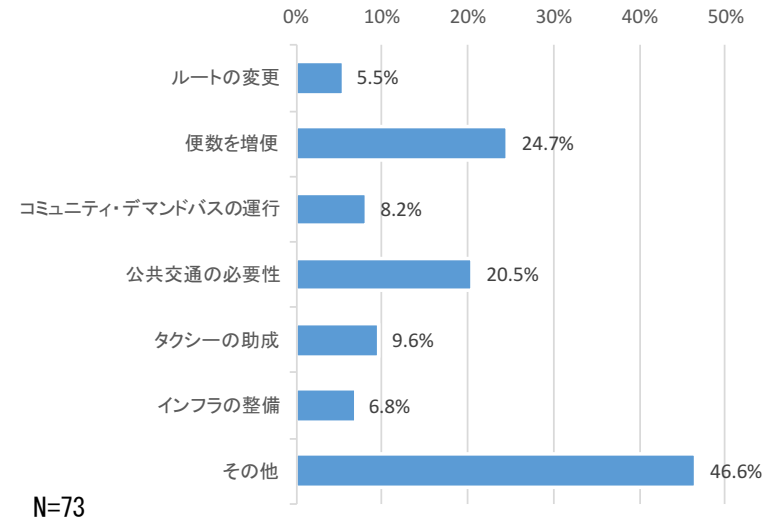
(4) その他記入欄(中標津町の公共交通に関するご意見などがありましたら、ご記入ください)

その他記入欄(自由記述)

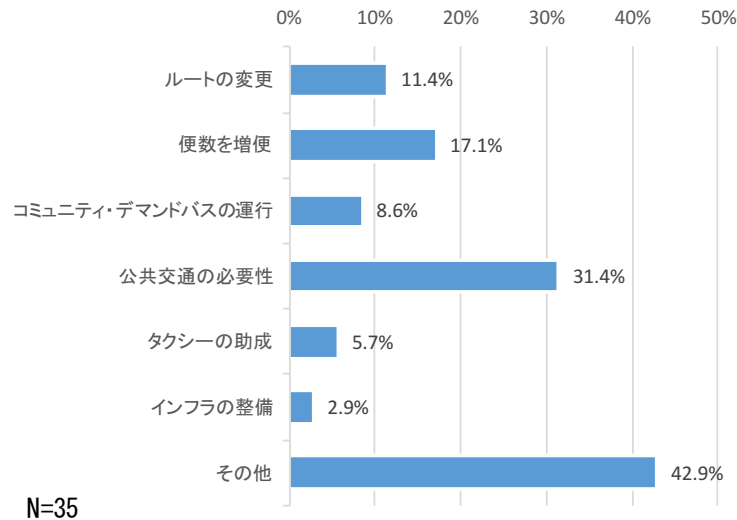
(全体傾向)



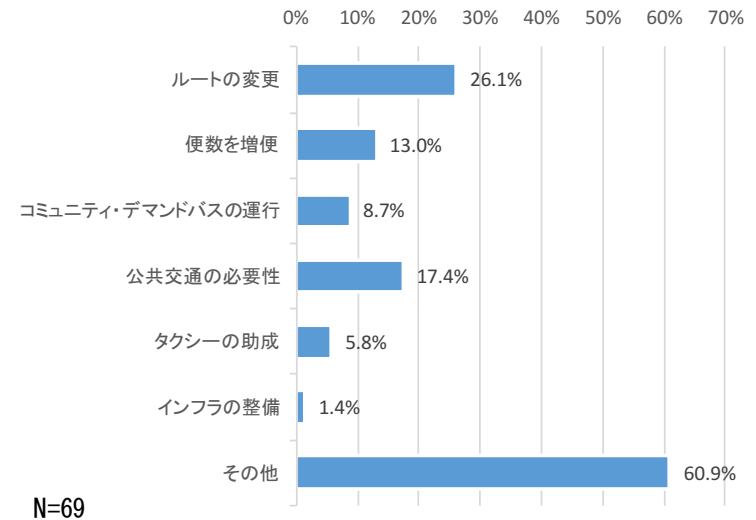
(市街地居住者の回答)



(計根別地区居住者の回答)



(郊外部居住者の回答)





中標津市内線・町営バス 乗降調査結果

第5回 中標津町地域公共交通活性化協議会 資料

令和4年12月15日



1. 調査概要	2
2. 調査結果概要	4
2-1.全体概要	4
2-2.市内循環線	5
2-3.武佐線	6
2-4.俣落線	7
2-5.養老牛線	8
3. 路線別カルテ	9
3-1.市内循環線(西町団地、泉団地先回り)	9
3-2.市内循環線(すずらん団地、白樺団地先回り)	14
3-3.武佐線	19
3-4.俣落線	25
3-5.養老牛線	31



(1) 調査目的

市内循環バス・町営バスにおける現状の利用実態を把握し、路線の効率化や最適化等を検討するための基礎データを収集

(2) 調査日時

調査日 令和4年9月5日(月)

調査時間 各路線の始発から最終まで

(3) 調査方法

バス利用者に対してビンゴ式アンケート票の配布・回収によるアンケート調査を実施

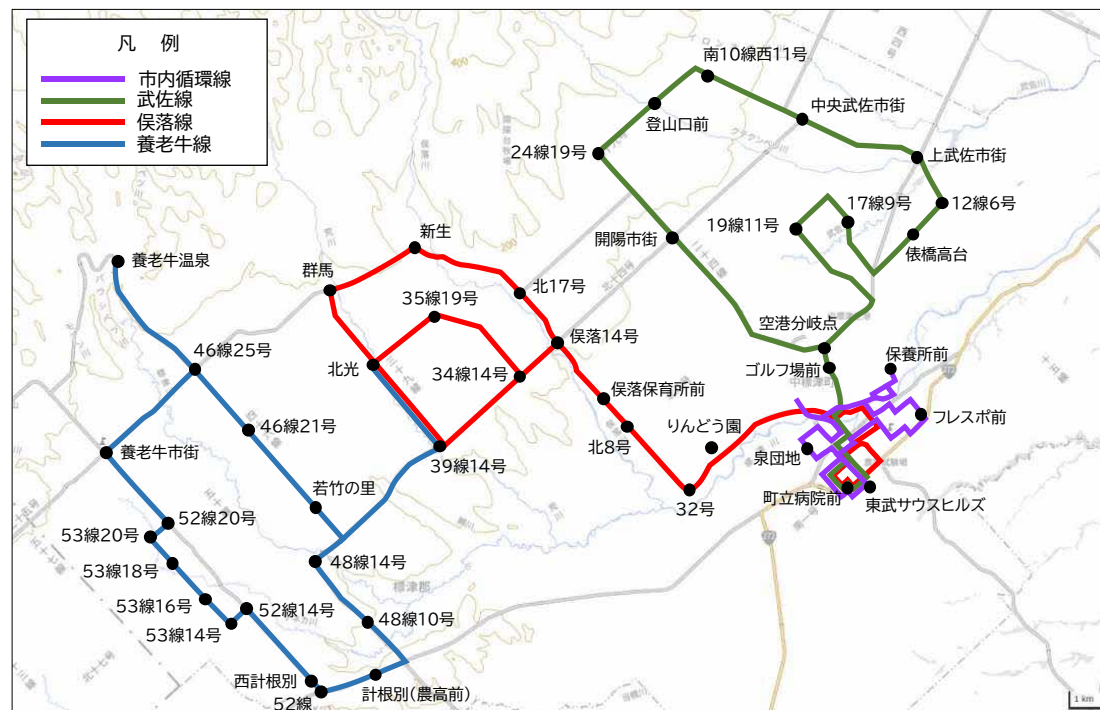
(4) 調査対象・主な経由地

市内循環線： 保養所前・東中団地・中標津町役場・体育館前・小学校前・西町団地・泉団地・中標津高校前・町立病院前・東武サウスヒルズ前・中央十字街・中標津ターミナル・すずらん団地・白樺団地・フレスポ前

武佐線： 町立病院・自動車学校前・空港分岐点・24線11号・開陽市街・24線19号・登山口・中央武佐・上武佐・俵橋高台・17線9号・19線11号・19線9号・開陽市街・空港分岐点・自動車学校前・役場・まこと・明生・バスターミナル

俣落線： 町立病院・西町・俣落保育所前・俣落14号・34線14号・37線19号・北光・群馬・新生・俣落14号・俣落保育所前・川西・西町・役場・町立病院・バスターミナル

養老牛線： 西計根別・養老牛市街・46線25号・養老牛温泉・若竹の里・45線14号・39線14号・北光・48線14号・48線10号・計根別農協前・農高前





(4) 調査項目

1) 利用状況

利用路線、利用便、乗降バス停、利用目的、乗車前・降車後移動手段、利用頻度、運賃の支払方法、利用種別

2) 要望等

便数、運行経路、所要時間、バス停位置、乗継環境、待合環境、運賃、車両(大きさ等)へのご要望

3) 個人属性

職業、年代、性別、居住地

バス乗降調査にご協力をお願いいたします

【調査実施主体】: 中標津町役場 町民生活部 生活課 担当者: 松井、山田

【調査実施機関】: NPO法人まちづくり支援センター 担当者: 為国

各質問について、該当箇所を指で折り込み、降車の際に調査員もしくは回収袋へ。

問1 利用目的を回答してください

① 通勤 (帰宅)	② 通学 (帰宅)	③ 通院 (帰宅)	④ 買い物 (帰宅)	⑤ 娯楽 (帰宅)	⑥ 観光 (帰路)	⑦ 業務 (帰路)	⑧ その他 (帰路)
-----------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------

問2 バス乗車前の移動手段を回答してください

① 徒歩	② 自転車	③ 自動車 (自運転)	④ 自動車 (送迎)
⑤ バス	⑥ タクシー	⑦ その他	

問3 バス降車後の移動手段を回答してください

① 徒歩	② 自転車	③ 自動車 (自運転)	④ 自動車 (送迎)
⑤ バス	⑥ タクシー	⑦ その他	

問4

利用頻度を 回答して ください	① ほぼ 毎日	② 週に 数回	③ 週に 1回	④ 月に 数回	⑤ 月に 1回	⑥ 年に 数回	⑦ ほとんど 乗らない
-----------------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	-------------------

問5 運賃の支払い方法を回答してください

① 現金	② 回数券	③ 定期券	④ 無料
---------	----------	----------	---------

問6 ご利用種別を回答してください

① 行きで 利用	② 帰りで 利用	③ 往復で 利用 (こちら)	④ 往復で 利用 (こちら)
----------------	----------------	-------------------------	-------------------------

問7 バスの改善してほしい内容を回答してください

① 便数	② 運行 経路	③ 所要 時間	④ バス停 位置	⑤ 乗継 環境	⑥ 待合 環境	⑦ 運賃	⑧ 車両 (大きさ等)
---------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------	-------------------

問8 職業を回答してください

① 小・中 学	② 高校生	③ 公務員	④ 会社員	⑤ 自営業	⑥ 主婦 主夫	⑦ 農林 水産業	⑧ 無職 その他
---------------	----------	----------	----------	----------	---------------	----------------	----------------

問9 年齢を回答してください

① 0~ 12歳	② 12~ 19歳	③ 20~ 29歳	④ 30~ 39歳	⑤ 40~ 49歳
⑥ 50~ 59歳	⑦ 60~ 64歳	⑧ 65~ 69歳	⑨ 70~ 79歳	⑩ 80歳 以上

問10 性別を回答してください

① 男性	② 女性	
---------	---------	--

問11 居住地を回答してください

① 中標津町	② 中標津町外
-----------	------------

ご協力ありがとうございました。降車の際に調査員もしくは回収袋へ入れてください

【調査員記入欄】

時 分		路線・系統名																																		
乗車	No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
降車																																				
乗車	No.	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	
降車																																				

2-1. 全体概要

路線名	便名	利用者数
市内循環線(西町団地、泉団地先回り)	1便 (7:50発)	14人
	2便 (10:40発)	21人
	3便 (13:40発)	8人
	4便 (16:30発)	5人
市内循環線(すずらん団地、白樺団地先回り)	1便 (9:15発)	12人
	2便 (12:10発)	13人
	3便 (15:05発)	10人
	4便 (17:55発)	0人
武佐線	1便 (6:31発)	3人
	2便 (9:07発)	3人
	3便 (11:30発)	2人
	4便 (13:43発)	2人
	5便 (15:30発)	5人
俣落線	1便 (6:19発)	6人
	2便 (7:38発)	4人
	3便 (8:58発)	4人
	4便 (12:20発)	5人
	5便 (14:00発)	1人
	6便 (16:36発)	6人
養老牛線	1便 (6:37発)	2人
	2便 (15:30発)	1人
	3便 (16:38発)	1人



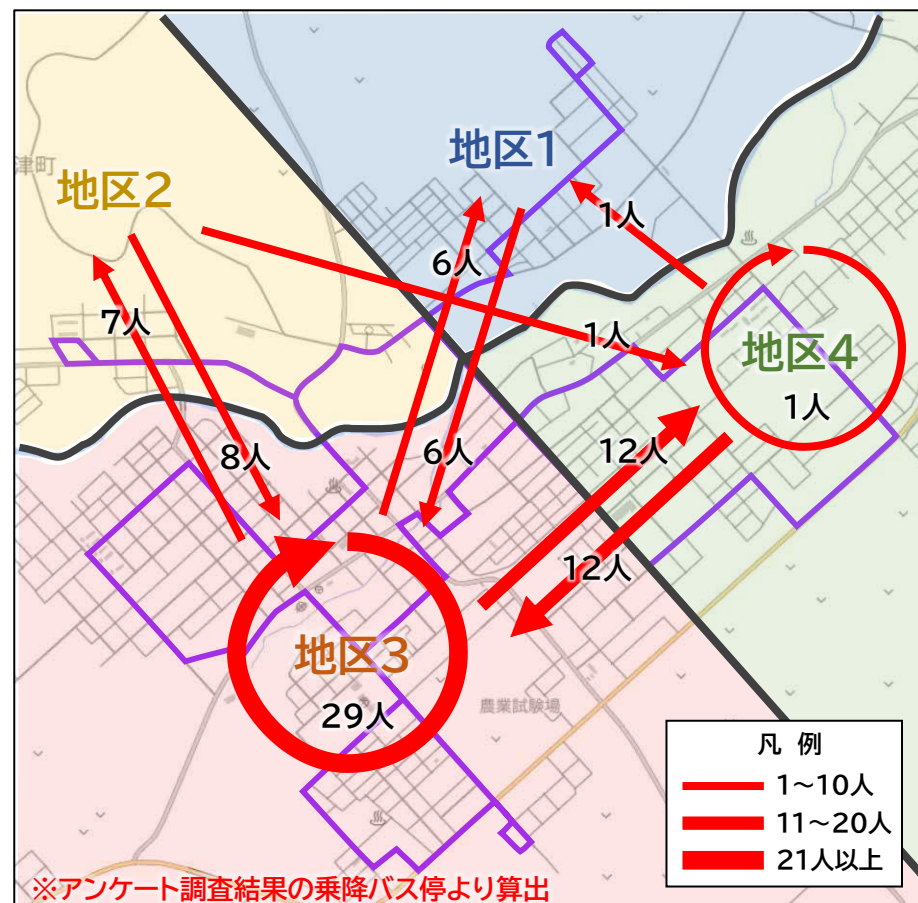
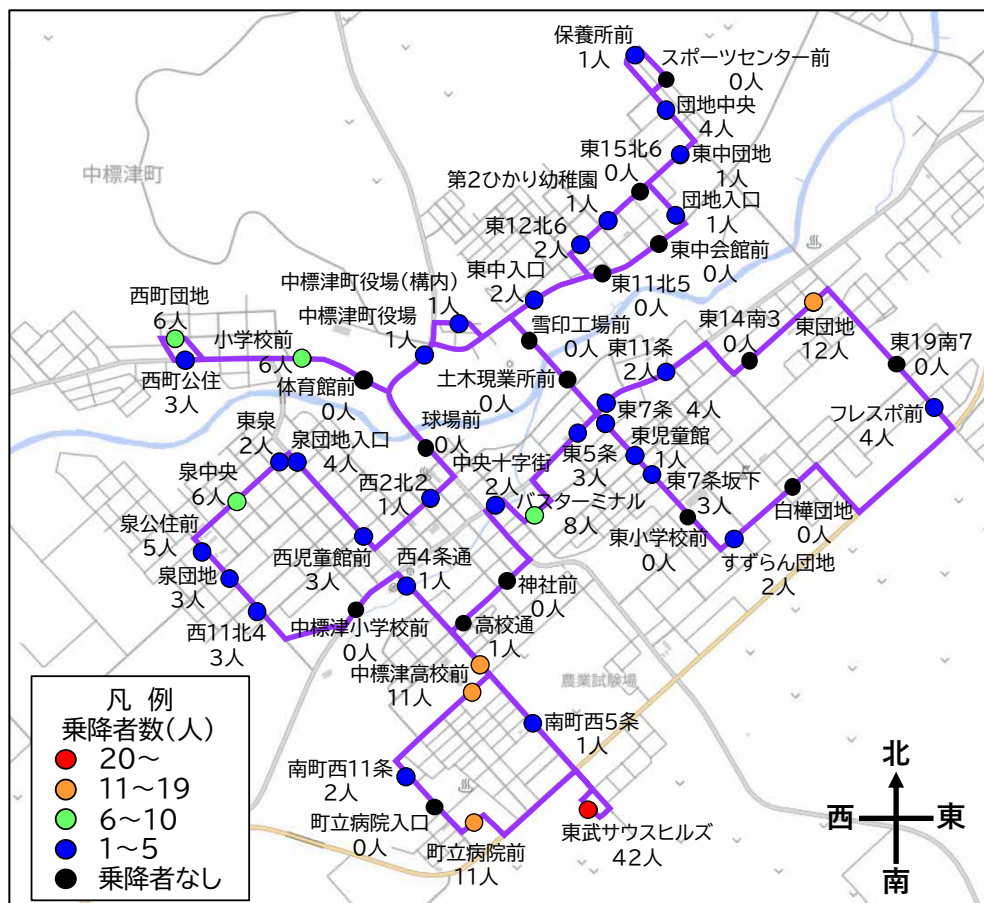
2-2. 市内循環線

《利用者アンケート調査結果》

- 一般利用者の職業割合は、「主婦・主夫」が約5割、「無職・その他」が訳3割、「高校生」が約2割
- 利用頻度は「週に数回」の利用が5割以上
- 移動手段は乗車前、降車後ともに「徒歩」が9割以上
- 改善事項については、買物目的が多いことから、「便数」や「運行経路」に係る事項が多い

《利用実態調査結果》

- 利用者数は83人(うち高校生以下が14人)
- バス停「東武サウスヒルズ」での利用者が最も多く、東団地、中標津高校前、町立病院前も多い
- 地区別での利用者は地区3との行き来が多く、地区3については内々の利用者が多い





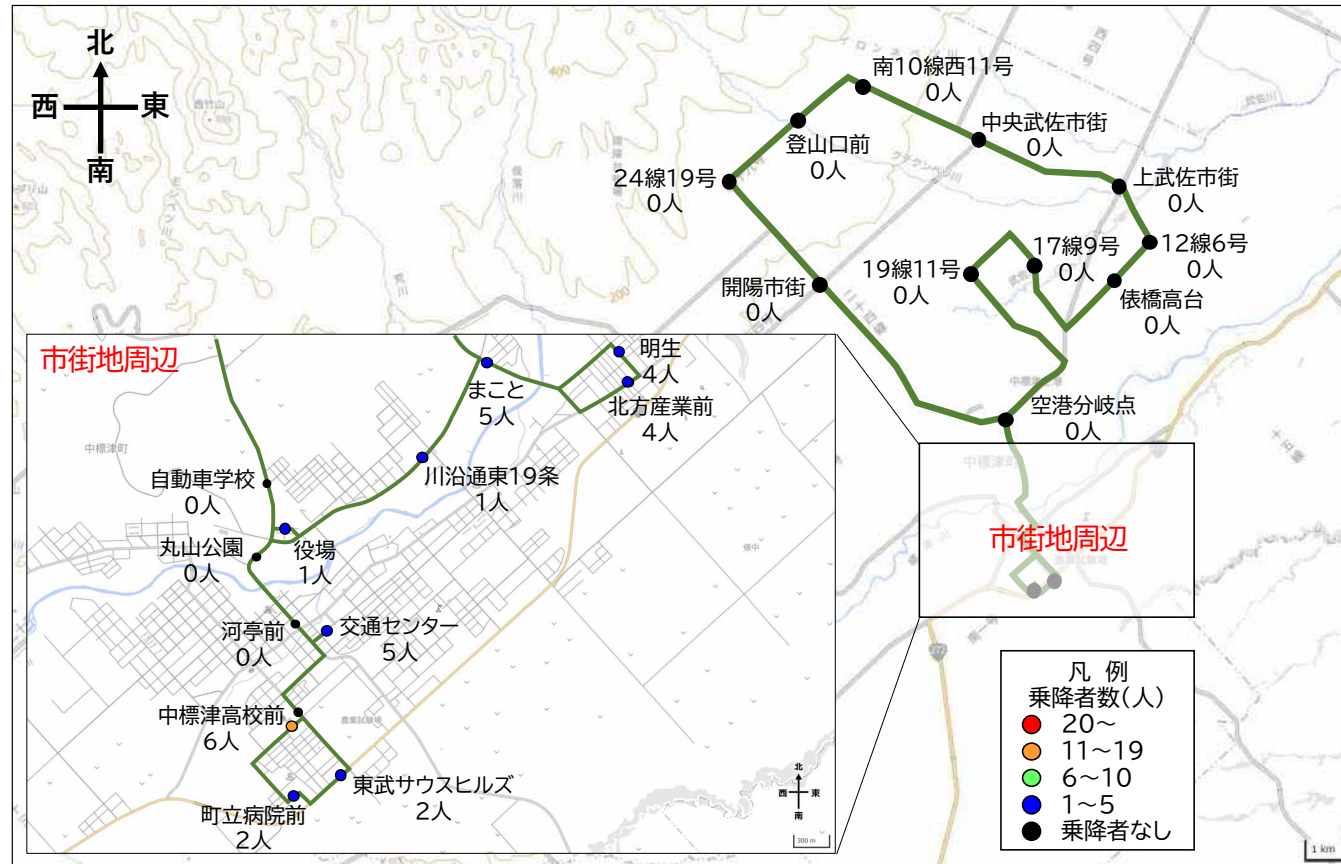
2-3. 武佐線

《利用者アンケート調査結果》

- 一般利用者の職業割合は、「高校生」が4割、「主婦・主夫」が3割以上、「無職・その他」が約3割
- 利用頻度は「週に数回」の利用が4割以上
- 移動手段は乗車前、降車後ともに「徒歩」が7割以上
- 改善事項については、通学目的が多いことから、「便数」や「待合環境」に係る事項が多い

《利用実態調査結果》

- 利用者数は15人(うち高校生以下が6人)
- バス停「中標津高校前」の利用者が多い
- 市街地部での利用者が多く、郊外部(武佐地区)での利用者は少ない





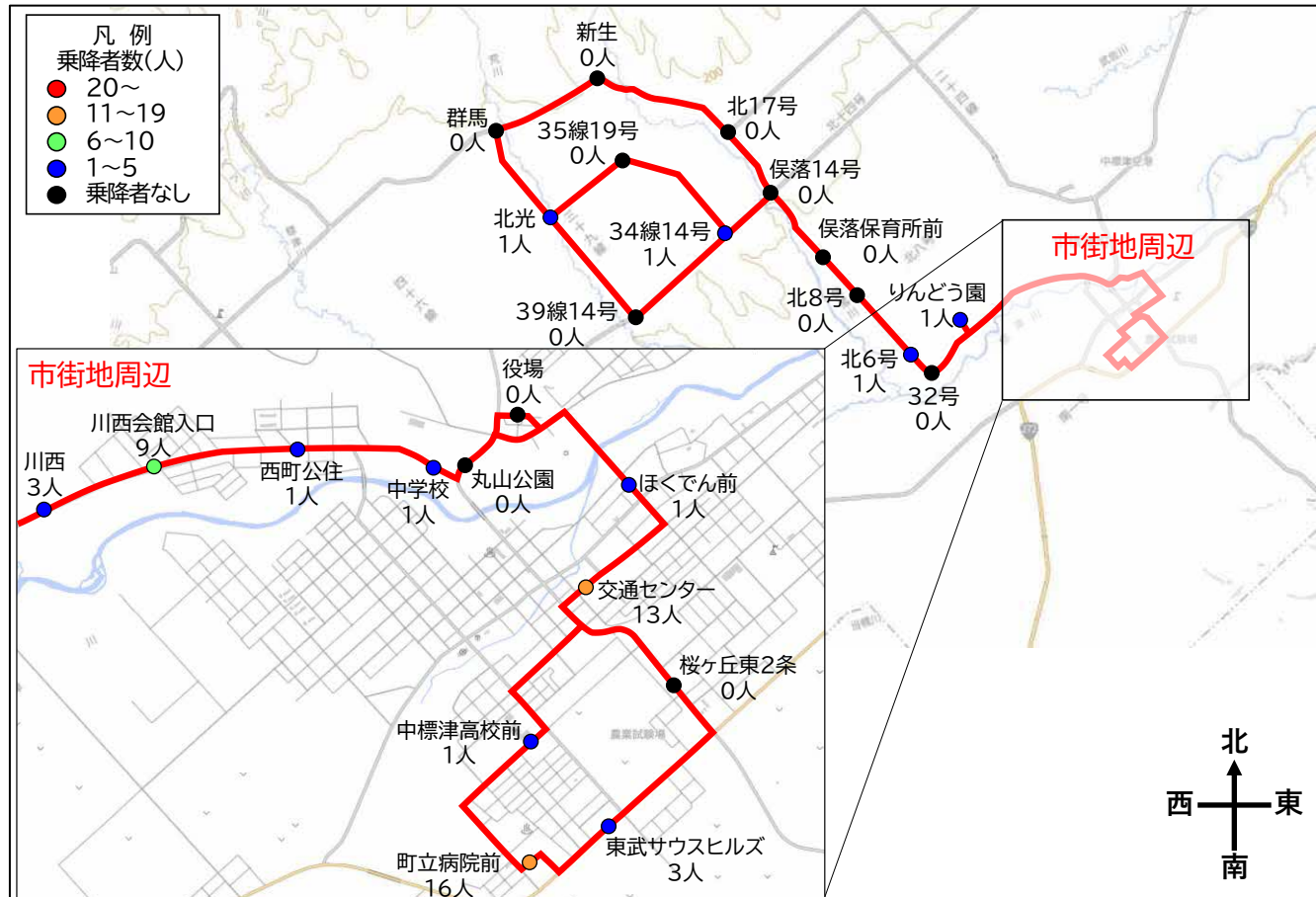
2-4. 俣落線

《利用者アンケート調査結果》

- 一般利用者の職業割合は、「無職・その他」が5割以上、「主婦・主夫」が2割以上、「高校生」が約2割
- 利用頻度は「ほぼ毎日」の利用が約4割
- 移動手段は乗車前、降車後ともに「徒歩」が8割以上
- 改善事項については、通院目的が多いことから、「便数」や「車両(大きさ等)」に係る事項が多い

《利用実態調査結果》

- 利用者数は26人(うち高校生以下が4人)
- バス停「川西会館入口」、「町立病院前」の利用者が多い
- 市街地部での利用者が多く、郊外部(俣落地区)での利用者は少ない





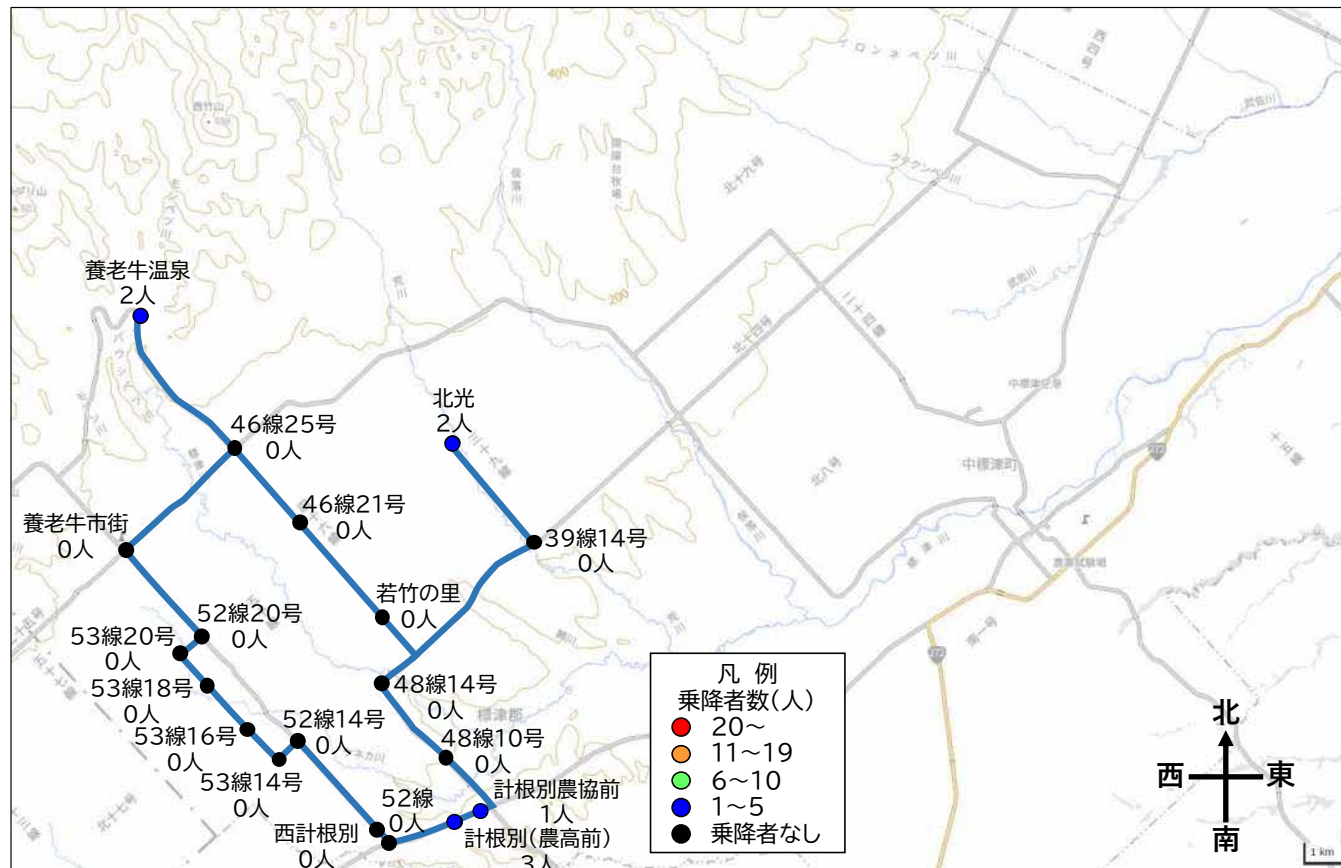
2-5. 養老牛線

《利用者アンケート調査結果》

- 一般利用者の職業割合は、「高校生」と「無職・その他」がともに5割
- 利用頻度は「ほぼ毎日」と「週に数回」の利用がともに5割
- 移動手段は乗車前、降車後ともに「徒歩」が10割
- 改善事項については、通学目的と買物目的が多いことから、「所要時間」に係る事項が10割

《利用実態調査結果》

- 利用者数は4人(うち高校生以下が2人)
- バス停「農業高校」の利用者が多い
- 郊外部(養老牛地区)のみのルートで、市街地部へ行かないことから利用者は少ない



3-1. 市内循環線(西町団地、泉団地先回り)

《概要》

便数 : 4便
所要時間 : 70分
始発 : 7:50
終発 : 16:30
運行区間 : 市内循環線(保養所前～
西町団地、泉団地先回り～
保養所前)

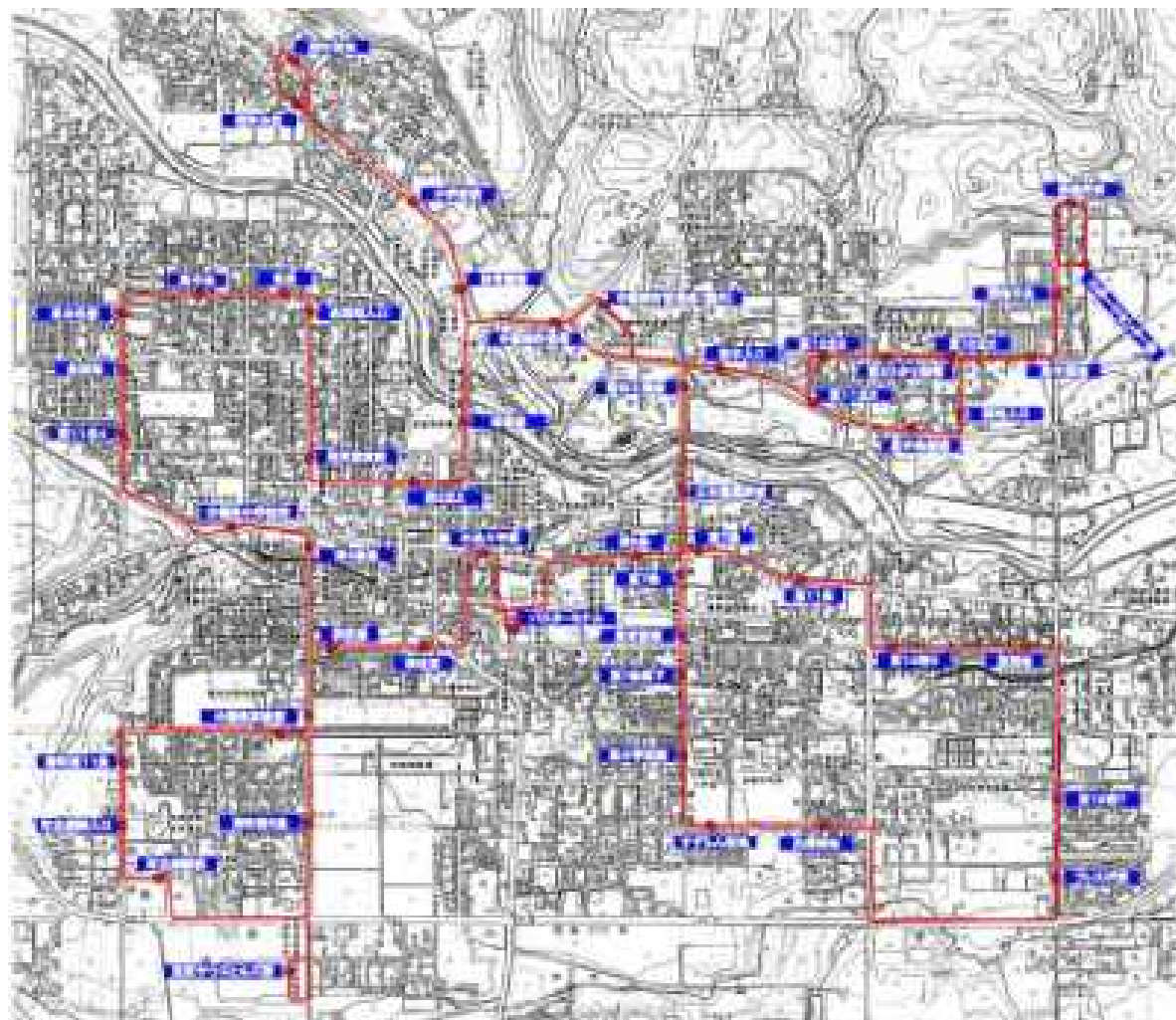
1日あたりの
利用者数 : 48人/日

1便あたりの
利用者数 : 12.0人/便

結果概要

- ・職業割合は「無職・その他」が
4割以上
- ・利用頻度は「週に数回」が
4割以上

便名	利用者数
1便(7:50発):	14人
2便(10:40発):	21人
3便(13:40発):	8人
4便(16:30発):	5人

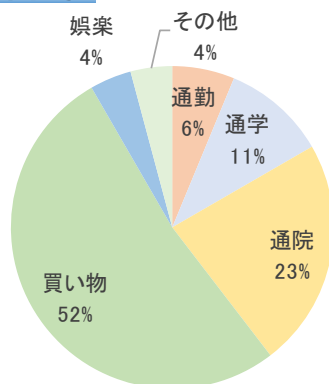




3-1. 市内循環線(西町団地、泉団地先回り)

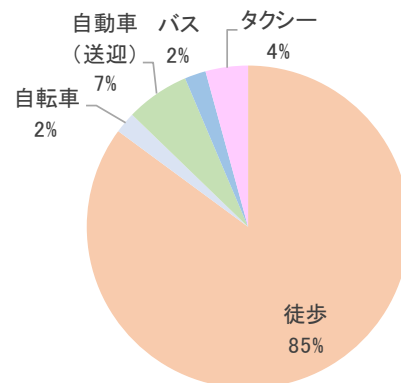
《利用者アンケート調査結果(利用目的、バス乗車前後の移動手段、利用頻度、運賃の支払い方法)》

利用目的 (n=48)



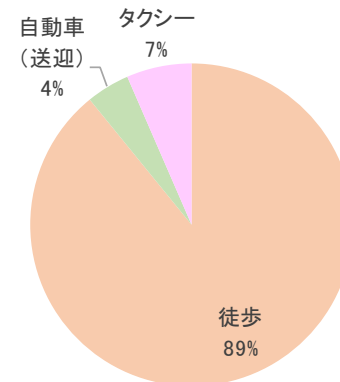
買い物が5割以上

移動手段(乗車前) (n=47)



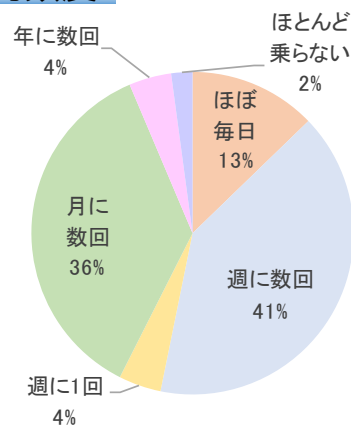
徒歩が8割以上

移動手段(降車後) (n=46)



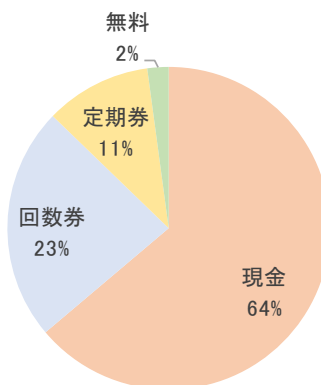
徒歩が8割以上

利用頻度 (n=47)



週に数回が4割以上

運賃の支払い方法 (n=47)



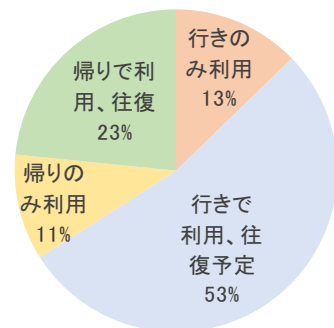
現金が6割以上



3-1. 市内循環線(西町団地、泉団地先回り)

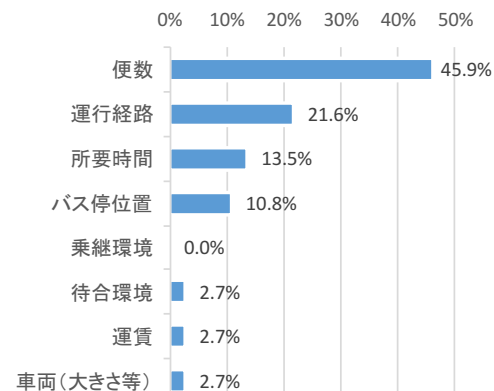
《利用者アンケート調査結果(利用種別、改善してほしい内容、属性(職業、年齢、性別、居住地))》

利用種別 (n=47)



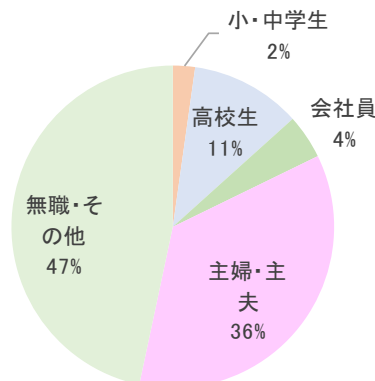
行きで利用、往復予定が5割以上

改善してほしい内容 (n=31)



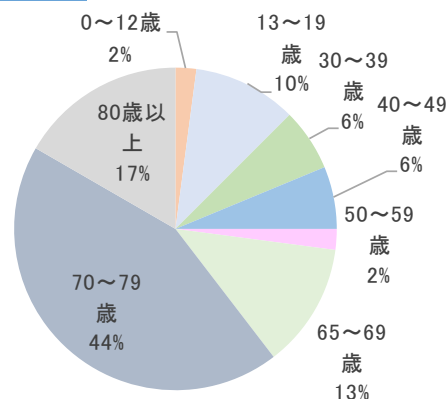
便数が4割以上

職業 (n=45)



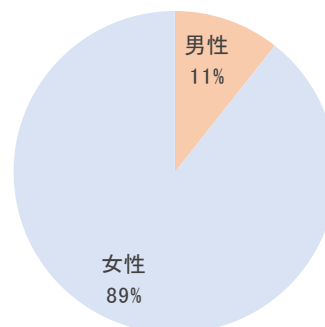
無職・その他が4割以上

年齢 (n=48)



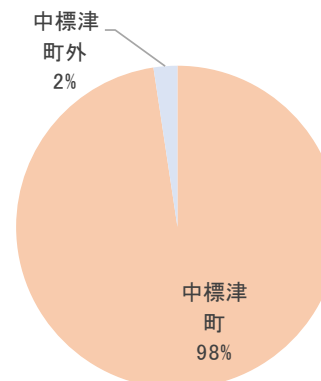
70~79歳が4割以上

性別 (n=47)



女性が8割以上

居住地 (n=42)



中標津町が9割以上

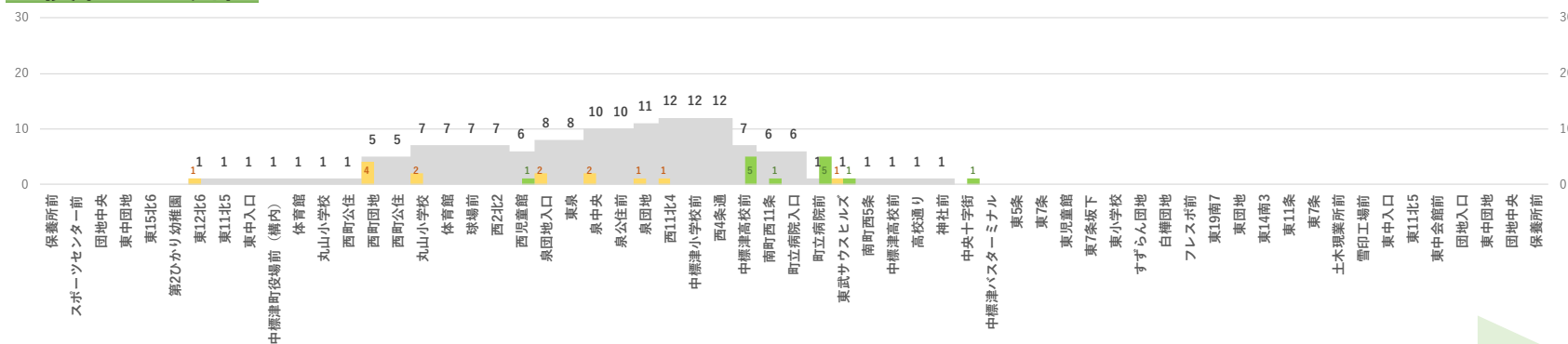
3. 路線別カルテ



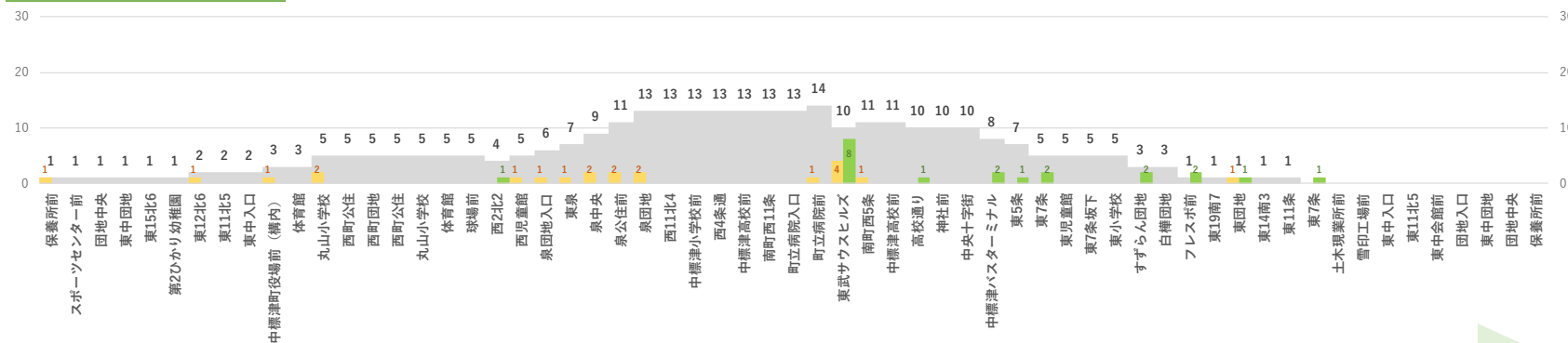
3-1. 市内循環線(西町団地、泉団地先回り)

《利用実態調査結果(便別乗車人数及び車内人数) 9月5日調査結果》

1便(7:50発)



2便(10:40発)



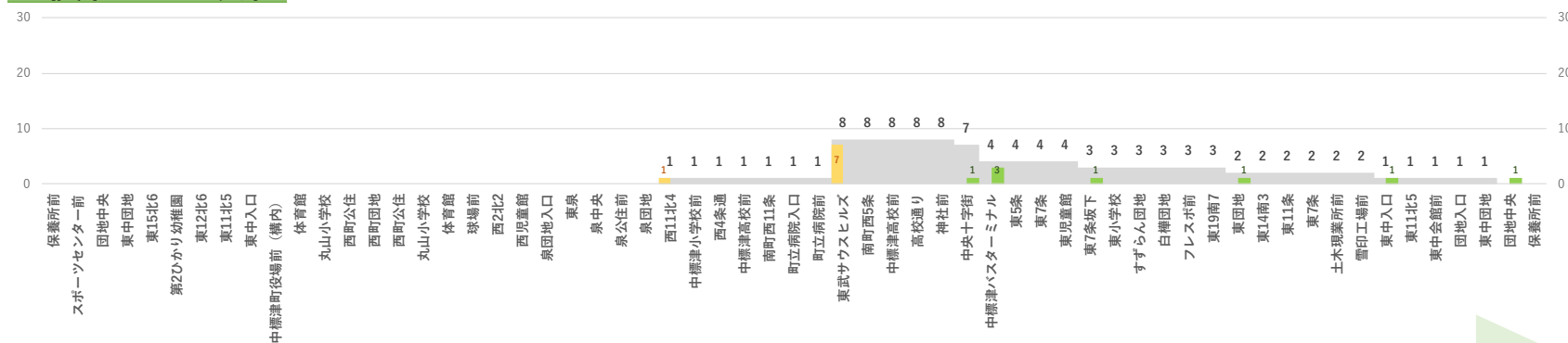
3. 路線別カルテ



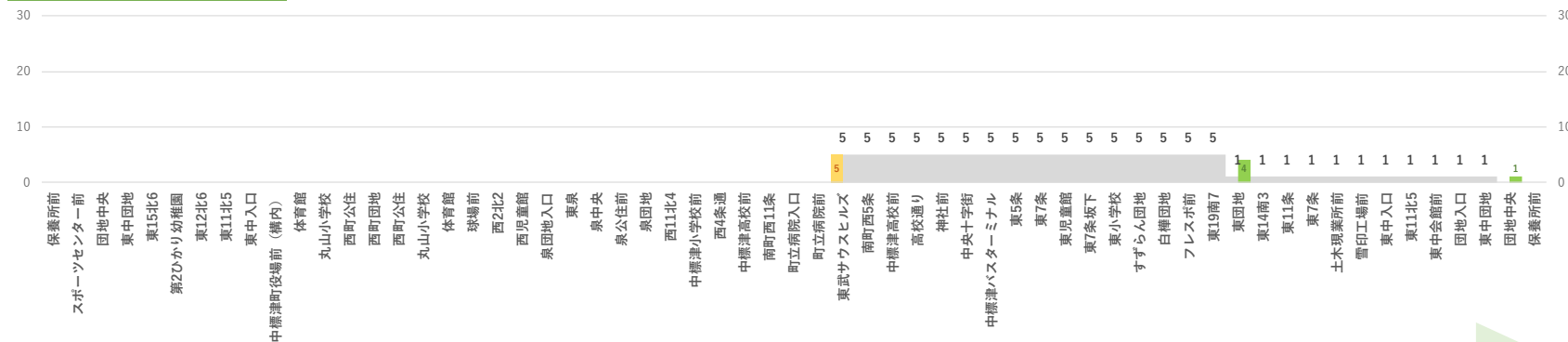
3-1. 市内循環線(西町団地、泉団地先回り)

《利用実態調査結果(便別乗車人数及び車内人数) 9月5日調査結果》

3便(13:40発)



4便(16:30発)



3-2. 市内循環線(すずらん団地、白樺団地先回り)

《概要》

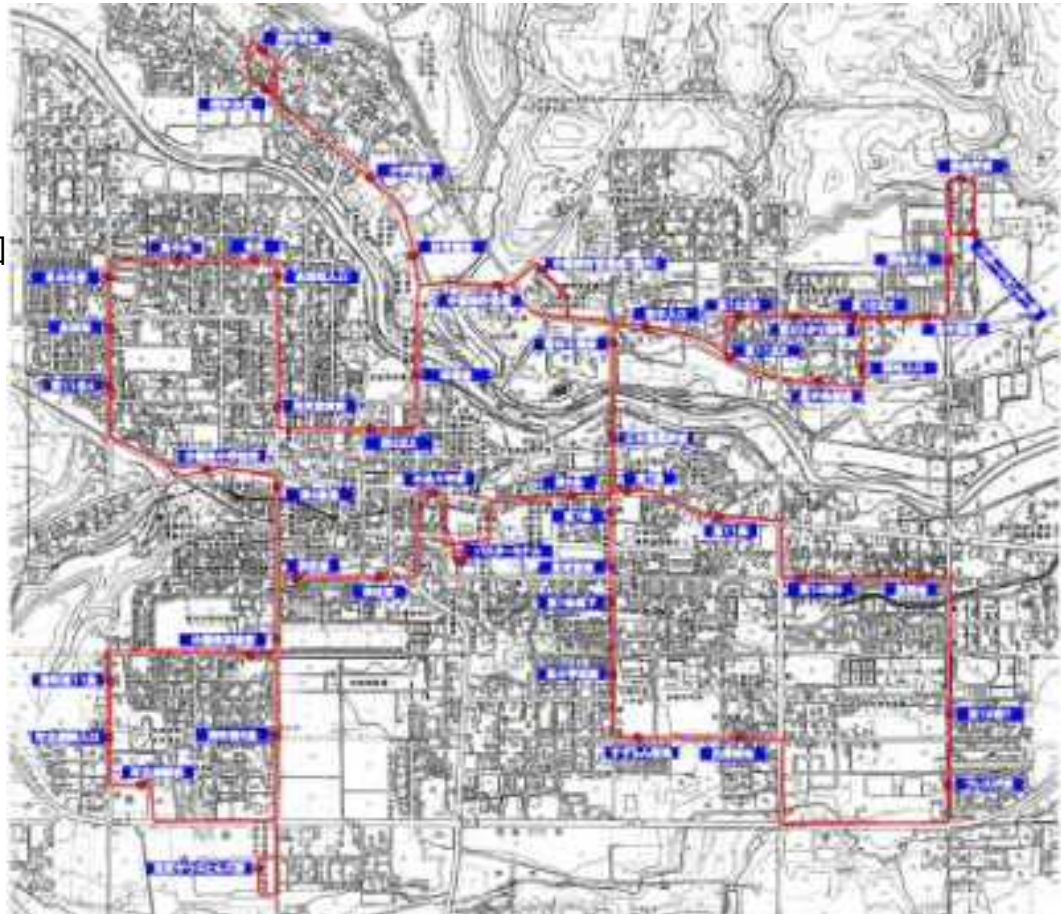
便数 : 4便
 所要時間 : 70分
 始発 : 9:15
 終発 : 17:55
 運行区間 : 市内循環線(保養所前～すずらん団地、白樺団地先回り保養所前)

1日あたりの利用者数 : 35人/日

1便あたりの利用者数 : 8.8人/便

結果概要

- ・職業割合は「主婦・主夫」が6割以上
- ・利用頻度は「週に数回」が7割以上



便名 利用者数

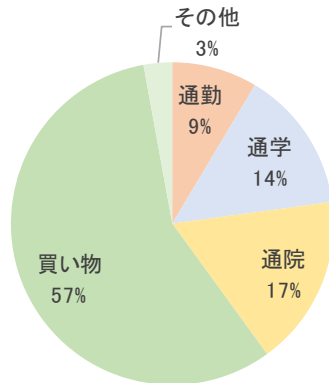
1便 (9 : 15発)	: 12人
2便 (12 : 10発)	: 13人
3便 (15 : 05発)	: 10人
4便 (17 : 55発)	: 0人



3-2. 市内循環線(すずらん団地、白樺団地先回り)

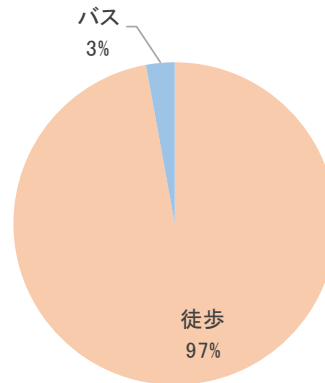
《利用者アンケート調査結果(利用目的、バス乗車前後の移動手段、利用頻度、運賃の支払い方法)》

利用目的 (n=35)



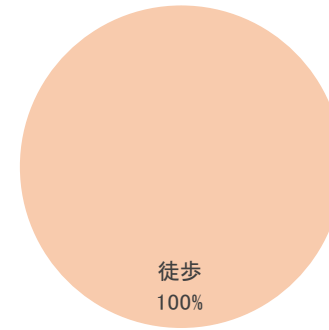
買い物が5割以上

移動手段(乗車前) (n=35)



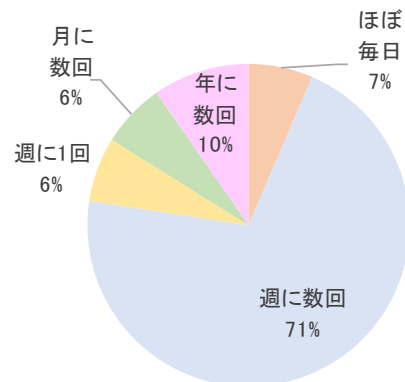
徒歩が9割以上

移動手段(降車後) (n=35)



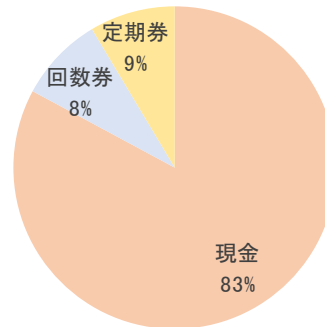
徒歩が10割

利用頻度 (n=31)



週に数回が7割以上

運賃の支払い方法 (n=35)



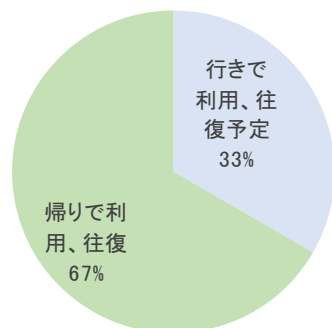
現金が8割以上



3-2. 市内循環線(すずらん団地、白樺団地先回り)

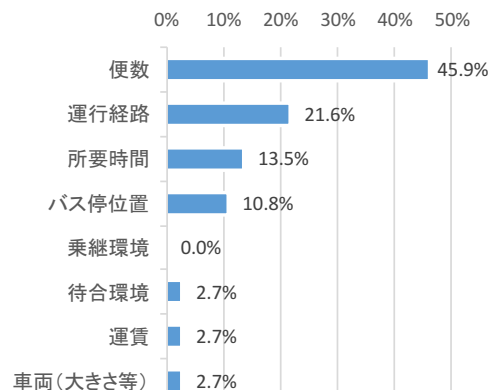
《利用者アンケート調査結果(利用種別、改善してほしい内容、属性(職業、年齢、性別、居住地))》

利用種別 (n=33)



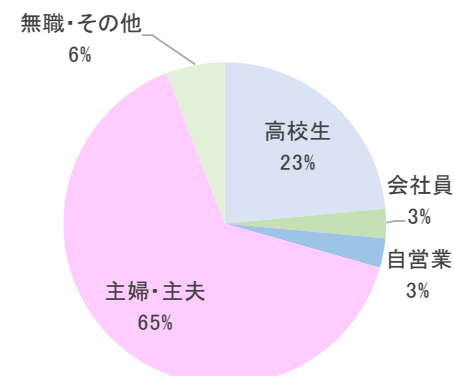
帰りで利用、往復が6割以上

改善してほしい内容 (n=31)



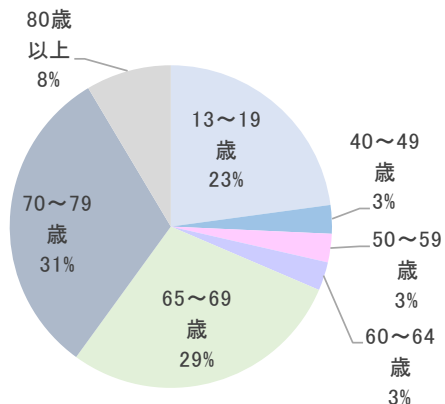
便数が4割以上

職業 (n=34)



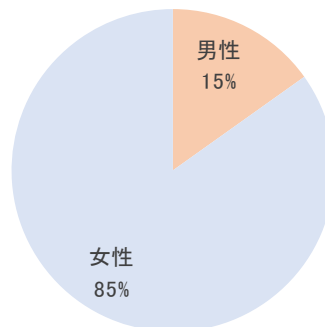
主婦・主夫が6割以上

年齢 (n=35)



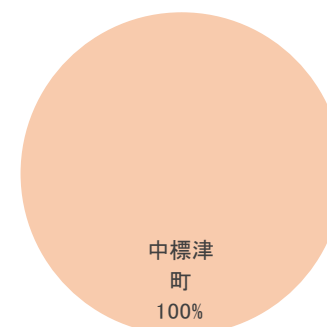
70～79歳が3割以上

性別 (n=33)



女性が8割以上

居住地 (n=32)



中標津町が10割

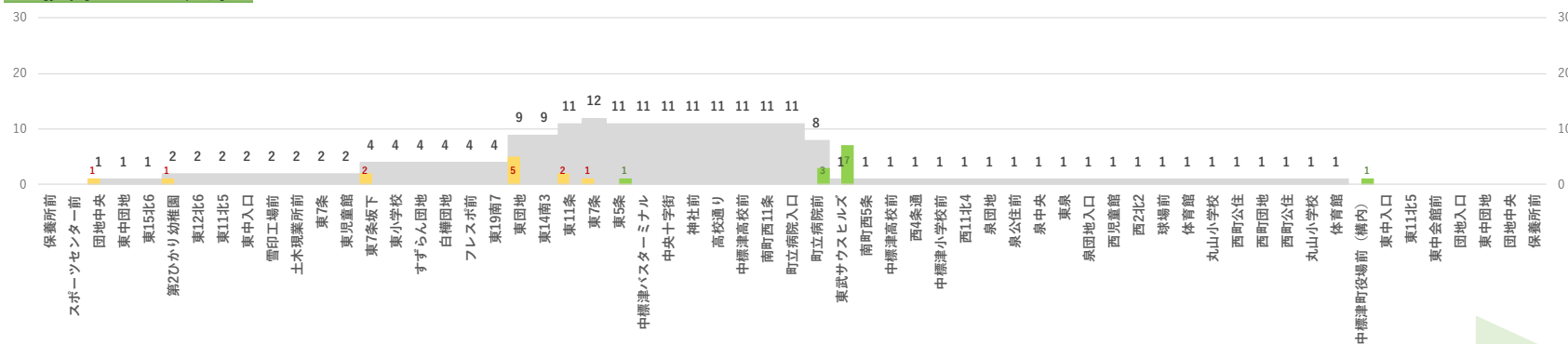
3. 路線別カルテ



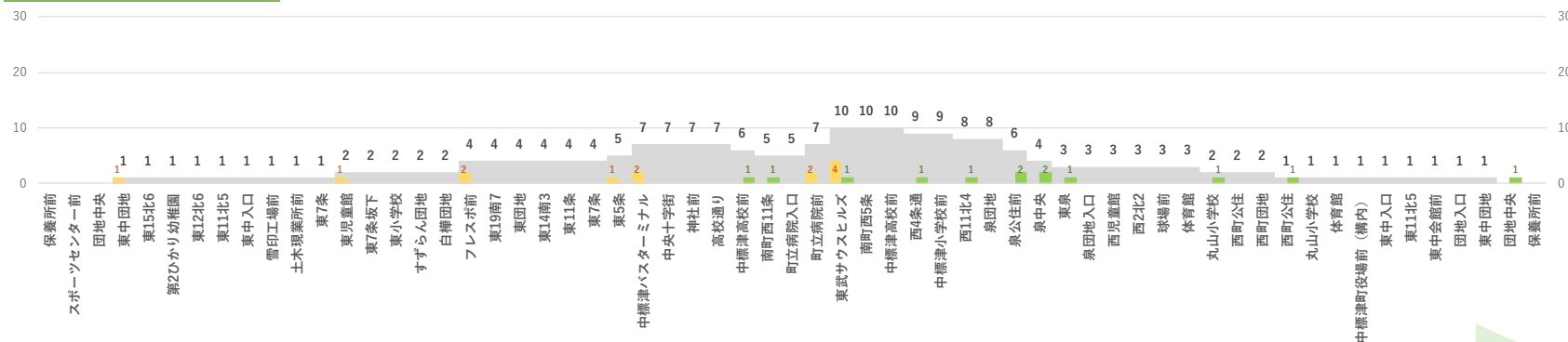
3-2. 市内循環線(すずらん団地、白樺団地先回り)

《利用実態調査結果(便別乗車人数及び車内人数) 9月5日調査結果》

1便(9:15発)



2便(12:10発)



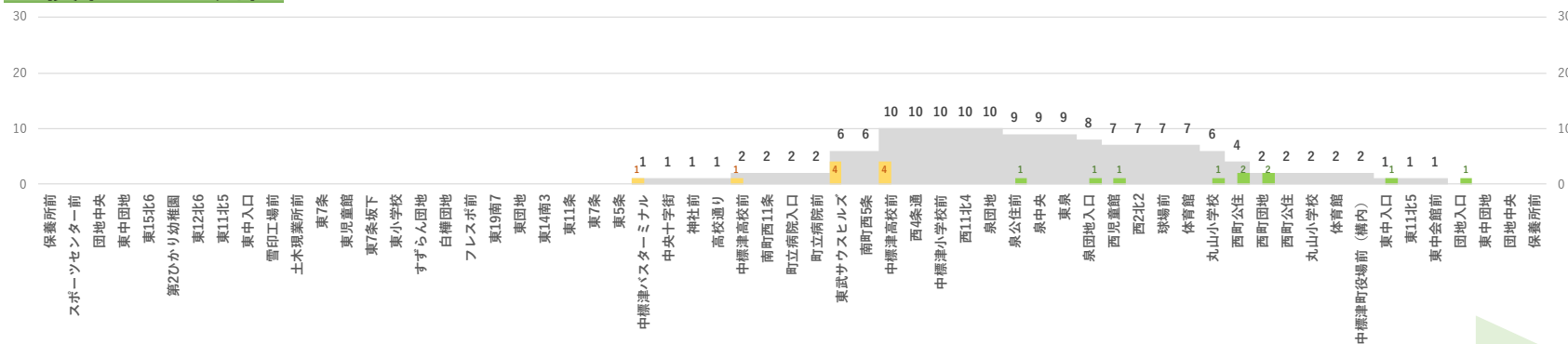
3. 路線別カルテ



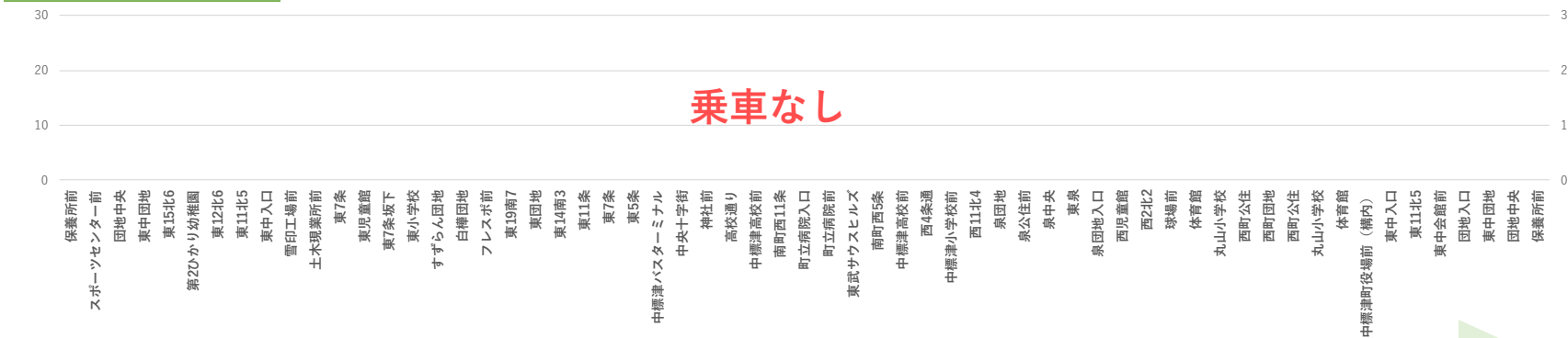
3-2. 市内循環線(すずらん団地、白樺団地先回り)

《利用実態調査結果(便別乗車人数及び車内人数) 9月5日調査結果》

3便(15:05発)



4便(17:55発)



《概要》

便名	利用者数
1便（ 6：31発）：	3人
2便（ 9：07発）：	3人
3便（11：30発）：	2人
4便（13：43発）：	2人
5便（15：30発）：	5人

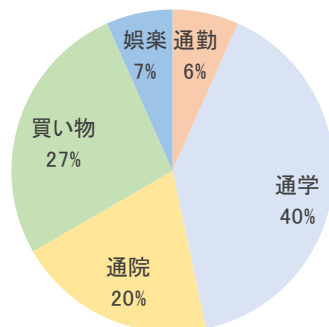




3-3. 武佐線

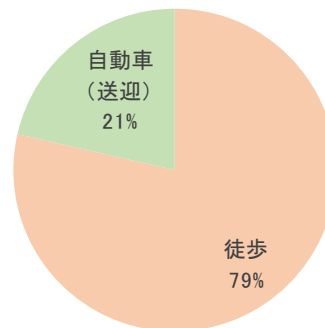
《利用者アンケート調査結果(利用目的、バス乗車前後の移動手段、利用頻度、運賃の支払い方法)》

利用目的 (n=15)



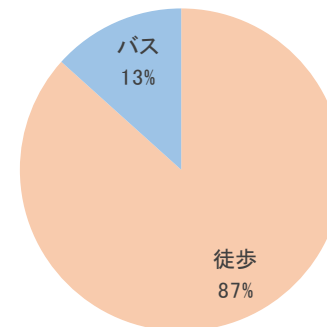
通学が4割

移動手段(乗車前) (n=14)



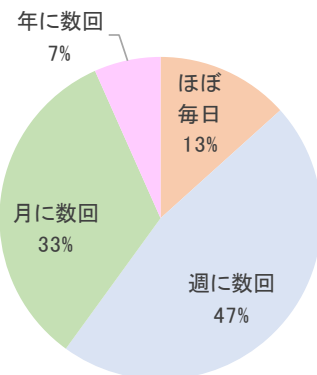
徒歩が7割以上

移動手段(降車後) (n=15)



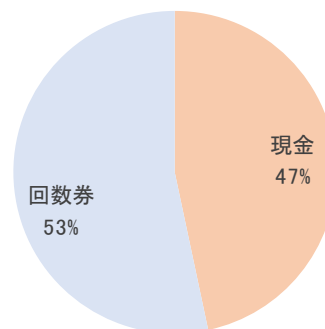
徒歩が8割以上

利用頻度 (n=15)



週に数回が4割以上

運賃の支払い方法 (n=15)



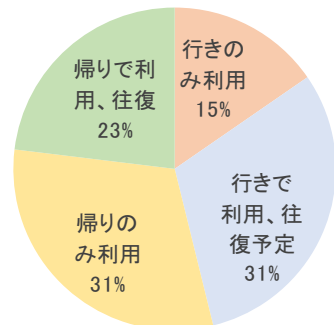
回数券が5割以上



3-3. 武佐線

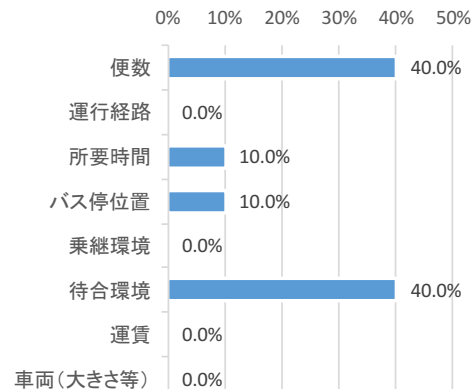
《利用者アンケート調査結果(利用種別、改善してほしい内容、属性(職業、年齢、性別、居住地))》

利用種別 (n=13)



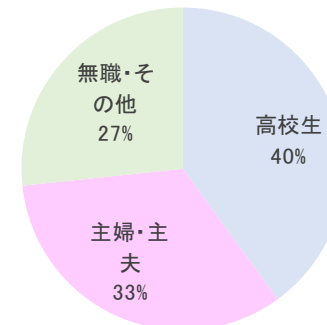
「行きで利用、往復予定」、「帰りのみ利用」がともに3割以上

改善してほしい内容 (n=10)



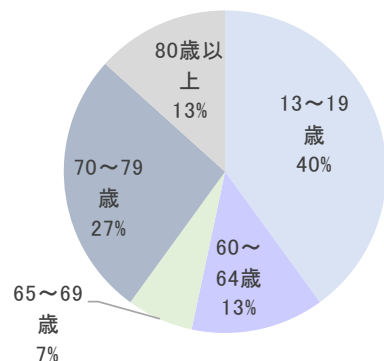
便数、待合環境がともに4割

職業 (n=15)



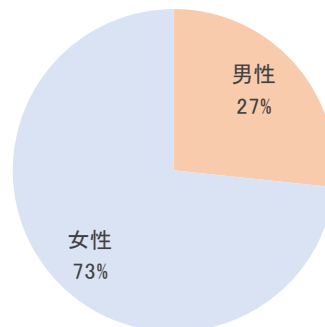
高校生が4割

年齢 (n=15)



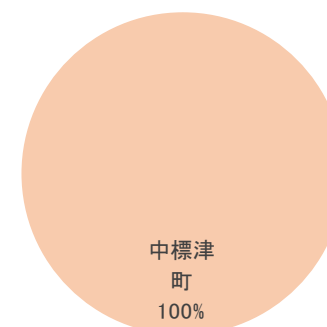
13~19歳が4割

性別 (n=15)



女性が7割以上

居住地 (n=15)



中標津町が10割

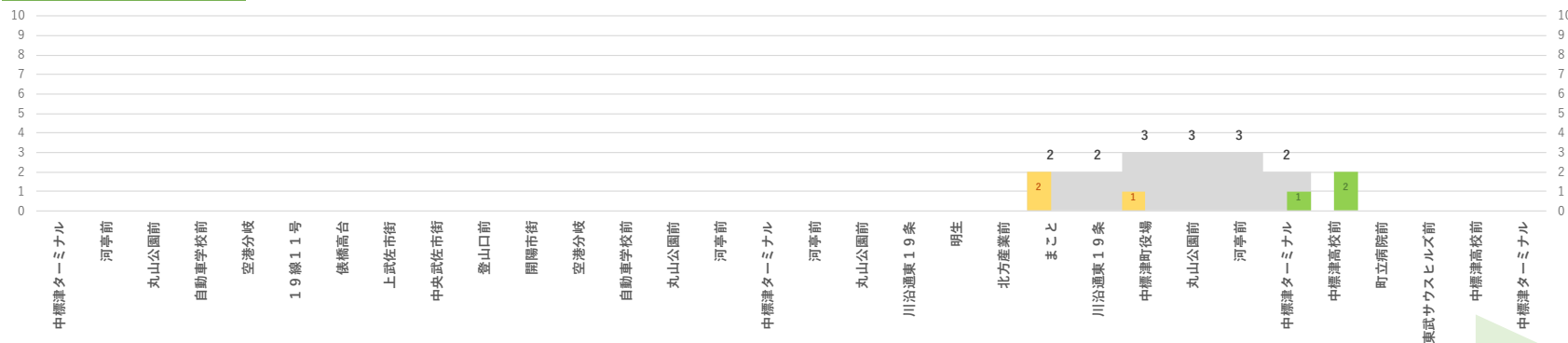
3. 路線別カルテ



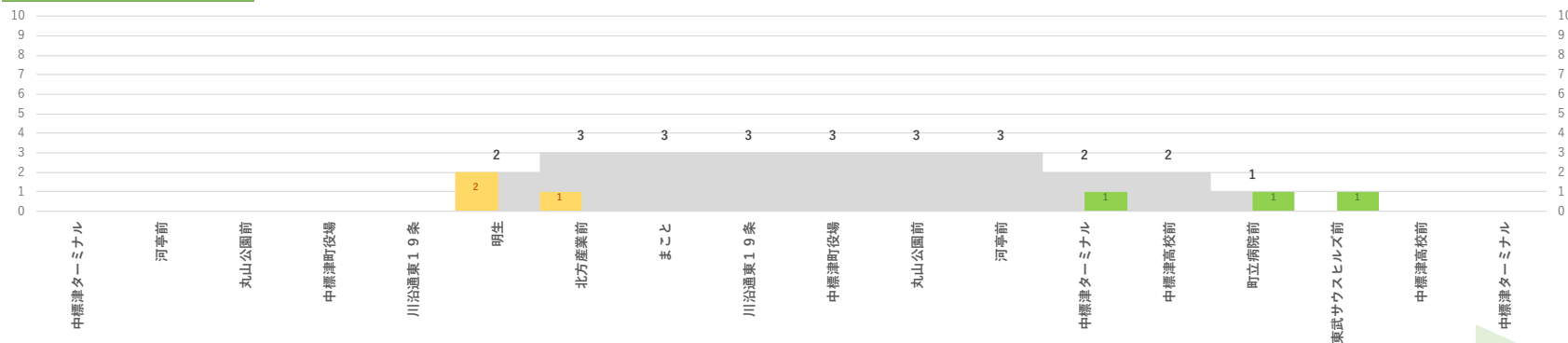
3-3. 武佐線

《利用実態調査結果(便別乗車人数及び車内人数) 9月5日調査結果》

1便(6:31発)



2便(9:07発)



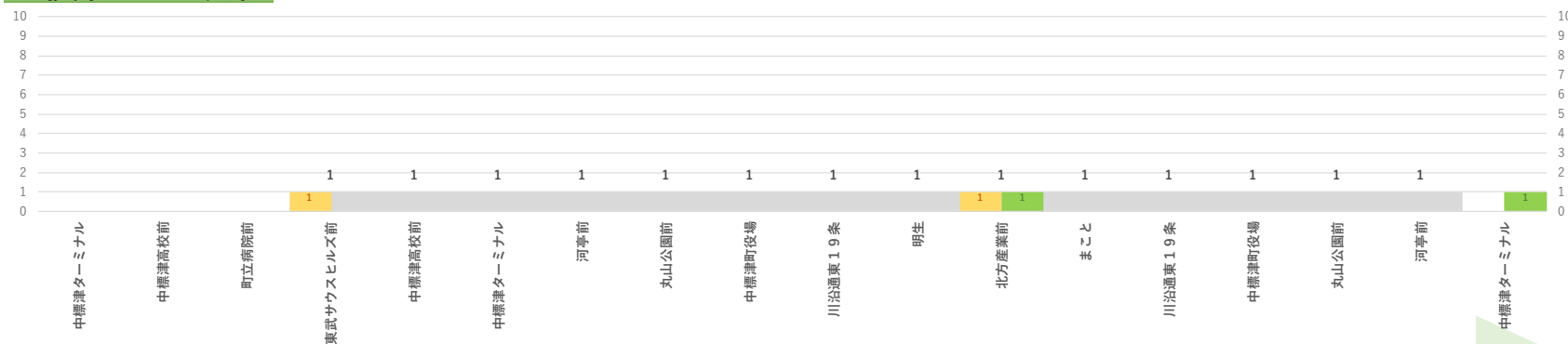
3. 路線別カルテ



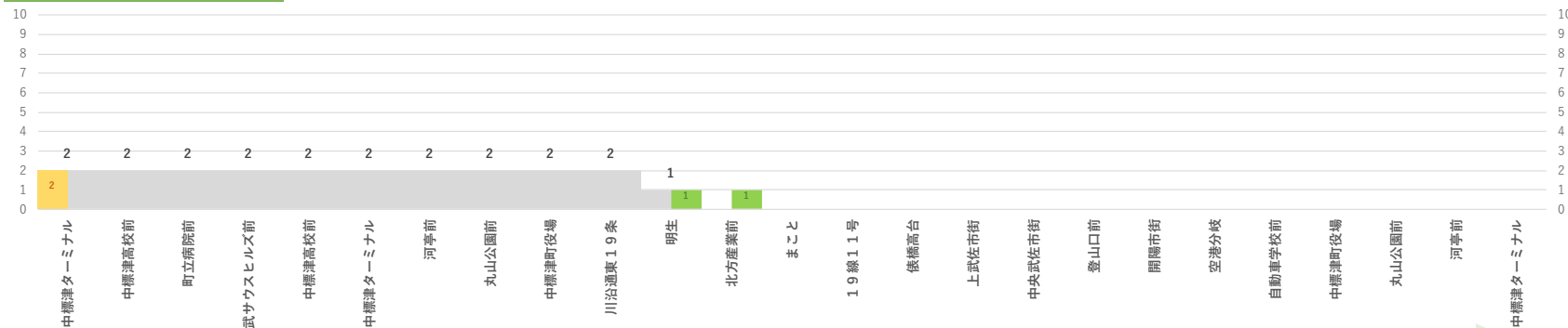
3-3. 武佐線

《利用実態調査結果(便別乗車人数及び車内人数) 9月5日調査結果》

3便(11:30発)



4便(13:43発)

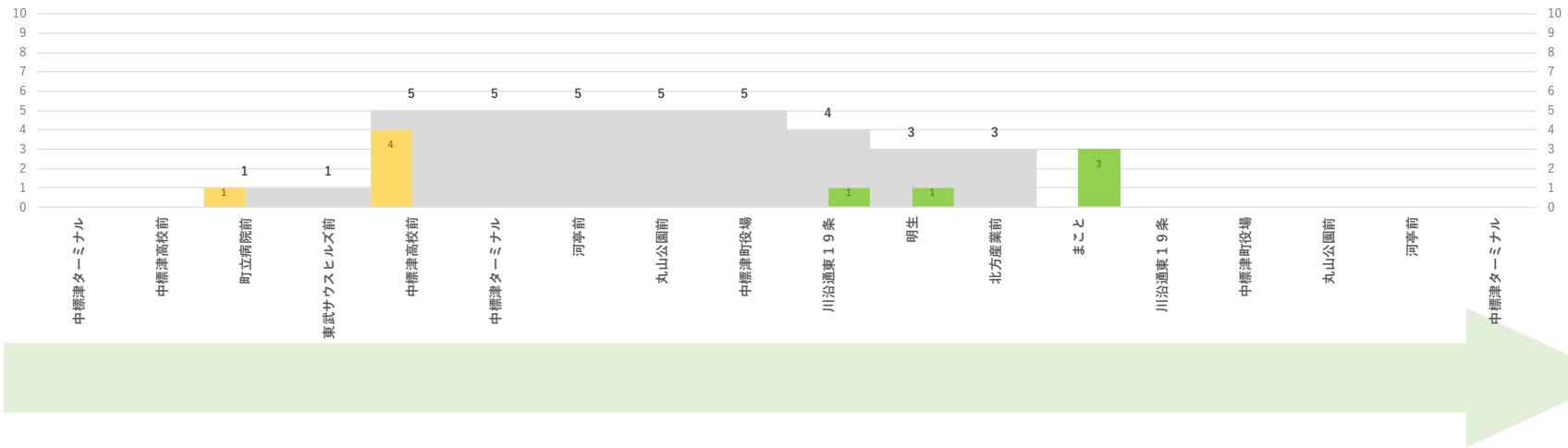




3-3. 武佐線

《利用実態調査結果(便別乗車人数及び車内人数) 9月5日調査結果》

5便(15:30発)



《概要》

便名 利用者数

1便 (6 : 19 発) : 6人
2便 (7 : 38 発) : 4人
3便 (8 : 58 発) : 4人
4便 (12 : 20 発) : 5人
5便 (14 : 00 発) : 1人
6便 (16 : 36 発) : 6人

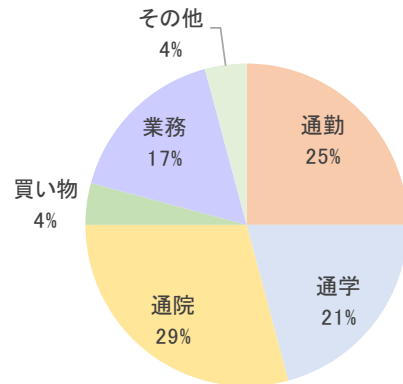




3-4. 俣落線

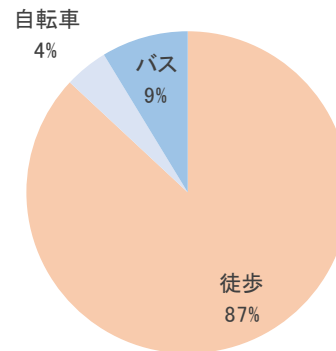
《利用者アンケート調査結果(利用目的、バス乗車前後の移動手段、利用頻度、運賃の支払い方法)》

利用目的 (n=24)



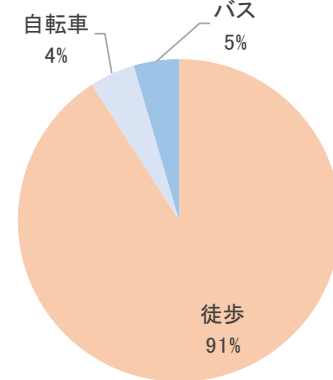
通院・通勤・通学が2割以上

移動手段(乗車前) (n=23)



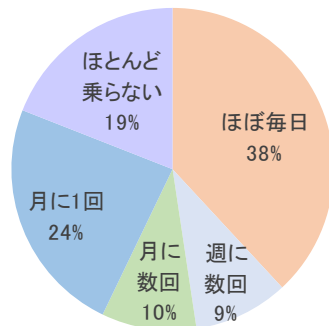
徒歩が8割以上

移動手段(降車後) (n=22)



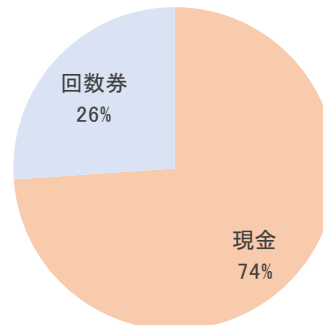
徒歩が9割以上

利用頻度 (n=21)



ほぼ毎日が3割以上

運賃の支払い方法 (n=23)



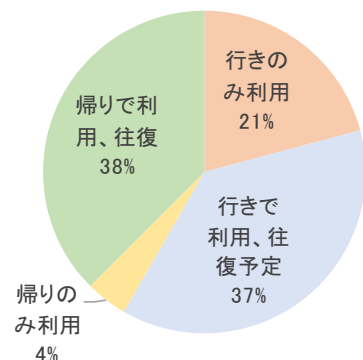
現金が7割以上



3-4. 俣落線

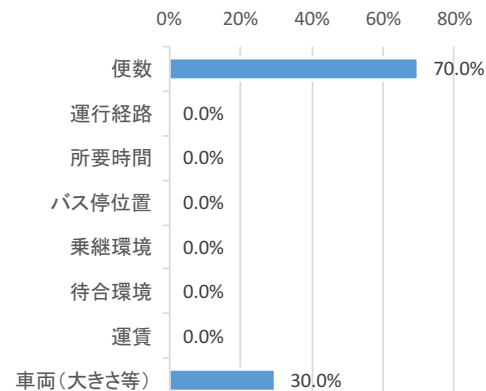
《利用者アンケート調査結果(利用種別、改善してほしい内容、属性(職業、年齢、性別、居住地))》

利用種別 (n=24)



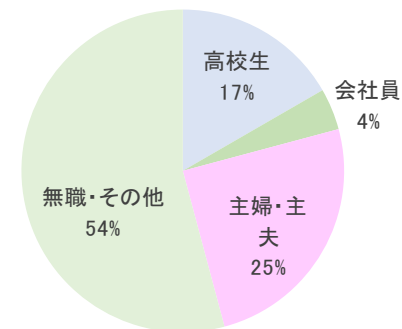
帰りで利用、往復が3割以上

改善してほしい内容 (n=10)



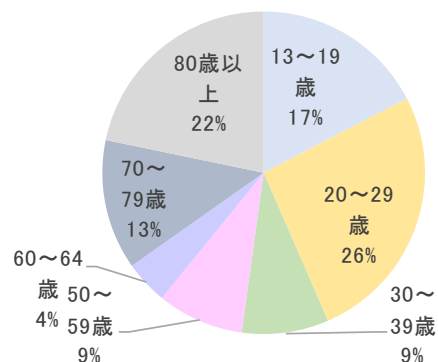
便数が7割

職業 (n=24)



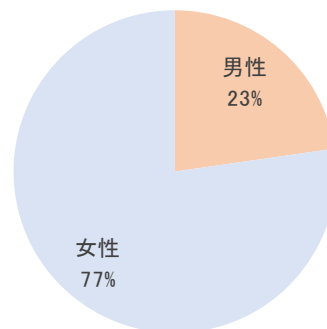
無職・その他が5割以上

年齢 (n=23)



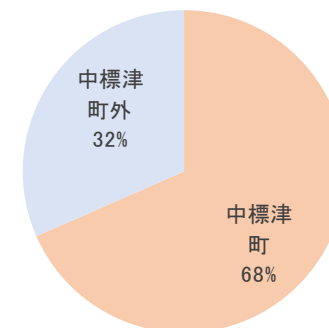
20~29歳が2割以上

性別 (n=22)



女性が7割以上

居住地 (n=19)



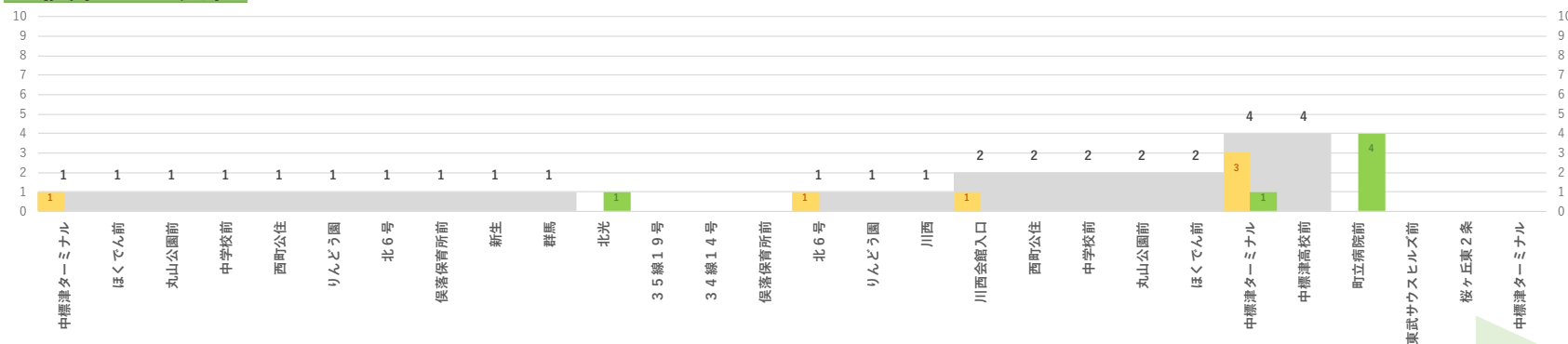
中標津町が6割



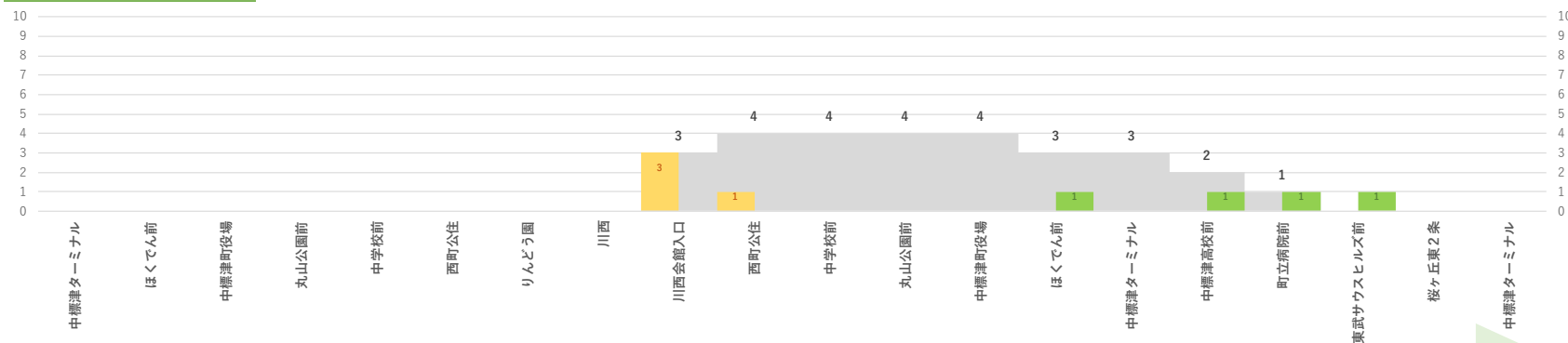
3-4. 俣落線

《利用実態調査結果(便別乗車人数及び車内人数) 9月5日調査結果》

1便(6:19発)



2便(7:38発)



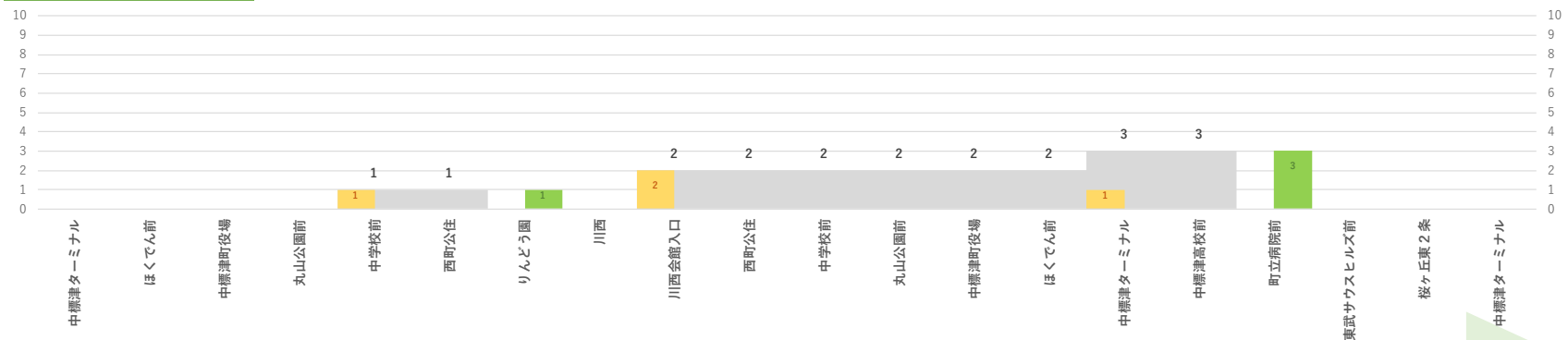
3. 路線別カルテ



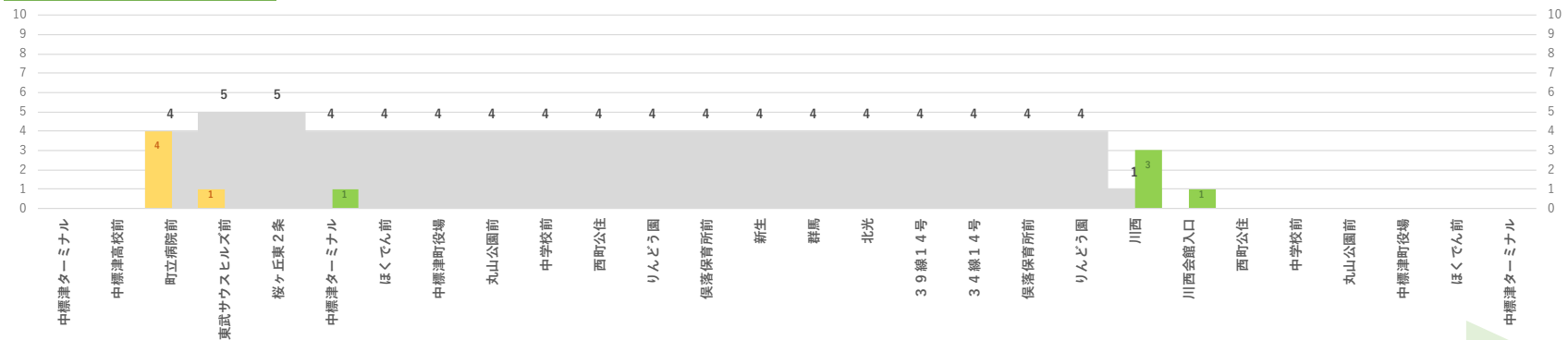
3-4. 俣落線

《利用実態調査結果(便別乗車人数及び車内人数) 9月5日調査結果》

3便(8:58発)



4便(12:20発)



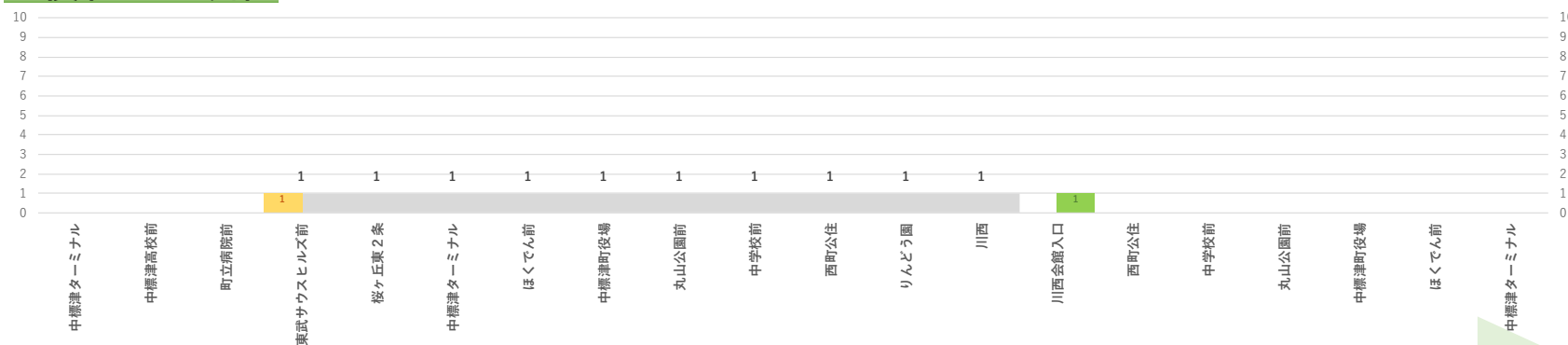
3. 路線別カルテ



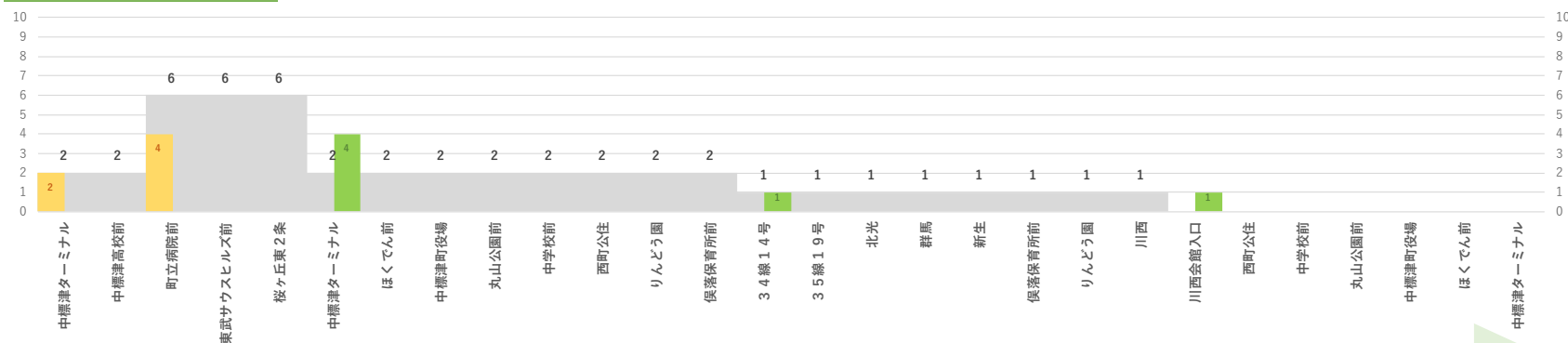
3-4. 俣落線

《利用実態調査結果(便別乗車人数及び車内人数) 9月5日調査結果》

5便(14:00発)



6便(16:36発)



3-5. 養老牛線

《概要》

便数 : 3便
 所要時間 : 45～60分
 始発 : 6:37
 終発 : 16:38
 運行区間 : 計根別～養老牛～計根別

1日あたりの利用者数 : 4人/日

1便あたりの利用者数 : 1.3人/便

結果概要

- ・職業割合は「高校生」と「無職・その他」が5割
- ・利用頻度は「ほぼ毎日」と「週に1回」が5割

便名	利用者数
1便 (6 : 37発) :	2人
2便 (15 : 30発) :	1人
3便 (16 : 38発) :	1人

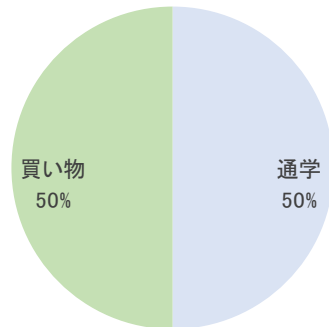




3-5. 養老牛線

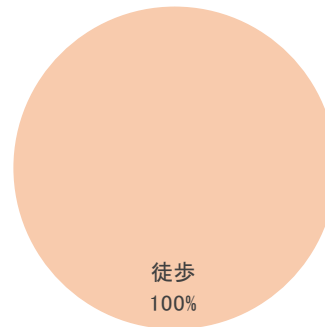
《利用者アンケート調査結果(利用目的、バス乗車前後の移動手段、利用頻度、運賃の支払い方法)》

利用目的 (n=4)



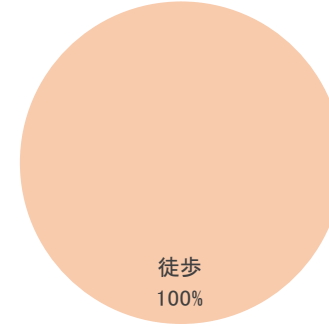
通学、買い物ともに5割

移動手段(乗車前) (n=4)



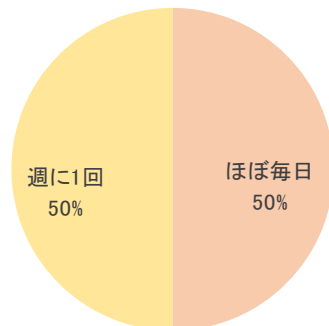
徒歩が10割

移動手段(降車後) (n=4)



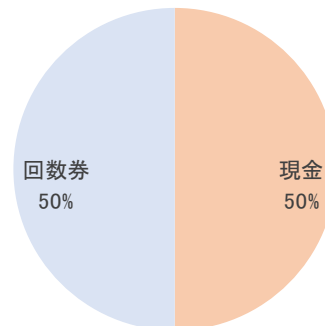
徒歩が10割

利用頻度 (n=4)



ほぼ毎日、週に1回がともに5割

運賃の支払い方法 (n=4)



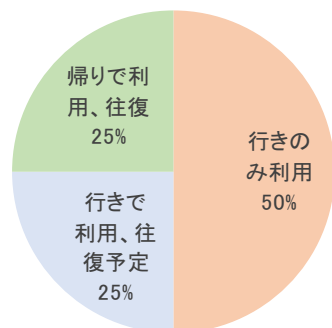
現金、回数券がともに5割



3-5. 養老牛線

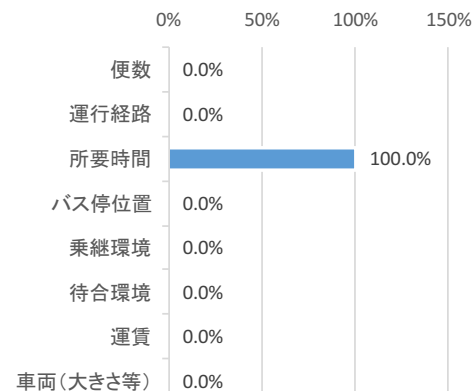
《利用者アンケート調査結果(利用種別、改善してほしい内容、属性(職業、年齢、性別、居住地))》

利用種別 (n=4)



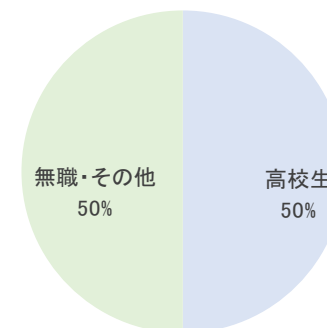
行きのみ利用が5割

改善してほしい内容 (n=1)



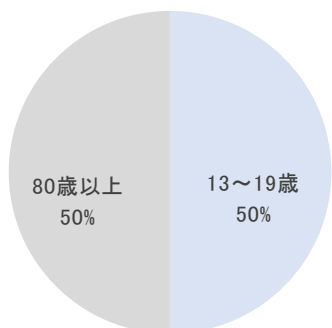
所要時間が10割

職業 (n=4)



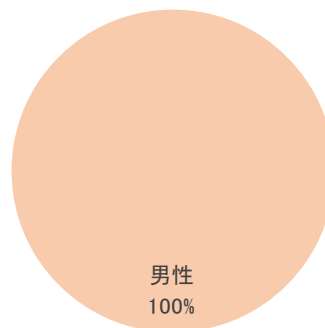
高校生、無職・その他がともに5割

年齢 (n=4)



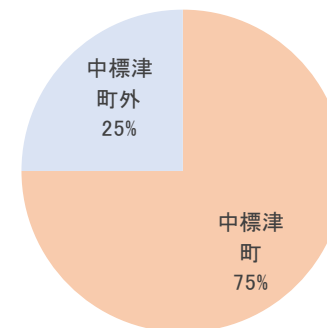
13～19歳、80歳以上がともに5割

性別 (n=4)



男性が10割

居住地 (n=4)



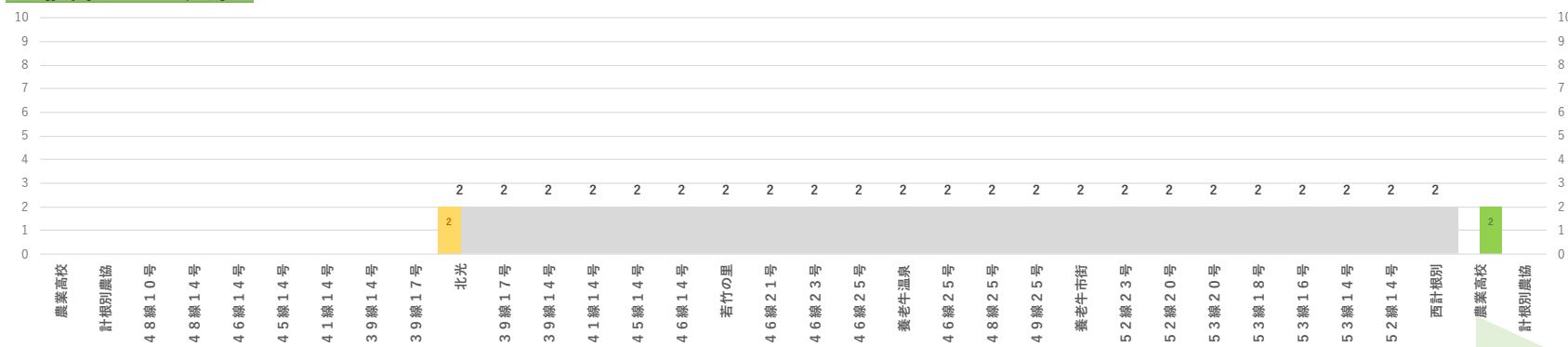
中標津町が7割以上



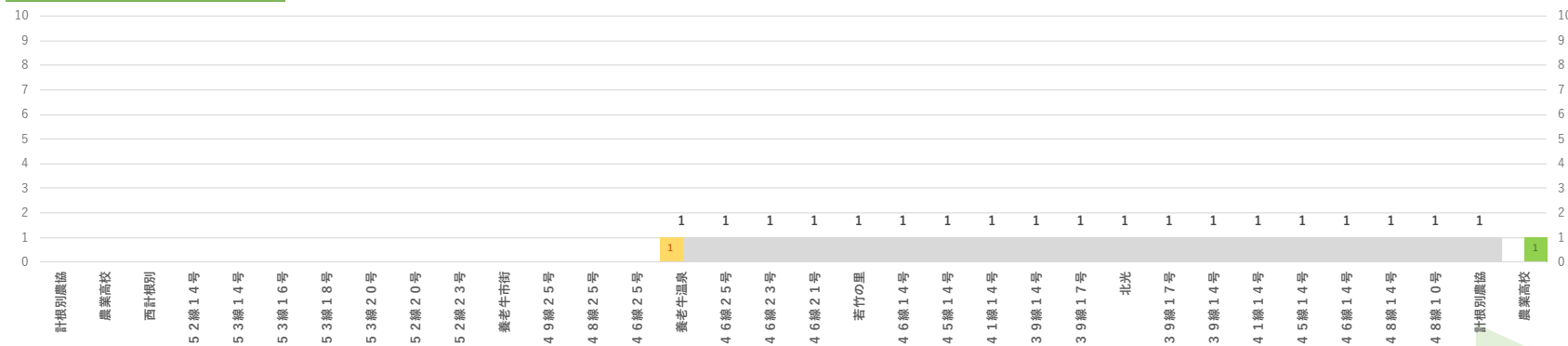
3-5. 養老牛線

《利用実態調査結果(便別乗車人数及び車内人数) 9月5日調査結果》

1便(6:37発)



2便(15:30発)

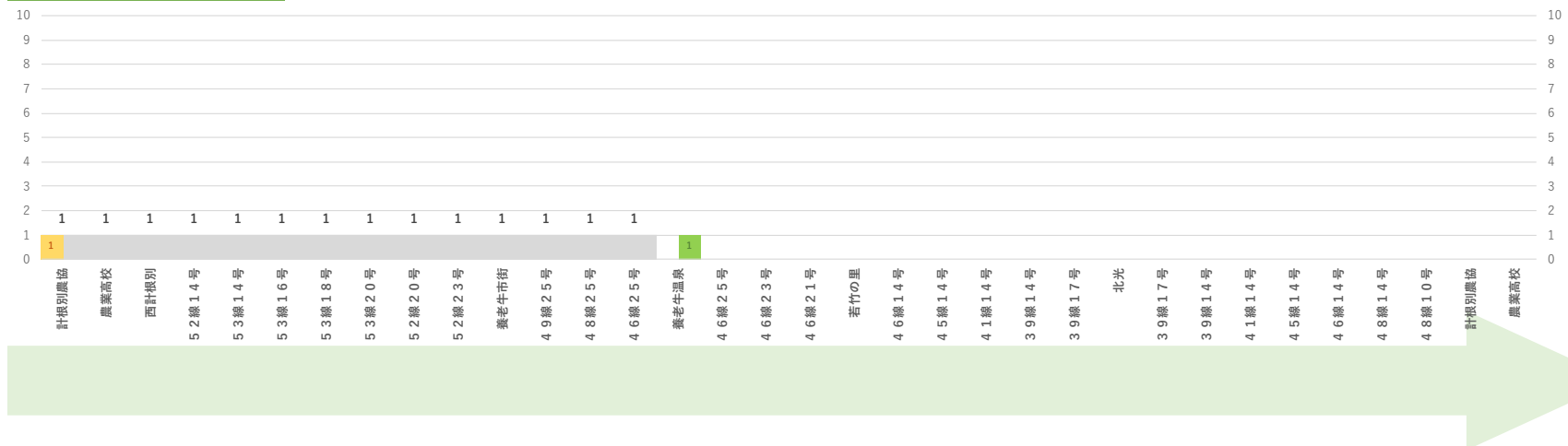




3-5. 養老牛線

《利用実態調査結果(便別乗車人数及び車内人数) 9月5日調査結果》

3便(16:38発)





中標津町地域公共交通に関する 講演会及び意見交換会結果

第5回 中標津町地域公共交通活性化協議会 資料

令和4年12月15日

1. 講演会及び意見交換会開催概要		2
(1) 開催目的		2
(2) 開催日程・場所・内容		2
(3) 参加者数		2
2. 講演会及び意見交換会結果-全体概要		3
(1) 講演会の取りまとめ		3
(2) 意見交換会の取りまとめ		4
3. 意見交換会結果		5
(1) 郡部＋川西地区グループ		5
(2) 市街地グループ		6
(3) 各グループの取りまとめ		7



(1)開催目的

町民が自主的に公共交通を利用する土壌形成に向け、町民等の公共交通利用に関する意識醸成を行うとともに、町内公共交通に関するニーズ把握のための意見交換会を開催

(2)開催日程・場所・内容

1)開催日程

令和4年9月27日(火)

2)開催場所

中標津町総合文化会館 しるべっと 2階 第2研修室

3)開催内容

- ・18:30～19:00 講演「地域の皆さんと創る公共交通とは～意見交換会を始めるにあたって～」
NPO法人まちづくり支援センター 代表理事 為国 孝敏 氏
- ・19:00～20:00 意見交換会
 - ・現状の移動手段及び生活圏を教えてください
 - ・普段の移動で困っていることを教えてください
 - ・町内のバス路線について改善してほしいことを教えてください

(3)参加者数

22名(うち意見交換会参加者11名)

(1) 講演会の取りまとめ



▼講演会の反響

- ・コンサルタント（為国先生、斉藤さん）の方のお話はとても良くて、皆に聞いてほしいなという内容だった。ハッキリ言ってくれた。
- ・郡部のバスをタクシーにして、乗るときだけ呼べばいいのだが、タクシー運転手の確保ができないようだ。
- ・スクールバスも負担が高額で先が心配だ。決まりがあり、通り道の子供だけ乗車できない部分がある。
- ・また、中標津町には観光バスというものがなく、開陽台へは簡単に行けない。バス会社1社ならスムーズなのかと思うが3社あるのでうまくいかないようだ。



(2)意見交換会の取りまとめ

▼現状の移動手段及び生活圈

- ・買い物や通院ともに、基本的には町内
- ・移動手段は基本的に自家用車
- ・月に数回は釧路市までの通院を実施

▼普段の移動で困っていること（市内循環線）

- ・市内循環線及び町営バスは通院などの目的と時間が合っておらず、利用が不便
- ・1乗車の所要時間が長い



▼改善してほしいこと（市内循環線）

- ・ターゲットを明確化した運行
- ・ルートを短絡化し、所要時間を短く

▼普段の移動で困っていること（町営バス）

- ・バス停が遠く、足の悪い方は利用できない
- ・目的と時刻が合っていない
- ・観光客もバスが使えず困っている



▼改善してほしいこと（町営バス）

- ・デマンド交通への転換
- ・曜日運行など利用目的に合わせた運行
- ・観光客も利用できる交通への再編



(1) 郡部＋川西地区グループ

▼現状の移動手段及び生活圏

買い物

- ・ 自家用車を使っている
- ・ 通販や配達サービスがあるため不便しない

通院

- ・ 困ったときは救急車を使う
- ・ 自家用車で釧路市へ月に2回通院
- ・ 体の悪い親族は介護タクシーを利用

その他の移動

- ・ 仕事・趣味での移動は自家用車
- ・ 免許返納した母親を自家用車で連れていくことが多い

▼普段の移動で困っていること

- ・ 市内循環線はルートから少し外れている目的地に寄り道しづらい
- ・ バスは自家用車と比べるなど言われたが、そうはいつでも融通の利くものになってほしい
- ・ 通院したらどうしようという不安はある
- ・ バス停が遠く足が悪い方だとたどり着かない
- ・ 数十年ダイヤが変わらない
- ・ 時刻が合わない
- ・ 施設や他路線との接続が良くない
- ・ 土日祝日休みなのは困る

▼市内循環線・町営バス等のことで改善してほしいこと

- ・ 郡部に関してはデマンド運行が最適なのでは
- ・ 事前予約制にするのはどうか
- ・ 岩谷学園（日本語学校）や新規就農者に対してのケア
- ・ 曜日運行にすれば運行に合わせて利用する
- ・ 俣落線（群馬）に接続してほしい
- ・ 開陽台、養老牛温泉などの観光地を盛り上げる
- ・ どのような運行形態にしても、実証実験をやらないといけない



(2)市街地グループ

▼現状の移動手段及び生活圈

買い物

- ・フクハラやAコープなど、町内での買い物が主

通院

- ・町立中標津病院への通院が主

移動手段

- ・車での移動が中心
- ・飲み会などのイベント時にはバスを利用して移動

中標津高校の生徒の行動

- ・高校生の6～7割は自家用車による送迎
- ・バスターミナルまでは路線バスで移動し、徒歩で通学している生徒もいる

▼普段の移動で困っていること

- ・高齢者の方の送迎問題が家族間で発生している
- ・市内循環線では通院の時間に合わないことに加え、役場へのアクセスがしづらい
- ・市内循環線は一回りが大きく、乗車時間が長い
- ・市内循環線や町営バスを利用して通学を行う場合、部活動の帰りに自宅まで帰宅することが出来ない
- ・観光客がバスを使えず困っている（養老牛などの郊外の観光地までアクセスすることが出来ない）
- ・児童・生徒の送迎を自家用車でっており、子どもの体力が低下している

▼市内循環線・町営バス等のことで改善してほしいこと

- ・ターゲットを明確にした検討が必要（交通弱者+ α ）
- ・市内循環線のルートを短くし、所要時間を短くする（以前の2ルートに戻すことも検討してはどうか）
- ・車両を需要に合わせたサイズにして、効率化を図ることも重要
- ・公共交通利用者を増加させる施策として、路線バスとの共通定期券の販売なども検討してはどうか
- ・利用者が公共交通を主体的に利用するための意識醸成も必要
- ・自転車利用の観光客への対応など、より観光客も取り込める交通に再編

(3)各グループの取りまとめ

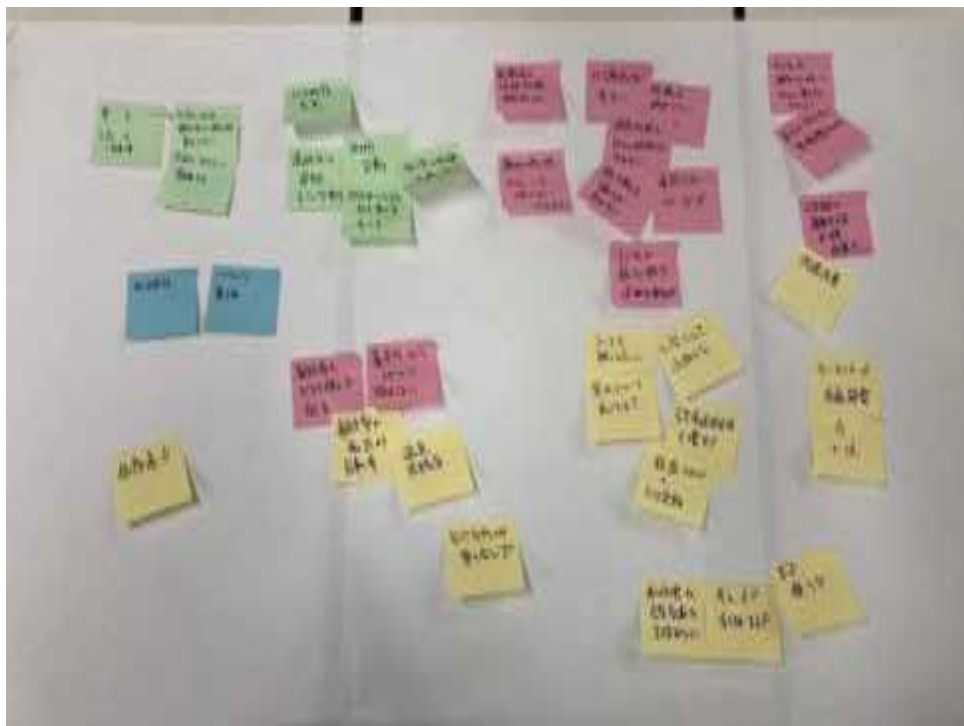
▼郡部+川西地区グループ





(3)各グループの取りまとめ

▼市街地グループ





資料④

中標津町地域公共交通計画策定に向けた整理

第5回 中標津町地域公共交通活性化協議会 資料

令和4年12月15日



1. 計画目次案		2
2. 町内路線の再編の方向性(これまでの協議の経過)		3



I. 計画策定にあたって

- I-1 計画策定の背景と目的
- I-2 計画の位置づけ
- I-3 計画の区域・・・中標津町全域
- I-4 計画期間・・・令和5年度から令和9年度

II. 地域の現状

- II-1 位置・地勢
- II-2 人口・高齢化
- II-3 通勤・通学流動
- II-4 移動目的地となる施設の分布

III 地域公共交通の現状

- III-1 道路網の状況
- III-2 公共交通体系の状況・・・乗降調査結果については別途整理
- III-3 交通空白地域の整理
- III-4 公共交通関連財政支出の整理
- III-5 当町内を運行する公共交通で補完すべきターゲット
- III-6 地域の現状及び地域公共交通の現状から見える課題（ニーズ）

IV. 地域公共交通に対するニーズ

- IV-1 住民ニーズ把握アンケート調査結果
- IV-2 調査結果から見える地域公共交通へのニーズ

V. 地域公共交通の方向性

- V-1 計画期間内で解決すべき課題（重点課題）
- V-2 計画の基本理念と基本目標、将来像・・・再編案として提示

VI. 基本目標を達成するために行う事業

- VI-1 基本目標と事業の体系整理
- VI-2 実施する事業の内容及び実施スケジュール
- VI-3 事業の進捗状況を評価する指標及び計測方法

VII. 推進方針

VIII. 中標津町地域公共交通活性化協議会の運営方針

中標津町地域公共交通計画として、
全8章で整理を予定

計画書本編での整理を予定
※次回協議会でお示し予定

2. 町内路線の再編の方向性(これまでの協議の経過)



【町営バス路線再編の方向性】

- ・ 定時定路線から区域型運行（デマンド交通等）への転換

■再編内容の詳細案

- ・ 町営バス路線の利用者数は、極めて限られた需要であり、より効率的に、町営バス運行エリアに居住する住民を市街地等へ運送する手段として、デマンド交通への転換を検討
- ・ その際、現状の利用実態及び農村部に居住する住民から自宅付近までの運行や学生が利用しやすい時間帯の運行を望む声もあることから、学生便も視野入れた再編を検討

運行主体	凡例	路線名	区間	運賃	所要時間
中標津町	——	町営バス武佐線	区 中標津バスターミナル 区 中標津バスターミナル	額 5便 額 3便	39分
中標津町	——	町営バス保志線	区 中標津バスターミナル 区 中標津バスターミナル	額 4便 額 3便	41分
中標津町	——	町営バス妻名牛線	区 農業高校 区 計根別農協	上 1便 下 2便	60分
阿寒バス	——	中標津市内線	区 保志駅前 区 保志駅前	上 4便 下 4便	70分
阿寒バス	——	釧路標津・羅臼線	区 市立病院前 区 標津BT・羅臼	上 5便 下 5便	235分
阿寒バス	——	標津標茶線	区 標津バスターミナル 区 標津バスターミナル	上 4便 下 4便	130分
根室交通	——	中標津線	区 津床駅前 区 中標津バスターミナル	上 5便 下 5便	80分
根室交通	——	中標津空港線	区 南標津駅前 区 中標津空港	上 4便 下 4便	110分
根室交通	——	オーロラ号	区 札幌大通バスセンター 区 根室交通営業所	上 1便 下 1便	550分

セットでの再編案

【懸念事項】

- ・ 町営バス路線のどの路線から着手を行うのか
- ・ 阿寒バス運賃との整合性や連携策をどのように行うのか

【計根別-市街地間の方向性】

- ・ 通学便の追加運行

■再編内容の詳細案

- ・ 現在、阿寒バス-標茶標津線を利用して、市街地から計根別地区（中標津農業高校）に移動している主な利用者層は学生であるが、通学時間帯において、路線バスに乗りできず（満車が原因）、保護者の送迎などに依存している状況から、町内バス路線の再編により、確保可能なリソース（運転手や車両）を活用して通学便の追加運行を検討



【その他運行維持に係る取組】

- ・ デマンド交通の運行効率化に資する取組の検討
- ・ 阿寒バスと町営バス路線の連携策の検討
- ・ 町内公共交通の運行情報発信方法の検討
- ・ 公共交通を地域が支える仕組みの検討

【市街地循環線再編の方向性】

- ・ 路線の縮小+縮小したエリアへの代替移動手段の提供

■再編内容の詳細案

- ・ 市街地循環線の利用範囲は、川南への利用、かつ東武サウスヒルズや町立病院への移動が主であることから、利用者の利便性向上を目的に、路線の縮小を検討
- ・ 路線が縮小となった地区の移動手段を確保するため、タクシーチケットの配布等の代替移動手段を検討



中標津町地域公共交通に関する ヒアリング状況

第5回 中標津町地域公共交通活性化協議会 資料

令和4年12月15日



- 1. ヒアリング概要 2
- 2. 町内会（郡部地区）におけるヒアリング状況 3



(1) ヒアリング担当

為国氏、役場町民生活部生活課

(2) 実施経過

1) 令和4年5月31日(火)～6月1日(水)

- ・町民生活部福祉課(社会福祉係)、介護保険課(介護支援係)
- ・経済部経済振興課(商工労働係、観光振興係、地域振興係)
- ・教育委員会学校教育課(学校教育係)
- ・建設水道部都市住宅課(都市計画・景観係)
- ・日東交通(株)、(株)北都ハイヤー・(株)旭観光バス
- ・阿寒バス(株)

2) 令和4年7月20日(水)～22日(金)

- ・根室市、別海町、標津町、羅臼町(各公共交通担当)
- ・根室交通(株)
- ・中標津高等学校、中標津農業高等学校

3) 令和4年9月27日(火)～28日(水)

- ・俣落連合会、第二俣落・西竹連合会
- ・武佐地区連合会(代理:民生委員)、開陽連合会
- ・養老牛地区連合会、上標津町内会、計根別地区協議会、東西竹地区協議会、西竹町内会

※町内会(郡部地区)とのヒアリング内容については、次ページ以降

（１）俣落連合会

１）地域の状況

- ・子供たちのクラブ活動のために市街地まで送迎を行っている
- ・昔は高齢者がゲートボールをしていたが、今そのような光景は見ない

２）地域の移動状況

- ・地区に居住する町民の多くは自家用車保有
- ・高齢者の移動ニーズは買い物と通院

３）求める交通

- ・１０人乗りのジャンボタクシーが自動で運行しているとありがたい
- ・バスターミナルからスクールバスに乗り合わせを行うのはどうか



（２）第二俣落地区・西竹連合会

１）地域の状況

- ・高齢者単独世帯は少ない（免許返納を行うと市街地に転居する）
- ・買い物は市街地

２）地域の移動状況

- ・高校生は複数人いるが、バス通学をしているのは１名程度
- ・下宿している高校生が大半、部活動をやっていると帰りのバスがない
- ・免許返納した高齢者は町営バスを利用（行きはバス、帰りは送迎）
- ・市街地からタクシーを利用すると10,000円以上

３）求める交通

- ・スクールバスに高校生も乗車可能にしてほしい
- ・標津高校のスクールバスとの接続改善を行うと通学範囲が広がる
- ・町営バスに小中学生を乗せるなどの工夫も必要では



（３）武佐地区連合会（代理：民生委員）

１）地域の状況

- ・ 後継ぎがいる世帯は家族間の送迎がある
- ・ 釧路市まで自家用車で通院している人もいる
（介護タクシー（40,000円/回）で移動している人も）

２）地域の移動状況

- ・ 運行エリアが広く、町営バスの使い勝手は不便
- ・ 通院目的の移動が大半、買い物は配達サービスを使う
- ・ 交通に不慣れで、自分中心の移動
- ・ タクシー運賃は5,000円くらい（利用者はめったにいない）

３）求める交通

- ・ 通院利用に特化した運行時間帯が望ましい
- ・ スクールバスの高校生利用の検討
- ・ タクシー助成などのモビリティの方が地域に合っている



（４）開陽連合会

１）地域の状況

- ・ 農家世帯は半数で、移住者が多くなっている。（１０年ほど前から）
- ・ 高齢者になっても自家用車を運転している

２）地域の移動状況

- ・ 高校生は自家用車等の送迎で通学している
- ・ 町営バスを利用していない状況は理解しているが、今後の高齢化のことを考えると交通支援は残してほしい
- ・ 町営バスで市街地に行っても帰りまでの時間がだいぶ空いている

３）求める交通

- ・ 運賃が増加したとしても、自宅付近まで送迎する交通に転換することが望ましい
- ・ スクールバスの高校生の利用拡大はできないか



（５）養老牛方面①（養老牛地区連合会、上標津町内会）

1) 地域の状況

- ・ コンビニまでの距離も遠い
- ・ 配達サービスも活用しているが、週に１回は出かけた

2) 地域の移動状況

- ・ 中標津高校へ通学するには下宿になる
- ・ 高齢者の移動時間帯とバスの運行時間帯が合わない
- ・ タクシー運賃は10,000円を超える
- ・ 買い物も毎日ではないが、定期的にある

3) 求める交通

- ・ 家族で送迎できない方を対象としたモビリティを検討しては
- ・ スクールバスを活用し、予約に応じて運行するモビリティが合うのでは（必要に応じたモビリティ）



（６）養老牛方面②（計根別地区協議会、東西竹地区協議会、西竹町内会）

1) 地域の状況

- ・ 中標津高校に通学する場合は下宿
- ・ 買い物は計根別もしくは市街地（配達サービスも併用）

2) 地域の移動状況

- ・ 東西竹地区には独居老人（免許返納済）がいるが、バスは利用していない
- ・ 西竹地区の高校生は自家用車等の送迎で通学
- ・ 計根別地区は標津標茶線（阿寒バス）を利用
- ・ バスを利用していない人は自家用車での移動
- ・ タクシー運賃は7,000円～8,000円程度

3) 求める交通

- ・ スクールバスの高校生の利用拡大
- ・ タクシー助成などに切り替えたほうが良いのでは
- ・ 日常移動の支援がないと免許を手放せない



資料⑤

(地域公共交通確保維持改善事業における事業評価に係る資料)

第 5 回中標津町地域公共交通活性化協議会

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4年12月 日

協議会名: 中標津町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 中標津町

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
中標津町	●俣落線①～④ 交通センター～りんどう園～俣 落～町立病院～交通センター ●武佐線①～③ 交通センター～まこと～武佐・ 開陽～町立病院～交通セン ター	令和2年度から利用者数が大 きく減少したこともあり、路線の 見直しを検討している。	A 計画通り事業は適切に実 施された。	A 利用者は前年度1.90人 /便に対し2.12人/便と増加 し、目標である2.0人/便以 上となった。 利用者が昨年度より増 となった理由としては、高校 生の利用状況及び新型コロナ の影響が薄れてきている ことが考えられる。	生活交通手段を維持・確保 し、地域住民の日常生活の移 動確保や地域間幹線系統との 接続による広域的な移動を図 るため町有バス路線は必要で ある。 しかし、現状の利用実態を踏 まえて、運行形態やダイヤ、車 両規模等の検討も必要であ る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 4年12月 日

協議会名：	中標津町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	中標津町は、北海道の東部、根室管内の中部に位置し、面積は684.98km²、人口は令和4年11月末現在22,744人であり、前年比246人の減少となったところである。 中標津町の公共交通は、市街地を運行する「中標津市内線」、他都市との間を結ぶ幹線系統としての「標津西春別線」、「中標津線」、「釧路羅臼線」、「釧路標津線」に加え、郡部と市街地を結ぶ「町営バス路線」が運行している。しかし、人口減少やモータリゼーションなどにより、公共交通の利用者は低迷しており、赤字運行による町負担の増加をはじめ、様々な課題が生じている。 例えば、市街地を運行する「中標津市内線」は、住宅地の拡大や郊外部における大型商業施設の立地に伴い路線ではカバーできない交通空白地域が発生しており、「町営バス路線」は郡部と市街地を結ぶ路線であるが、1便当たりの利用者数が少なく、便によっては無乗車と非効率的な運行を強いられている。 このような状況の中、主な利用者となる少子高齢化に伴い増加する高齢者や免許返納者、学生等の交通弱者の利用実態に合った公共交通を将来にわたって維持・確保する、また、交通空白地域と中心市街地のアクセスを確保し、交流人口の拡大を促進するとともに地域の活性化を図ることが重要となる。 以上を踏まえ、現状の公共交通体系を維持し移動手段を確保しつつも、路線の見直しや新しい交通システムへの見直し等を行い、中標津町に合った公共交通体系を検討・構築することが必要となっており、このことについて「中標津町生活交通確保維持改善計画」に位置付けている。 このため、地域公共交通確保維持改善事業により、中標津町内における生活交通手段を維持・確保し、また、地域間幹線系統等との接続による広域的な移動支援などを図るため、住民の生活の足としての公共交通を存続させていくことが必要である。

中標津町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

今後の少子高齢化に伴い増加する高齢者や免許証返納者等の交通弱者への対応が課題となってきた。

また、市街地と大型商業施設とのアクセスを確保することは、交流人口の拡大と地域の活性化につながるため、重要となってくる。

これらを踏まえて、将来に渡って持続可能な公共交通体系を構築し地域の活性化を図ることを目的に、利用実態に合った路線への見直しについて、「中標津町広域公共交通確保維持改善計画」に位置付けました。

このため、地域公共交通確保維持改善事業により、中標津町内における生活交通手段を維持・確保し、地域住民の買物や通院などの日常生活の移動確保や地域間幹線系統等との接続による広域的な移動支援などを行うため、住民の生活の足としての公共交通を存続させていくことが必要となります。

生活交通確保維持改善計画の目標

運行の効率化、増便を考慮し1便あたりの利用者数の2.0人を目標とする。(令和3年度 約1.90人／便)

令和4年度事業概要

●俣落線①～④

交通センター～りんどう園～俣落～町立病院～交通センター

●武佐線①～③

交通センター～まこと～武佐・開陽～町立病院～交通センター

地域公共交通の現況

・阿寒バス株式会社

(中標津市内線・標津西春別線・釧路標津線・釧路羅臼線)

・根室交通株式会社(中標津線、中標津空港線)

・町営バス(俣落線・武佐線・養老牛線)

中標津町地域公共交通会議開催状況

<本協議会の前身「中標津町地域公共交通会議」の開催状況>

- ・令和4年3月3日 中標津町地域公共交通活性化協議会の設置
(書面開催) に伴う中標津町地域公共交通会議の廃止

<本協議会の開催状況>

- ・令和4年4月25日 役員の選出、規約の制定
(書面開催) 地域公共交通調査事業に係る申請 等
- ・令和4年5月30日 令和4年度実施の調査等に係る業務委託契約
地域内フィーダー系統確保計画
中標津市内線のダイヤ改正 等
- ・令和4年7月8日 中標津市内線のダイヤ改正
令和4年度実施調査の説明 等
- ・令和4年8月22日 自家用有償旅客運送に係る登録の更新
(書面開催)
- ・令和4年12月15日 令和4年度実施調査の結果報告
交通計画策定に向けた整理
地域公共交通確保維持改善事業に係る事業
評価

令和4年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・令和4年2月 新型コロナワクチン接種にあたり、65歳以上の高齢者へバス無料券(町営バスを含む)及びタクシー補助券を配布(バス無料券配布は昨年度に引き続き2回目)
- ・令和4年5月 公共交通アドバイザーとともに各種調査の実施(乗降調査、意見交換会等)、町内路線の再編について検討を進めている
- ・令和4年9月 町民ニーズ把握調査の実施(地域公共交通調査事業活用)1,970世帯にアンケート票を配布

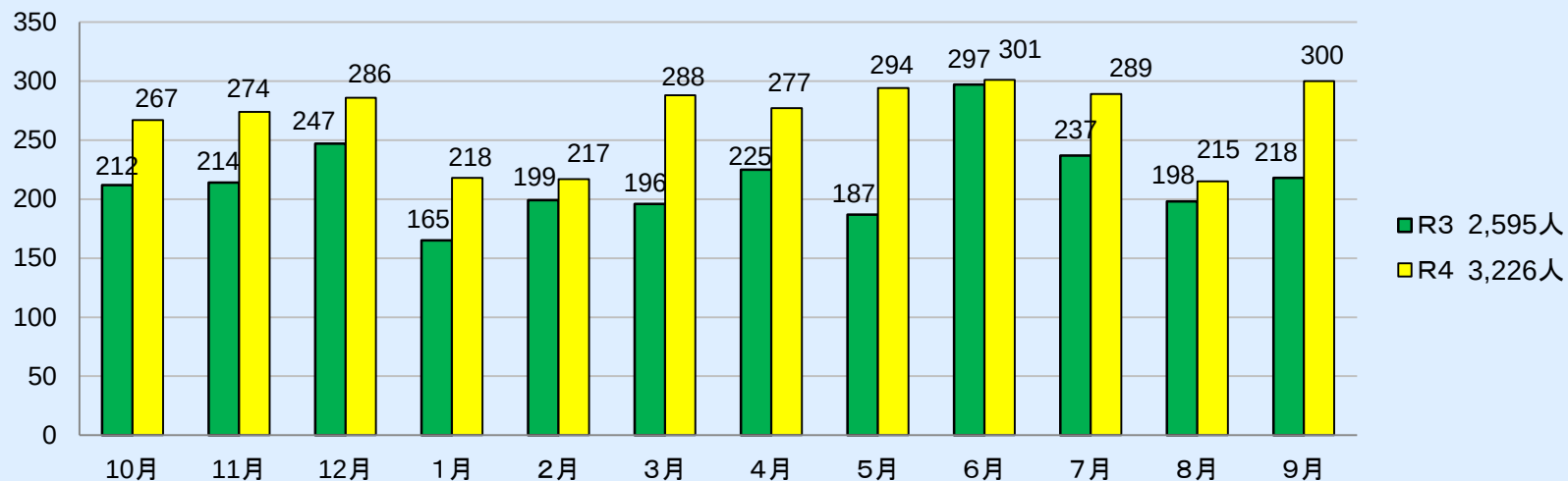
2) 運行系統



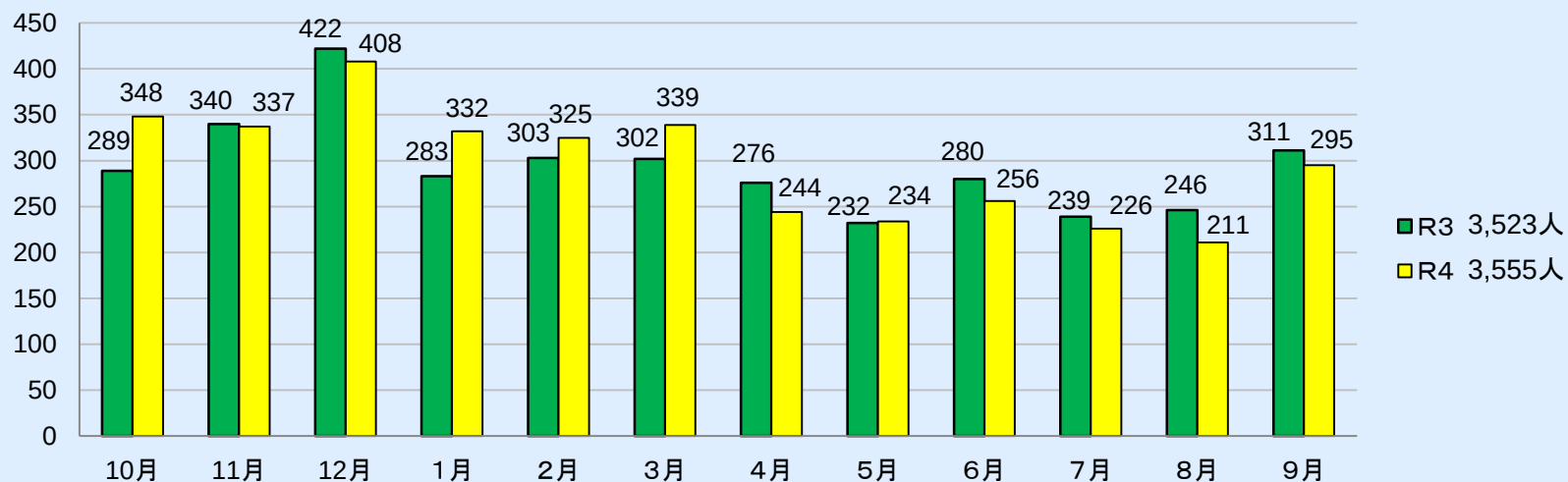
3) 利用実績

俣 落 線

単位:人



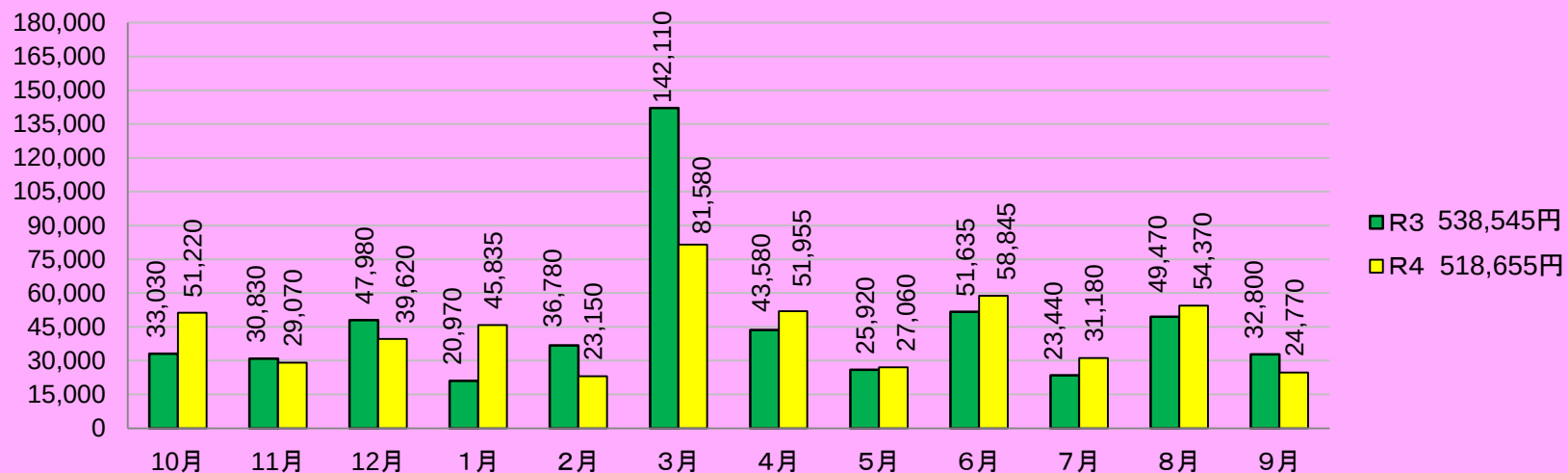
武 佐 線



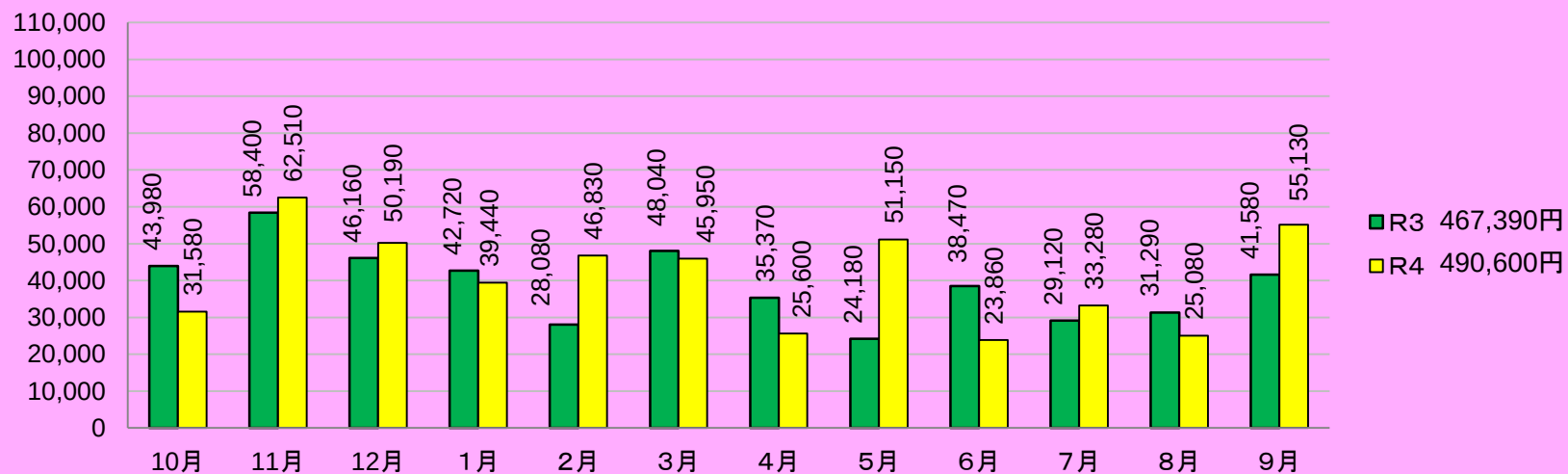
4) 収入実績

俣 落 線

単位:円



武 佐 線



5)事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

6)目標・効果達成状況

高校生の通学や、買い物・通院で利用がされている。

高校生は、年度によって利用者数が異なるため、この人数の増減が利用結果に大きく反映される。

1便あたりの利用者数は令和3年度の1.90人/便に対し2.12人/便と前年度より増加し、目標である2.0人/便以上となった。

また、利用者数が昨年度より増となった理由としては、高校生の利用状況及び新型コロナウイルスの影響が薄れてきていることが考えられる。

7)事業の今後の改善点

生活交通手段を維持・確保し、地域住民の日常生活の移動確保や地域間幹線系統との接続による広域的な移動を図るため、町営バス路線は必要である。

しかし、現状の利用実態を踏まえて、運行形態やダイヤ、車両規模等の検証が必要である。

8)地方運輸局における二次評価結果

町営バス運行実績（今年度＋過去３ヵ年）

１ 利用者数（人）

（１）俣落線

月	H30. 10～ R1. 9	R1. 10～ R2. 9 ①	R2. 10～ R3. 9 ②	増減 ②－①	対前年比(%)	R3. 10～ R4. 9 ③	増減 ③－②	対前年比(%)
10月	417	296	212	△ 84	△ 28.4	267	55	25.9
11月	370	342	214	△ 128	△ 37.4	274	60	28.0
12月	341	355	247	△ 108	△ 30.4	286	39	15.8
1月	220	197	165	△ 32	△ 16.2	218	53	32.1
2月	241	205	199	△ 6	△ 2.9	217	18	9.0
3月	217	97	196	99	102.1	288	92	46.9
4月	210	136	225	89	65.4	277	52	23.1
5月	241	125	187	62	49.6	294	107	57.2
6月	350	239	297	58	24.3	301	4	1.7
7月	310	256	237	△ 19	△ 7.4	289	52	20.3
8月	298	183	198	15	8.2	215	17	9.3
9月	340	221	218	△ 3	△ 1.4	300	82	37.1
合計	3,555	2,652	2,595	△ 57	△ 2.1	3,226	631	24.3

（３）養老牛線

月	H30. 10～ R1. 9	R1. 10～ R2. 9 ①	R2. 10～ R3. 9 ②	増減 ②－①	対前年比(%)	R3. 10～ R4. 9 ③	増減 ③－②	対前年比(%)
10月	88	127	110	△ 17	△ 13.4	102	△ 8	△ 7.3
11月	75	106	100	△ 6	△ 5.7	82	△ 18	△ 18.0
12月	64	88	117	29	33.0	81	△ 36	△ 30.8
1月	32	66	82	16	24.2	67	△ 15	△ 18.3
2月	29	97	70	△ 27	△ 27.8	38	△ 32	△ 45.7
3月	64	46	95	49	106.5	59	△ 36	△ 37.9
4月	86	70	86	16	22.9	115	29	33.7
5月	94	51	84	33	64.7	75	△ 9	△ 10.7
6月	88	122	82	△ 40	△ 32.8	95	13	15.9
7月	88	124	74	△ 50	△ 40.3	91	17	23.0
8月	82	76	85	9	11.8	84	△ 1	△ 1.2
9月	106	124	112	△ 12	△ 9.7	97	△ 15	△ 13.4
合計	896	1,097	1,097	0	0.0	986	△ 111	△ 19.3

（２）武佐線

月	H30. 10～ R1. 9	R1. 10～ R2. 9 ①	R2. 10～ R3. 9 ②	増減 ②－①	対前年比(%)	R3. 10～ R4. 9 ③	増減 ③－②	対前年比(%)
10月	390	359	289	△ 70	△ 19.5	348	59	20.4
11月	404	351	340	△ 11	△ 3.1	337	△ 3	△ 0.9
12月	436	380	422	42	11.1	408	△ 14	△ 3.3
1月	291	240	283	43	17.9	332	49	17.3
2月	370	266	303	37	13.9	325	22	7.3
3月	299	108	302	194	179.6	339	37	12.3
4月	321	196	276	80	40.8	244	△ 32	△ 11.6
5月	277	107	232	125	116.8	234	2	0.9
6月	329	285	280	△ 5	△ 1.8	256	△ 24	△ 8.4
7月	325	287	239	△ 48	△ 16.7	226	△ 13	△ 4.5
8月	207	189	246	57	30.2	211	△ 35	△ 18.5
9月	259	293	311	18	6.1	295	△ 16	△ 5.5
合計	3,908	3,061	3,523	462	15.1	3,555	32	0.9

2 運行収入（円）

（1）俣落線

月	H30. 10～ R1. 9	R1. 10～ R2. 9 ①	R2. 10～ R3. 9 ②	増減 ②－①	対前年比(%)	R3. 10～ R4. 9 ③	増減 ③－②	対前年比(%)
1 0 月	92,950	64,430	33,030	△ 31,400	△ 48.7	51,220	18,190	55.1
1 1 月	69,750	57,395	30,830	△ 26,565	△ 46.3	29,070	△ 1,760	△ 5.7
1 2 月	38,420	44,895	47,980	3,085	6.9	39,620	△ 8,360	△ 17.4
1 月	21,780	34,750	20,970	△ 13,780	△ 39.7	45,835	24,865	118.6
2 月	134,315	19,695	36,780	17,085	86.7	23,150	△ 13,630	△ 37.1
3 月	33,340	96,025	142,110	46,085	48.0	81,580	△ 60,530	△ 42.6
4 月	39,100	27,460	43,580	16,120	58.7	51,955	8,375	19.2
5 月	63,130	17,780	25,920	8,140	45.8	27,060	1,140	4.4
6 月	60,130	28,880	51,635	22,755	78.8	58,845	7,210	25.0
7 月	37,170	27,530	23,440	△ 4,090	△ 14.9	31,180	7,740	28.1
8 月	57,160	36,970	49,470	12,500	33.8	54,370	4,900	13.3
9 月	56,035	31,760	32,800	1,040	3.3	24,770	△ 8,030	△ 25.3
合計	703,280	487,570	538,545	50,975	10.5	518,655	△ 19,890	△ 3.7

（2）武佐線

月	H30. 10～ R1. 9	R1. 10～ R2. 9 ①	R2. 10～ R3. 9 ②	増減 ②－①	対前年比(%)	R3. 10～ R4. 9 ③	増減 ③－②	対前年比(%)
1 0 月	61,580	62,710	43,980	△ 18,730	△ 29.9	31,580	△ 12,400	△ 28.2
1 1 月	43,950	42,210	58,400	16,190	38.4	62,510	4,110	7.0
1 2 月	51,740	107,670	46,160	△ 61,510	△ 57.1	50,190	4,030	8.7
1 月	40,860	39,940	42,720	2,780	7.0	39,440	△ 3,280	△ 7.7
2 月	52,010	39,320	28,080	△ 11,240	△ 28.6	46,830	18,750	66.8
3 月	43,420	18,860	48,040	29,180	154.7	45,950	△ 2,090	△ 4.4
4 月	60,300	46,560	35,370	△ 11,190	△ 24.0	25,600	△ 9,770	△ 27.6
5 月	39,180	17,440	24,180	6,740	38.6	51,150	26,970	111.5
6 月	41,490	37,130	38,470	1,340	3.6	23,860	△ 14,610	△ 39.3
7 月	44,510	41,450	29,120	△ 12,330	△ 29.7	33,280	4,160	10.0
8 月	33,740	15,570	31,290	15,720	101.0	25,080	△ 6,210	△ 39.9
9 月	40,650	47,920	41,580	△ 6,340	△ 13.2	55,130	13,550	28.3
合計	553,430	516,780	467,390	△ 49,390	△ 9.6	490,600	23,210	5.0

（3）養老牛線

月	H30. 10～ R1. 9	R1. 10～ R2. 9 ①	R2. 10～ R3. 9 ②	増減 ②－①	対前年比(%)	R3. 10～ R4. 9 ③	増減 ③－②	対前年比(%)
1 0 月	24,270	19,290	8,875	△ 10,415	△ 54.0	21,640	12,765	143.8
1 1 月	13,600	11,730	9,235	△ 2,495	△ 21.3	44,585	35,350	382.8
1 2 月	25,020	12,010	14,795	2,785	23.2	14,535	△ 260	△ 1.8
1 月	7,550	10,350	15,540	5,190	50.1	14,730	△ 810	△ 5.2
2 月	6,580	12,415	15,375	2,960	23.8	8,920	△ 6,455	△ 42.0
3 月	44,940	10,355	32,420	22,065	213.1	13,135	△ 19,285	△ 59.5
4 月	24,900	9,735	14,610	4,875	50.1	21,980	7,370	50.4
5 月	12,230	7,945	18,420	10,475	131.8	10,400	△ 8,020	△ 43.5
6 月	21,120	38,890	17,205	△ 21,685	△ 55.8	8,805	△ 8,400	△ 48.8
7 月	25,970	13,510	14,760	1,250	9.3	26,270	11,510	78.0
8 月	21,580	9,725	20,665	10,940	112.5	11,285	△ 9,380	△ 45.4
9 月	38,030	14,880	41,900	27,020	181.6	11,285	△ 30,615	△ 73.1
合 計	265,790	170,835	223,800	52,965	31.0	207,570	△ 16,230	△ 16.9

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和 4年12月 日

協議会名:中標津町地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容】 ・町民ニーズ把握調査 ・協議会開催 【結果概要】 ・アンケート調査を行ったことで、町民の移動方法や公共交通に対する認識、公共交通に対する要望等を把握した。 ・協議会報告用のアンケート結果の整理や、協議会に諮る路線の方針を検討できた。 ・今後は協議会の検討を経て、中標津町に合った公共交通体系の作成及びそれに伴う計画の作成を執り進めていく。	A	計画通り事業は適切に実施される予定。	・今後、町内路線の再編方針を確定し、令和4年度末には計画(案)の作成及び協議会内での検討等を経て、令和4年度末若しくは令和5年度当初に「中標津町地域公共交通計画」として最終的に取りまとめる。 ・現段階で検討している今後の取組は次の通り。 ①利用実態に応じた町内路線の大幅な見直し 例)町内路線の路線縮小及び縮小エリアの代替交通手段の検討、町営バス路線のモード変更(定時定路線から区域型運行へ) ②北海道及び近隣自治体と連携を図り、持続可能な広域圏での生活移動の確保 ③情報発信の強化・交通拠点の機能検討

中標津町地域公共交通活性化協議会

令和4年4月25日設置



概要

中標津町は北海道東部の根釧原野の中央に位置し、大規模商業施設や日本最東端の中標津空港を有するなど、道東の産業経済及び交通ネットワークの拠点となっている。総面積は684.87km²で、人口は22,744人(令和4年11月末現在)に対し、令和2年時点では高齢化率26.4%と少子高齢化の進行が懸念されている。

本町の公共交通は、阿寒バス(株)により5路線、根室交通(株)により3路線が運行されており、加えて、郊外方面を走る路線バスとスクールバスを町で運行している。また、町内には2社のハイヤー事業者と、その他介護タクシー・自動車運転代行事業者等がある。

一方で、これら公共交通については、社会情勢が変化する中で利用実態やニーズも変化しており、これらに対応するため、路線や交通システム等の見直しを行い、中標津町に合った公共交通体系を構築することが求められている。

〇地域公共交通の現況

- ・阿寒バス(株):5路線
- ・根室交通(株):3路線
- ・町営バス:3路線
- ・スクールバス:13路線
- ・日東交通(株)、(株)北都ハイヤー 等

〇地域公共交通の課題

- ・町内全体のバス路線の再構築(モード変更含めた再編)
- ・町民の足を確保しつつ、かつ、自治体として持続可能な交通モード・サービス水準の検討
- ・バス路線の拠点としての機能検討

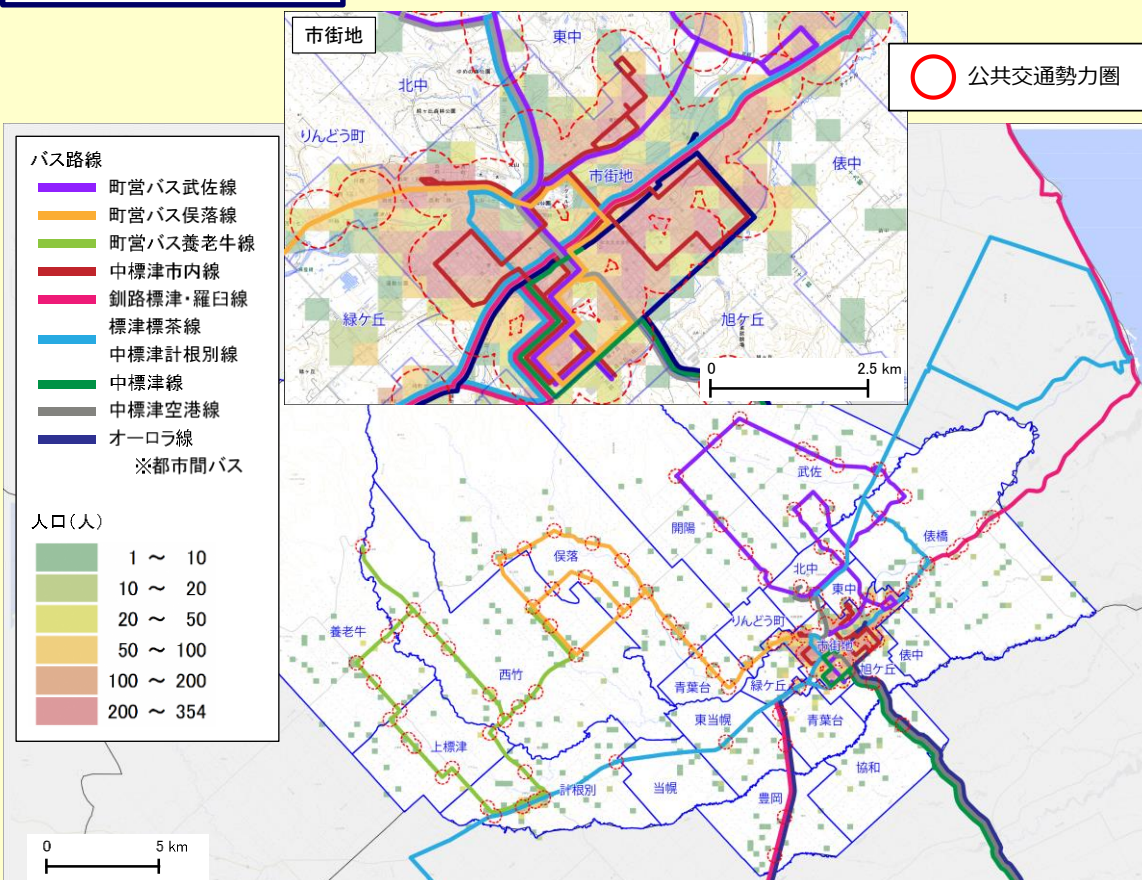
〇調査の主な内容

- ・町民ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・協議会開催支援

〇地域公共交通活性化協議会開催状況

- 令和4年4月25日 第1回協議会(書面開催)
 - ・役員の選出、地域公共交通調査事業の申請 等
- 令和4年5月30日 第2回協議会
 - ・地域内フィーダー系統確保計画 等
- 令和4年7月8日 第3回協議会
 - ・令和4年実施調査の説明 等
- 令和4年8月22日 第4回協議会(書面開催)
 - ・自家用有償旅客運送に係る登録の更新
- 令和4年12月15日 第5回協議会
 - ・調査結果の報告、交通計画策定に向けた整理
 - ・地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価

公共交通の概要



中標津町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

1 町民ニーズ把握調査

(1) 調査目的

町民の日常的な生活移動に関する行動の把握、町内を運行している各種地域公共交通の利用状況・地域公共交通へのニーズ把握を目的に実施

(2) 調査内容

分類	内容	備考
個人属性	性別、職業、住所、免許・自動車の保有状況、自動車の運転意向、運転困難時の代替移動手段、免許返納で困ること	個人属性として、基礎的な情報整理に加え、他項目とのクロス集計などで活用
日常の生活行動	通勤・通学、買い物、通院、私用等における行動の頻度、行先、交通手段、行動する曜日、行動時間	各目的の行動の実態把握で活用
町内を運行する各種地域公共交通の利用状況及びニーズ	市内循環線、町営バス、路線バス(阿寒バス・根室交通)における利用状況、利用する際に困っていること、困っていることが改善された場合の外出機会の変化・回数、利用しない理由	各種地域公共交通の利用状況や利用する際に困っていること(改善点)、利用しない理由の把握で活用

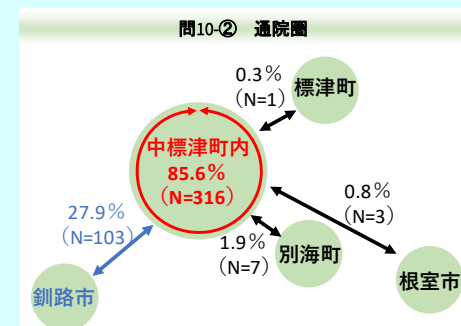
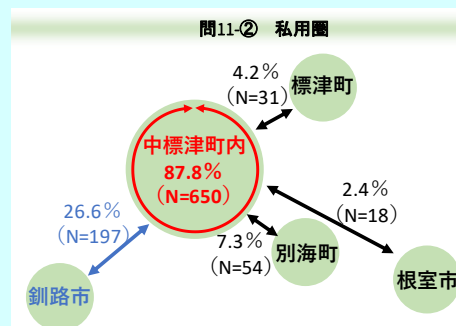
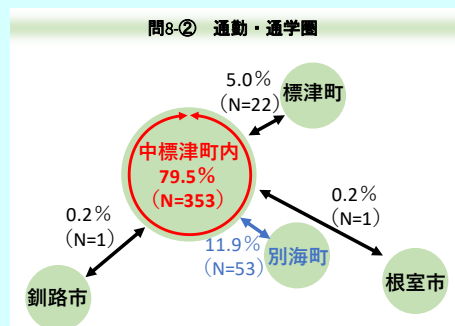
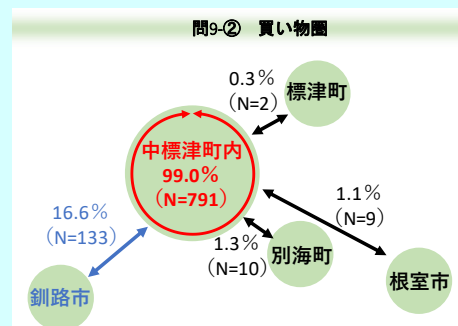
(3) 調査結果

1) 回収数

646世帯/1,970世帯=32.8%

2) 町民の生活圈

- ・生活圈は8割以上が町内で完結している。
- ・通勤・通学に関しては、隣接する自治体(標津町、別海町)への移動もみられる
- ・買い物や通院、私用については、近隣自治体の中でも一番大きい都市である釧路市への移動もみられる



中標津町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

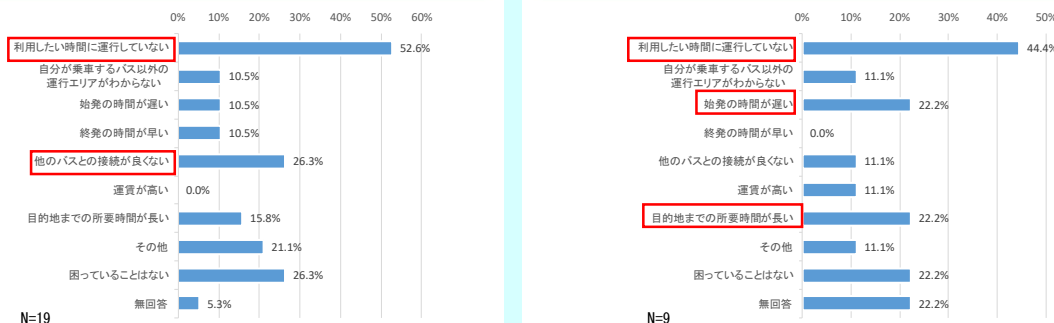
●事業の結果概要

3) 町内バス路線の問題点

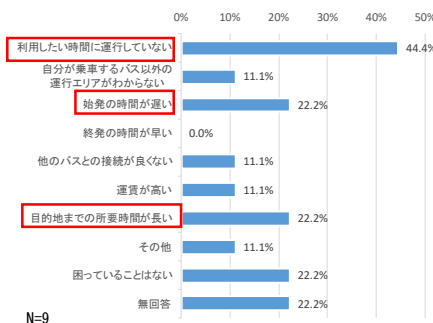
◎中標津市内線(市街地循環)・町営バス

- ・サービス水準に関わる問題(運行時間、他のバスとの接続、バス停の距離、行先)
- ・利用しない理由の中では「運行していることを知らない」という意見も見られた

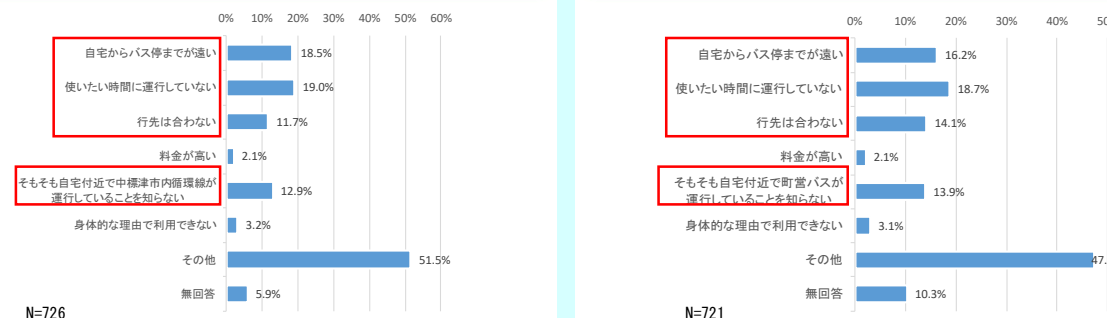
問17 現在の中標津市内線を利用する際に困っていること【いくつでも】



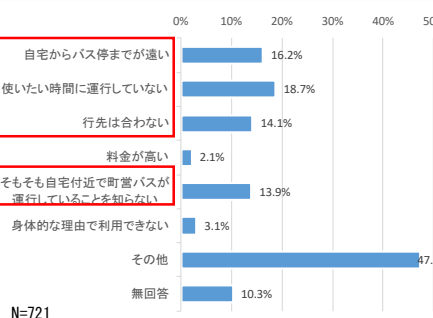
問23 現在の町営バスを利用する際に困っていること【いくつでも】



問21 中標津市内線をめったに利用しない理由【いくつでも】



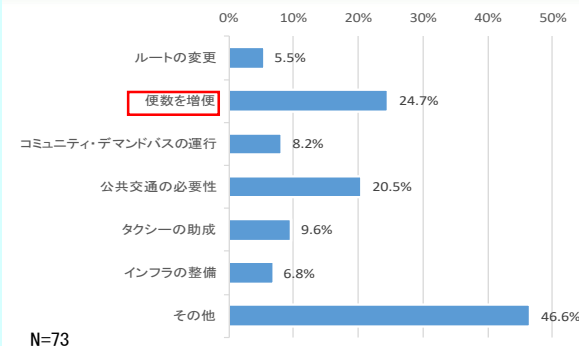
問27 町営バスをめったに利用しない理由【いくつでも】



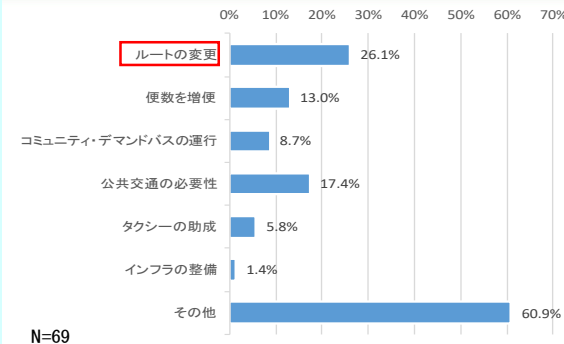
4) 地区別の要望

- ・市街地は便数の増便による利便性の向上の意見が多くみられた
- ・郊外部はバス停の距離が遠いことなどもあり、「ルートの変更」に関する意見が多くみられた
- ・両地区とも「公共交通の必要性」の割合が高い

(市街地居住者の回答)



(郊外部居住者の回答)



2 協議会開催支援

- ・令和4年5月30日～6月1日
- ・令和4年9月27日～28日
- ・令和4年12月15日
- ・令和4年2月～3月(予定)

年間スケジュール・町民ニーズ把握調査に係る打合せ
町民ニーズ把握調査の実施状況、路線再編の方針に係る打合せ
町民ニーズ把握調査の実施結果、路線再編の方針に係る打合せ
路線再編の方針に係る打合せ

中標津町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

【町営バス路線再編の方向性】

- ・定時定路線から区域型運行（デマンド交通等）への転換

■再編内容の詳細案

- ・町営バス路線の利用者数は、極めて限られた需要であり、より効率的に、町営バス運行エリアに居住する住民を市街地等へ運送する手段として、デマンド交通への転換を検討
- ・その際、現状の利用実態及び農村部に居住する住民から自宅付近までの運行や学生が利用しやすい時間帯の運行を望む声もあることから、学生便も視野入れた再編を検討

セットでの再編案

【懸念事項】

- ・町営バス路線のどの路線から着手を行うのか
- ・阿寒バス運賃との整合性や連携策をどのように行うのか

【計根別-市街地間の方向性】

- ・通学便の追加運行

■再編内容の詳細案

- ・現在、阿寒バス-標茶標津線を利用して、市街地から計根別地区（中標津農業高校）に移動している主な利用者層は学生であるが、通学時間帯において、路線バスに乗車できず（満車が原因）、保護者の送迎などに依存している状況から、町内バス路線の再編により、確保可能なリソース（運転手や車両）を活用して通学便の追加運行を検討

運行主体	凡例	路線名	区間	便数	所要時間
中標津町	——	町営バス武佐線	自 中標津バスターミナル 至 中標津バスターミナル	循環 5便	39分
中標津町	——	町営バス保落線	自 中標津バスターミナル 至 中標津バスターミナル	循環 6便	41分
中標津町	——	町営バス養老牛線	自 農業高校 至 計根別農協	上 1便 下 2便	60分 60分
阿寒バス	——	中標津市内線	自 保養所前 至 保養所前	上 4便 下 4便	70分 70分
阿寒バス	——	釧路標津・羅臼線	自 市立病院前 至 標津BT/羅臼	上 5便 下 5便	235分 230分
阿寒バス	——	標津標茶線	自 標津バスターミナル 至 農高前/西春別/標茶駅前	上 6便 下 6便	130分 130分
根室交通	——	中標津線	自 厚床駅前 至 中標津バスターミナル	上 5便 下 5便	80分 80分
根室交通	——	中標津空港線	自 有線営業所 至 中標津空港	上 4便 下 4便	110分 110分
根室交通	——	オーロラ号	自 札幌大通バスセンター 至 根室交通営業所	上 1便 下 1便	535分 550分

【その他運行維持に係る取組】

- ・デマンド交通の運行効率化に資する取組の検討
- ・阿寒バスと町営バス路線の連携策の検討
- ・町内公共交通の運行情報発信方法の検討
- ・公共交通を地域が支える仕組みの検討

【市街地循環線再編の方向性】

- ・路線の縮小+縮小したエリアへの代替移動手段の提供

■再編内容の詳細案

- ・市街地循環線の利用範囲は、川南への利用、かつ東武サウスヒルズや町立病院への移動が主であることから、利用者の利便性向上を目的に、路線の縮小を検討
- ・路線が縮小となった地区の移動手段を確保するため、タクシーチケットの配布等の代替移動手段を検討



中標津町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

現段階で検討している今後の取組は次のとおり

【取組①】 利用実態に応じた町内路線の大幅な見直し

◎中標津市内線(市街地循環)

循環ルートにより所要時間が長く、一部地域においては利用し辛くなっている路線に対して、利便性向上のための路線縮小及び縮小エリアの代替手段(タクシーチケット配布等)等を検討

◎町営バス路線

郊外部での利用は極めて限定的であるため、定時定路線から区域型運行への転換を検討

◎通学便の追加

満員が原因で民間バスを利用できない学生(市街地～中標津農業高校)が安心して通学できるよう、町営で通学便の追加運行を検討

【取組②】 北海道及び近隣自治体と連携を図り、持続可能な広域圏での生活移動の確保

・本町の計画と、今後策定が予定されている「(仮称)北海道釧路・根室地域公共交通計画(釧路総合振興局及び根室振興局主導)」との連携を図り、町民及び本町への移動者の広域的な移動手段を確保

【取組③】 情報発信の強化・交通拠点の機能検討

・認知度向上に向けた情報発信の検討
例)時刻表の全戸配布、SNS・HPを用いた発信、GTFSの整備
・交通拠点地におけるバスレーンや掲示物(時刻表等)の見直し、空きテナントの有効活用等を検討

※基本方針等は、今後精査し、交通計画に掲げる予定

●事業実施の適切性

計画後通り事業は適切に実施される予定

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄